

金剛ふるさとバス沿線等地域公共交通計画



【資料編】

令和7年(2025年)3月

富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会

- 目次 -

資料編1 地域特性の整理

1-1 公共交通を取り巻く地域の現況	1-1
1-2 交通網の配置状況	1-1
1-3 土地利用状況	1-2
1-4 人口動向・分布	1-3
1-5 主要施設の立地状況	1-6
1-6 地域内の通勤・通学特性	1-12

資料編2 公共交通の実態把握

2-1 鉄道の運行概要・利用実績	2-1
2-2 路線バスの運行概要・利用実績	2-9
2-3 コミュニティバス・乗合タクシーの運行概要・利用実績	2-12
2-4 タクシーの運行概要	2-20

資料編3 公共交通以外の地域の輸送資源の調査

3-1 スクールバス事業	3-1
3-2 高齢者・障がい者への移動支援	3-2
3-3 その他移動サービス	3-3

資料編4 住民アンケート調査結果

4-1 調査の概要	4-1
4-2 回答者の特徴	4-3
4-3 公共交通の利用状況	4-5
4-4 目的別の外出状況	4-11
4-5 自家用車の利用状況	4-27
4-6 送迎状況(学生の通学や習い事など)	4-28
4-7 金剛バス廃止に伴う移動の変化について	4-30
4-8 地域の財政負担・今後の取組への意向	4-31
4-9 その他自由意見	4-33

- 目次 -

資料編5 学生アンケート調査結果

5-1 調査の概要	5-1
5-2 回答者の特徴	5-3
5-3 登下校時の通学手段について	5-4
5-4 通学時における鉄道の利用状況	5-8
5-5 通学時におけるバスの利用状況	5-12
5-6 公共交通を利用するための条件	5-14
5-7 公共交通(鉄道・バス)に関する意見	5-15

資料編6 OD調査結果

6-1 調査の概要	6-1
6-2 OD調査結果(概要)	6-3
6-3 OD調査結果(詳細)	6-5
6-4 アンケート調査結果	6-66

資料編7 ワークショップ調査結果

7-1 住民ワークショップ調査の概要	7-1
7-2 住民ワークショップ調査結果	7-9
7-3 若手職員ワークショップ調査の概要	7-28
7-4 若手職員ワークショップ調査結果	7-35

資料編8 関係者ヒアリング調査結果

8-1 調査の概要	8-1
8-2 ヒアリング調査結果	8-3

資料編 1 . 地域特性の整理

〈 目 次 〉

1-1 公共交通を取り巻く地域の現況	1-1
1-2 交通網の配置状況	1-1
1-3 土地利用状況	1-2
1-4 人口動向・分布	1-3
1-5 主要施設の立地状況	1-6
1-6 地域内の通勤・通学特性	1-12

資料編 1. 地域特性の整理

1-1 公共交通を取り巻く地域の現況

- 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村(以下、本地域という)は、大阪府の南東部、奈良県の県境に位置し、北は羽曳野市、東から南は奈良県葛城市や御所市、南西は河内長野市、西は堺市美原区、大阪狭山市に接している。
- 本地域は、大半が山林であり、緑豊かな田園風景や石川の清流など恵まれた自然環境と、今に残るまちなみや由緒ある神社仏閣などの歴史的資源が豊富な地域である。

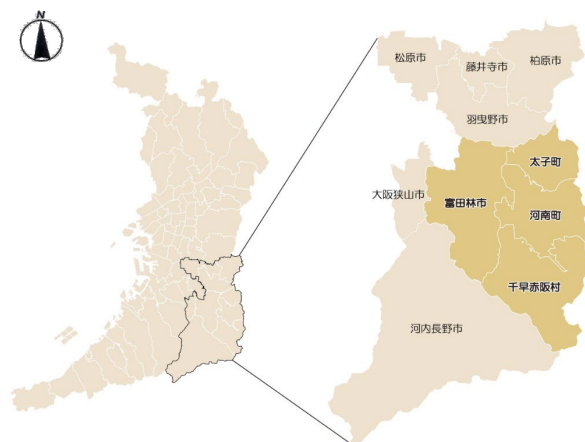


図 位置図

1-2 交通網の配置状況

- 富田林市から河南町、千早赤阪村をまたぐ国道 309 号及び、太子町の国道166 号の広域幹線道路が位置している。
- 主な地域公共交通の基点として、富田林市の南北には鉄道が配置され、羽曳野市方面に近鉄長野線、奈良県橿原市方面に近鉄南大阪線、堺市方面に南海高野線が運行している。バス運行については、近鉄バス、南海バスや多数のコミュニティバスが運行している。中でも金剛ふるさとバスは、4 市町村の地域間を運行しており、本地域の主要交通基盤となっている。

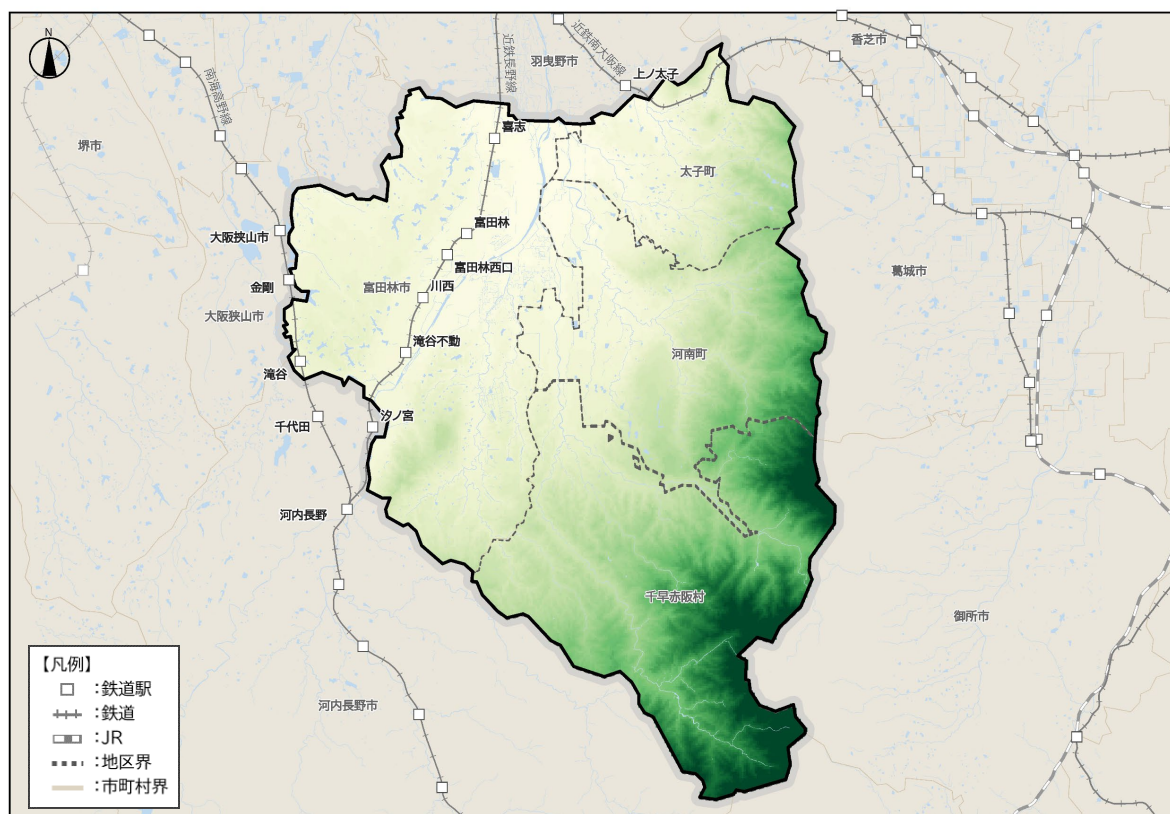


図 標高図

1-3 土地利用状況

- 本地域の総面積は、116.38km²(府全体の約6.1%)となっている。地域の南東部を中心に地域面積の53.3%を森林地帯が占めており、主に富田林市の鉄道沿線や金剛エリアに建物用地が集積している。

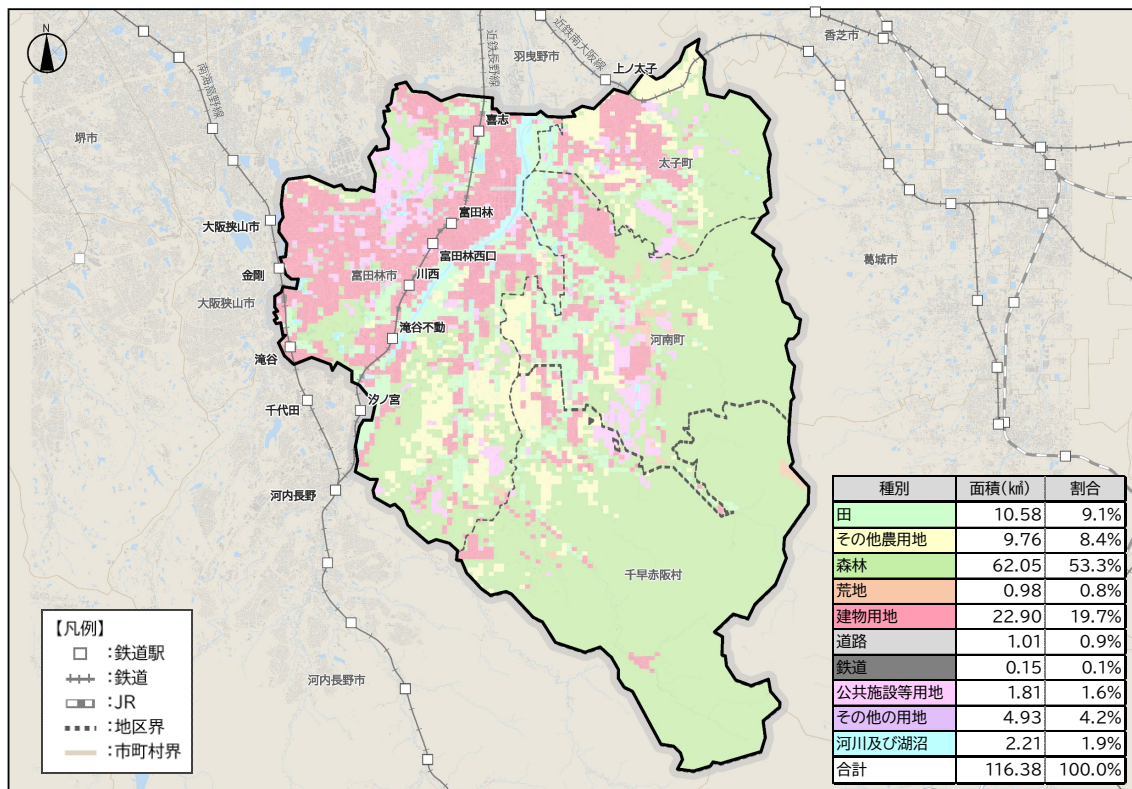


図 土地利用状況図

出典:国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ

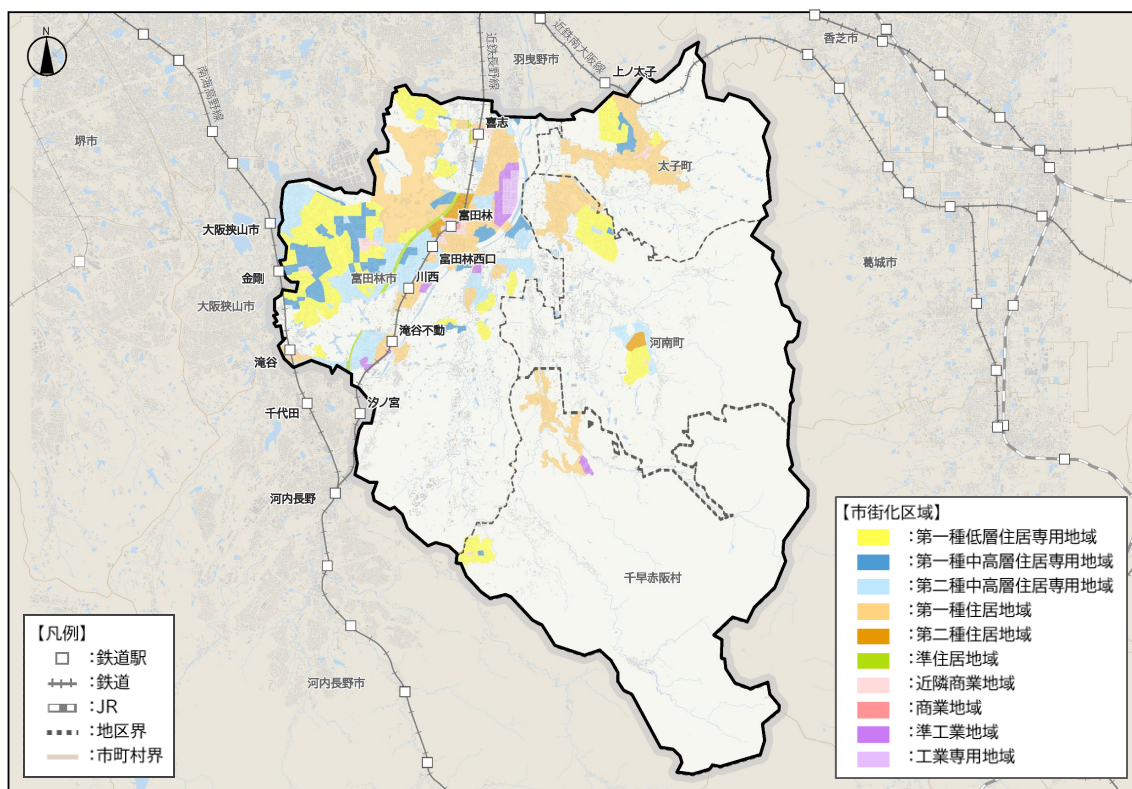


図 用途地域図

1-4 人口動向・分布

(1) 人口推移及び将来人口の見通し

- 本地域の人口は、令和2年で142,314人であり、どの市町村においても人口減少・少子高齢化が続いている。
- 将来人口の推計においても、令和17年には115,823人と、更なる人口減少・少子高齢化の進行が予測されている。令和2年と比較すると約2.6万人の減少、市町村別にみると、高齢化率は約6%～10%増加する見込みが示されている。

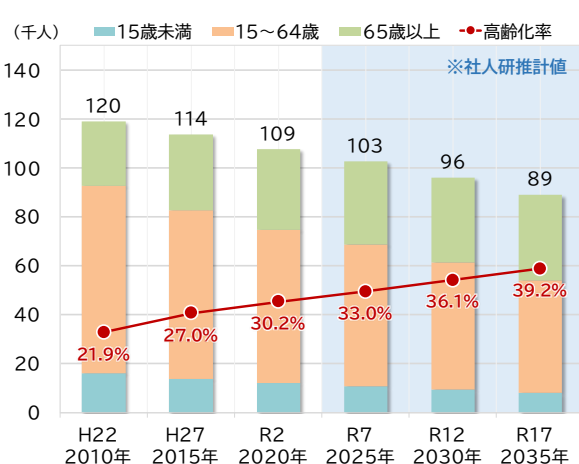


図 富田林市の人口推移・年齢構成

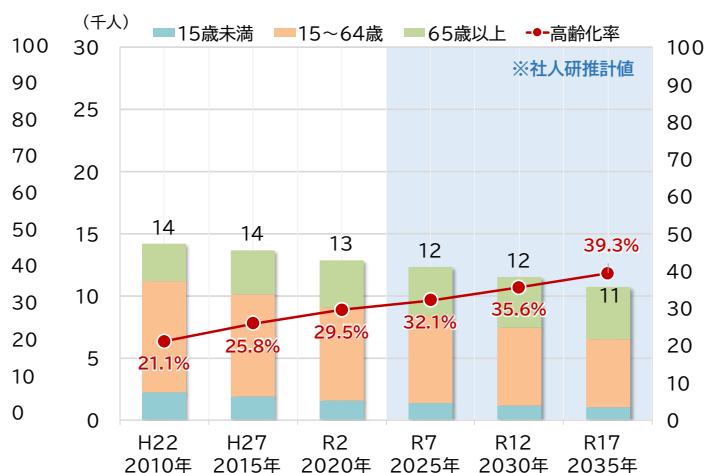


図 太子町の人口推移・年齢構成

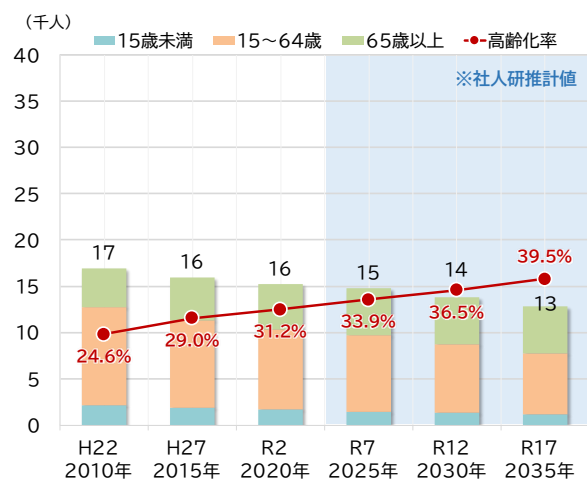


図 河南町の人口推移・年齢構成

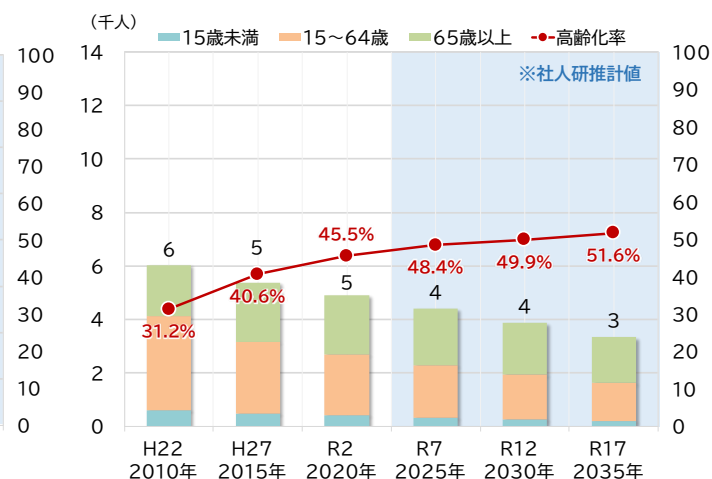


図 千早赤阪村の人口推移・年齢構成

資料1: 各年の国勢調査(H17～R2)

資料2: 国立社会保障・人口問題研究所 人口推計(H30.3)

(2) 人口分布の状況

- 地域内人口は、富田林駅・喜志駅・金剛駅周辺、富田林市西部に集積がみられる(太子町・河南町・千早赤阪村は人口が小規模)。

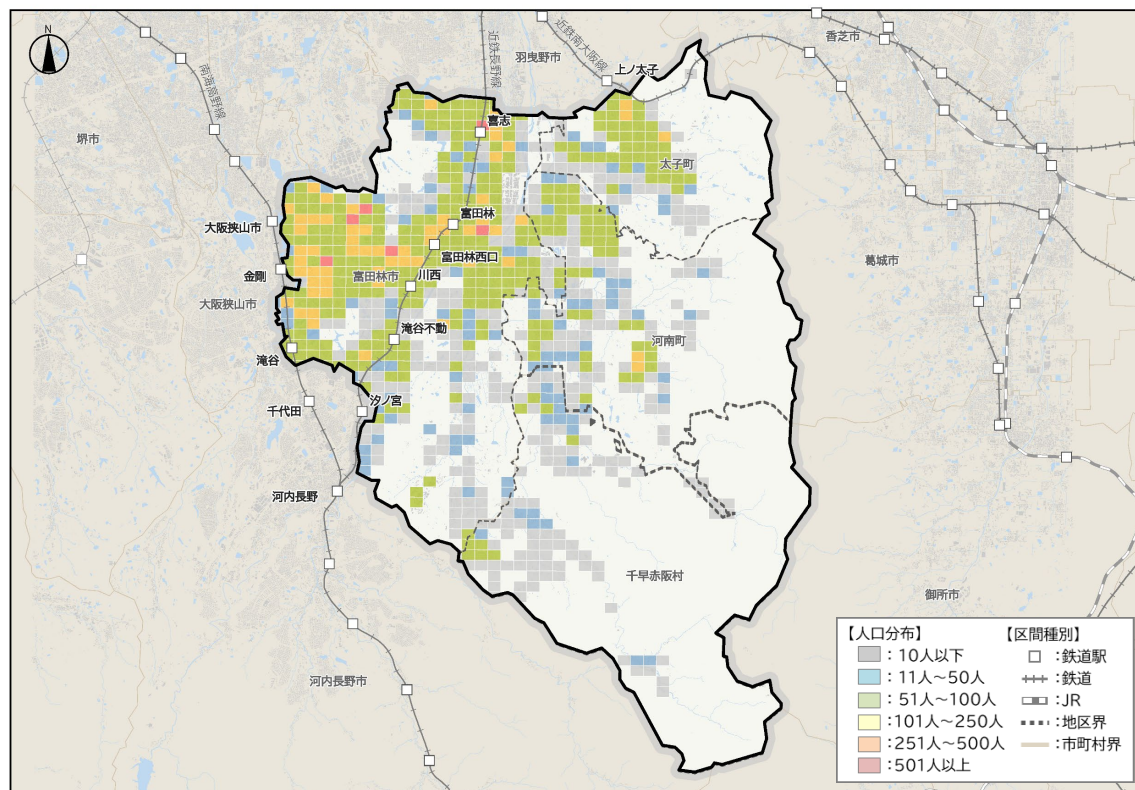


図 人口分布

出典:R2 国勢調査(250m メッシュ)をもとに算定

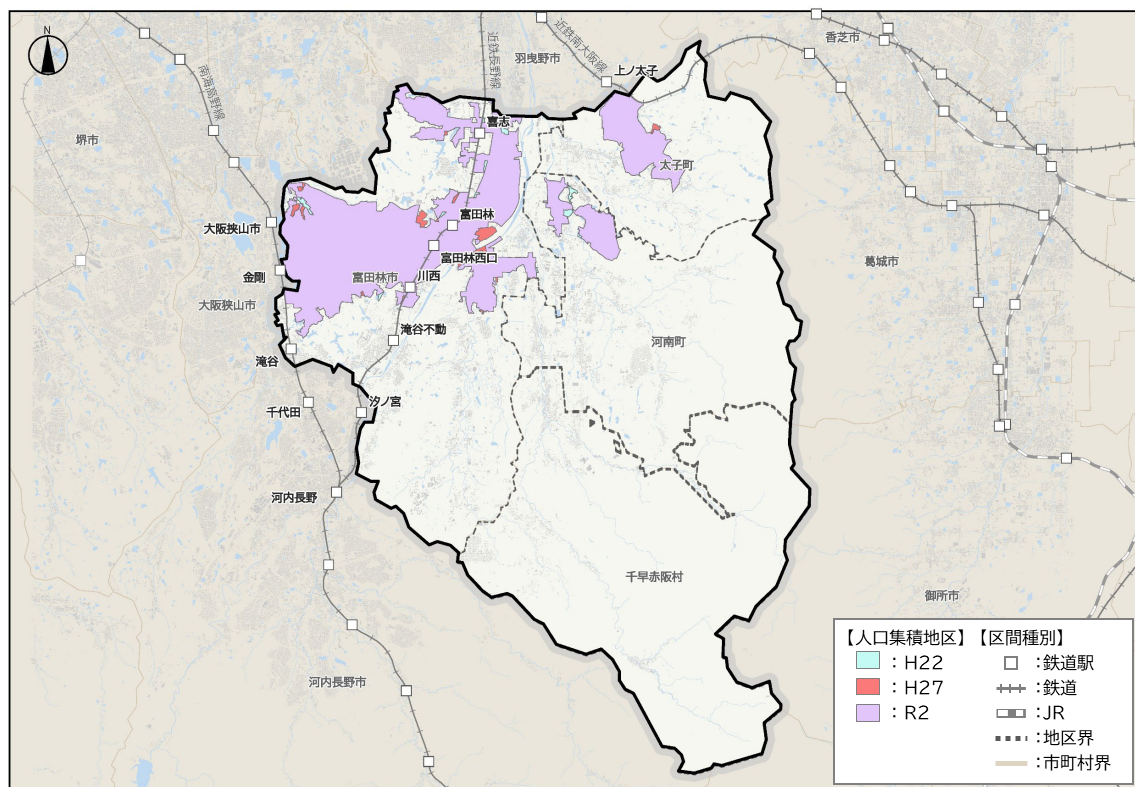


図 人口集中地区(H22・H27・R2)

出典:H22, H27, R2 国勢調査

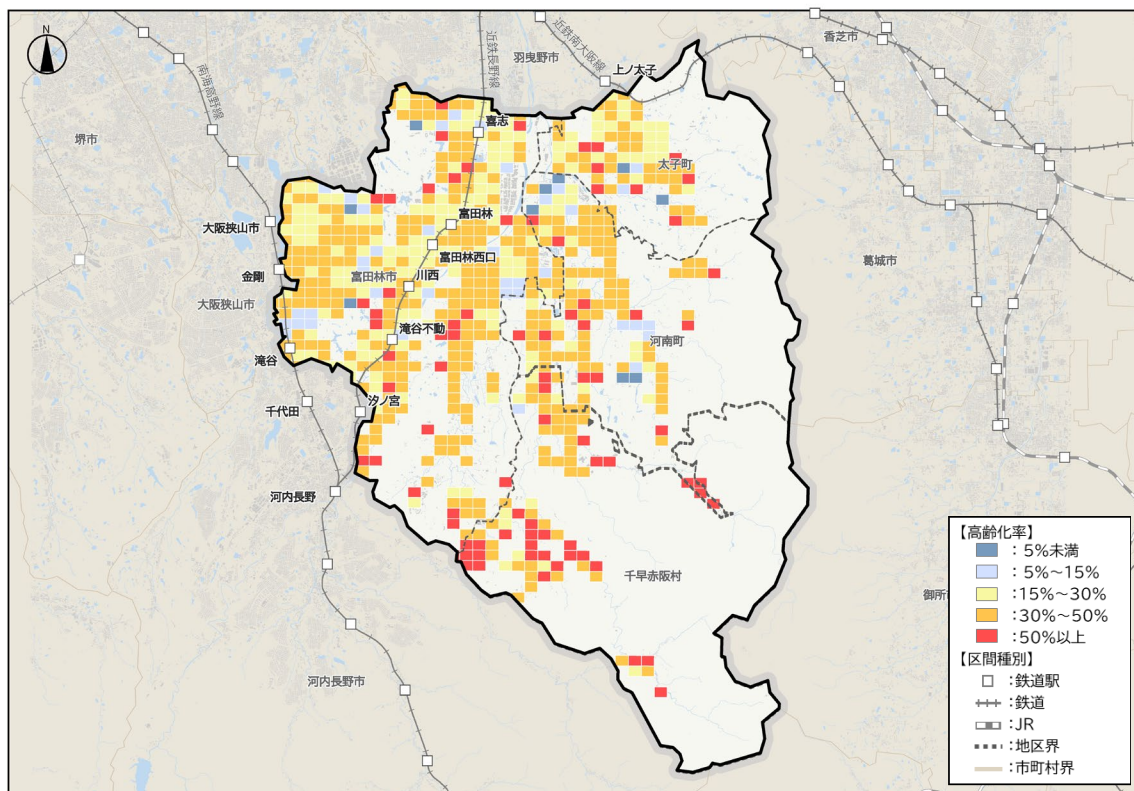


図 高齢化率

出典: R2 国勢調査(250m メッシュ)をもとに算定

1-5 主要施設の立地状況

- 本地域において、日常生活に必要な施設(下図では主に高齢者の生活に必要なと思われる買い物・医療施設)は市街地中心部に密集し、特に富田林駅や喜志駅など、駅周辺部に集中して立地している。

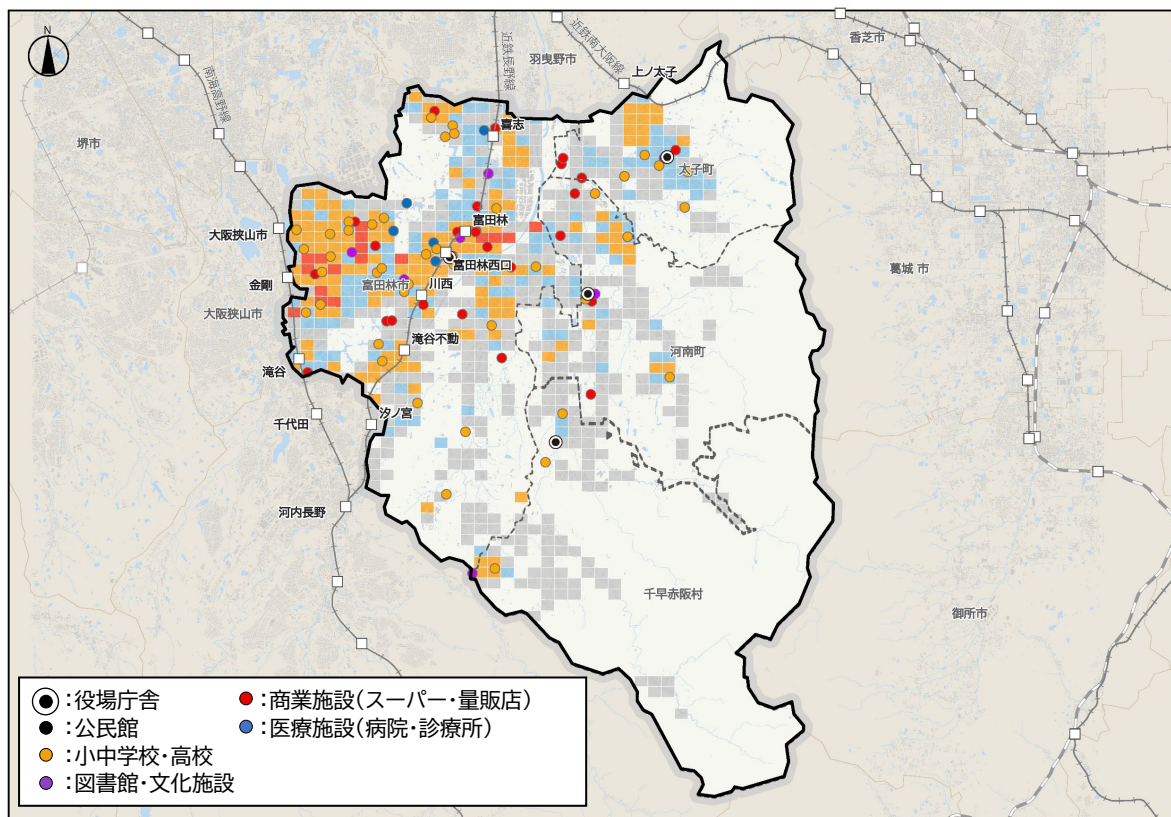
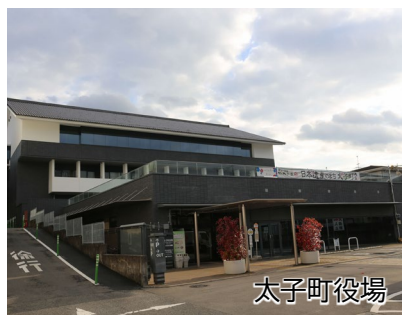


図 本地域における主要施設の分布



(1) 立地機能からみた拠点性

●本地域の周辺機能(立地施設の集積)をみると、駅周辺部に生活サービス施設の集積がみられる。

表 生活サービス施設の分類

分類	内容	施設例
商業機能	買い物の様々なニーズ、日々の生活に必要な生鮮品等の買い回りに対応する機能	・ショッピングモール ・食品スーパー ・コンビニなど
医療機能	総合的な医療、日常的な診療を受けることができる医療機能	・病院(内科・外科等) ・診療所
金融機能	決済、日々の引き出しや預け入れなどが行える金融機能を提供する機能	・銀行、信用金庫 ・郵便局
行政機能	中枢的な行政機能(本庁)、日常生活を営む上で必要な行政窓口機能	・役場庁舎 ・支所など
公共施設	住民の生活や福祉、教育文化活動を支えるための拠点等の機能	・文化ホール、図書館など
教育機能	学校等の教育施設機能	・小学校、中学校、高校、大学など
福祉機能	介護福祉サービス(通所系)を提供する施設、高齢者福祉の相談窓口等の機能	・福祉施設(デイサービス、居宅介護など) ・地域包括支援センターなど
子育て機能	日々の子育てに必要なサービスを提供する施設、児童福祉の相談窓口等の機能	・保育所、こども園、児童クラブ、児童館など ・子育て支援センターなど

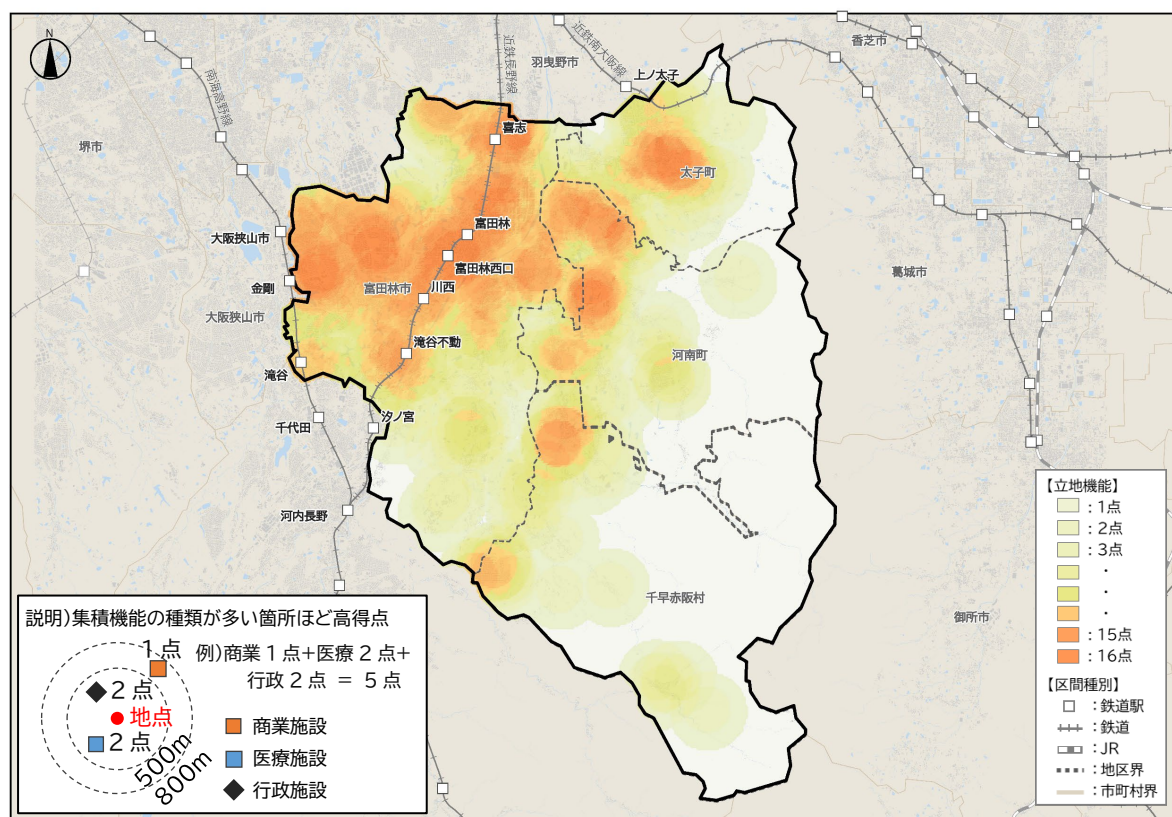


図 機能集積の度合い

(2) 商業施設の分布（スーパー / コンビニエンスストア / その他商業施設）

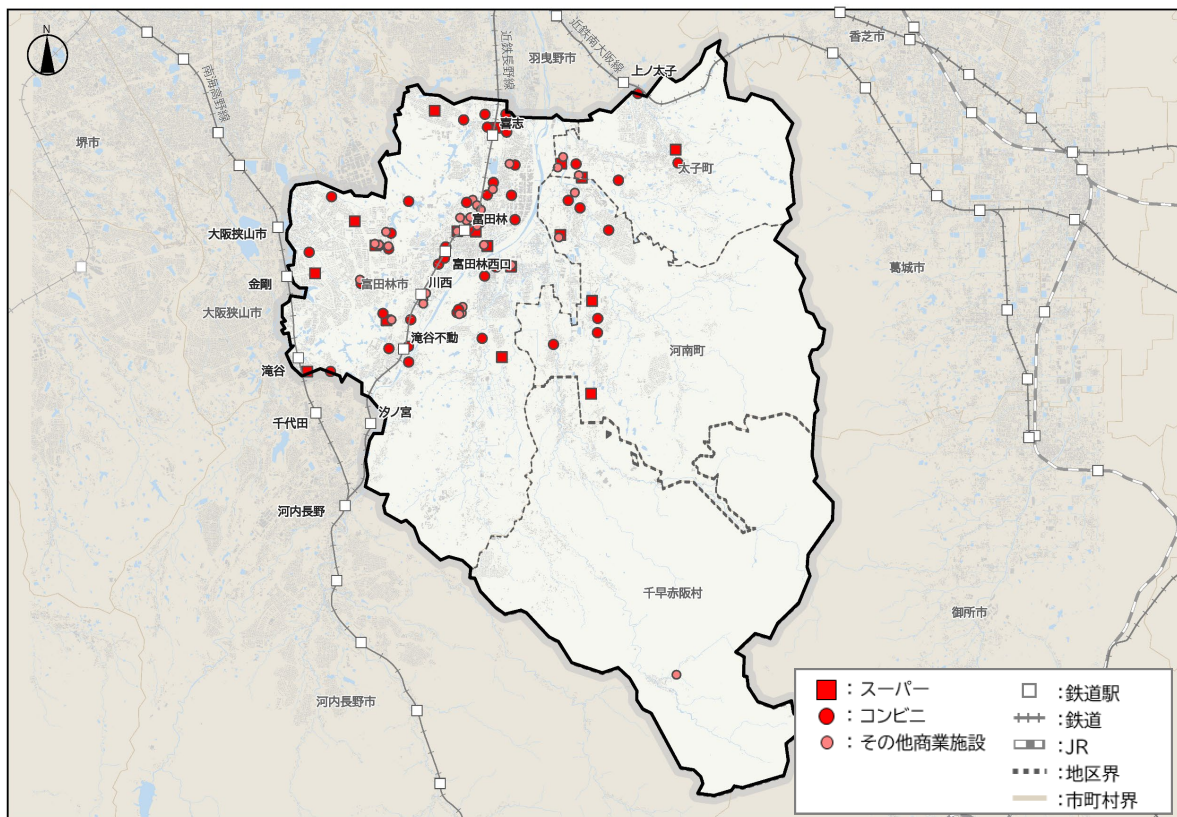


図 商業施設の分布図

(3) 医療施設の分布（病院 / 診療所）

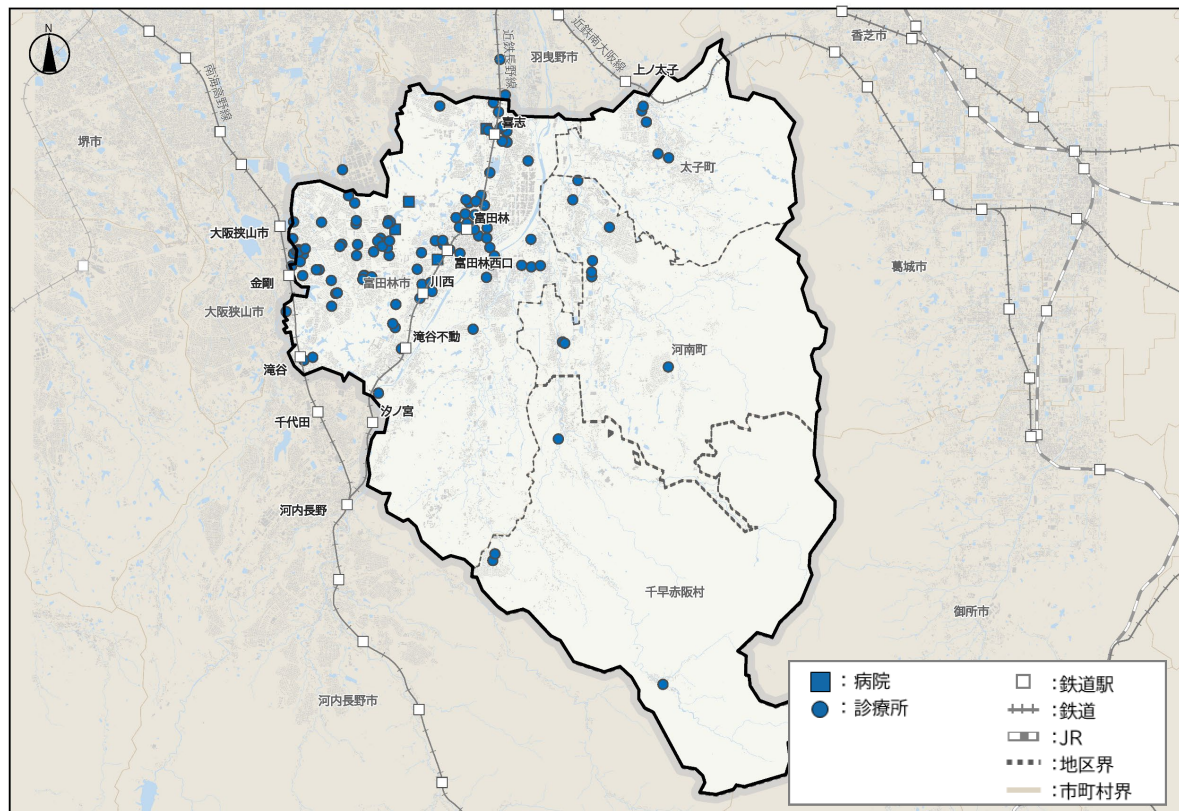


図 医療施設の分布図

(4) 金融施設の分布（銀行 / 郵便局）

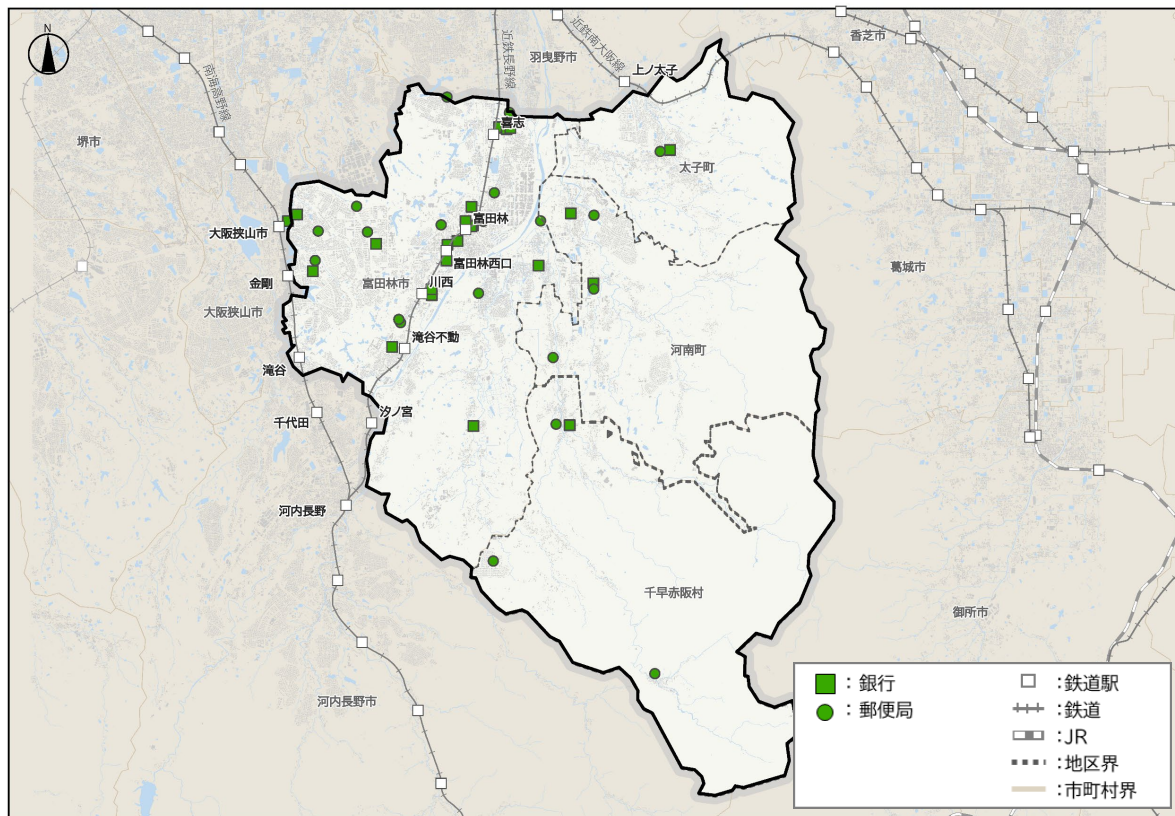


図 金融施設の分布図

(5) 行政施設の分布（役場庁舎 / 警察署・交番 / その他行政施設）

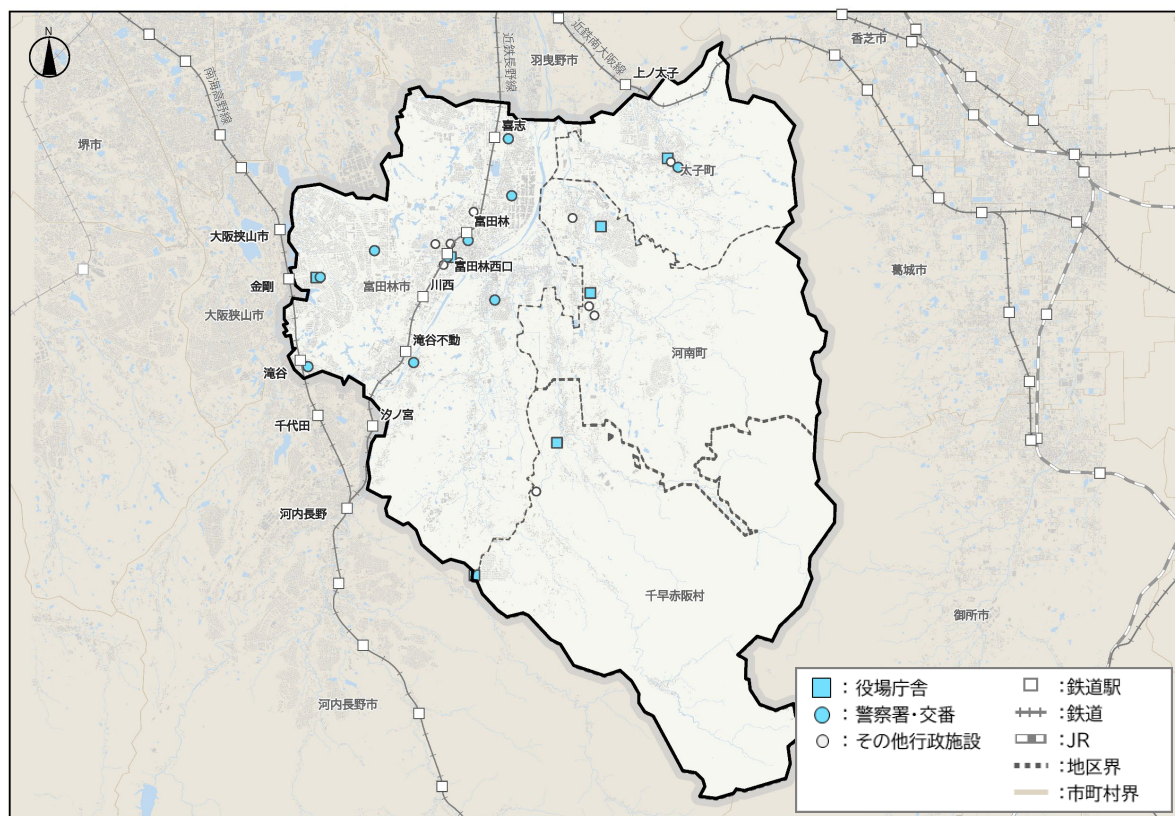
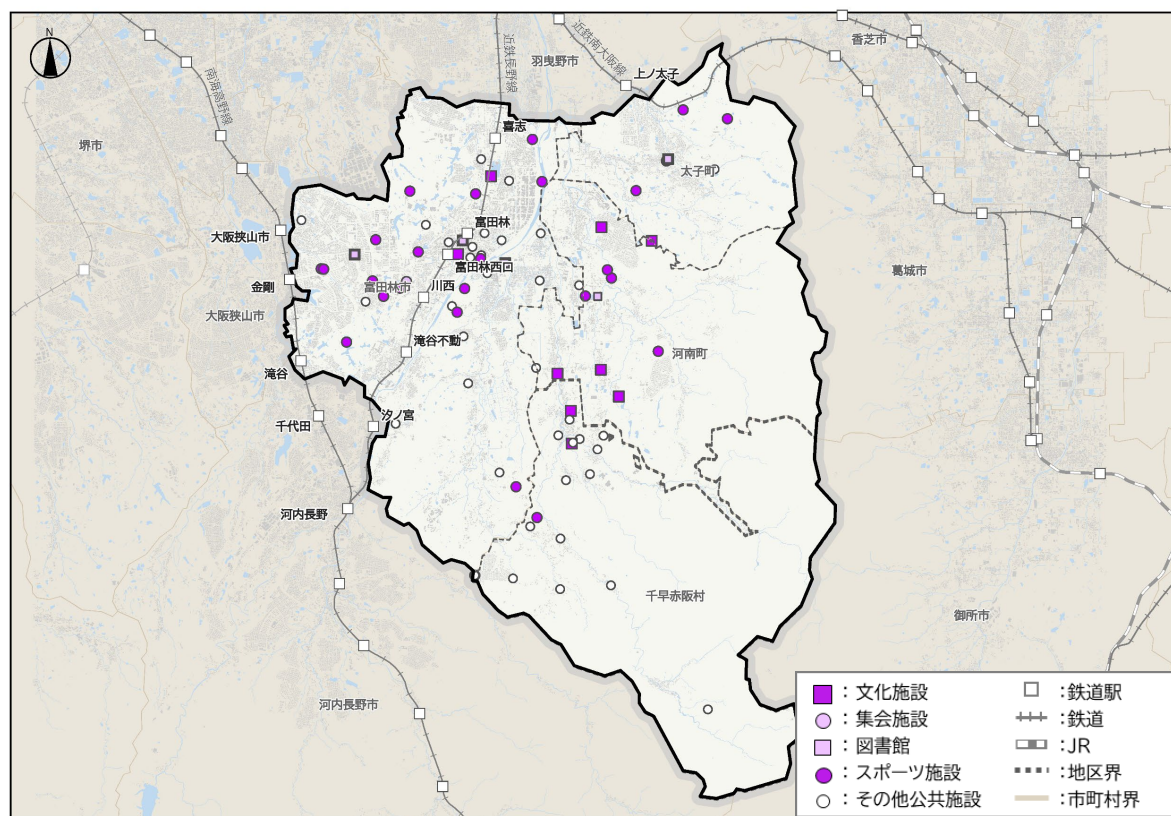
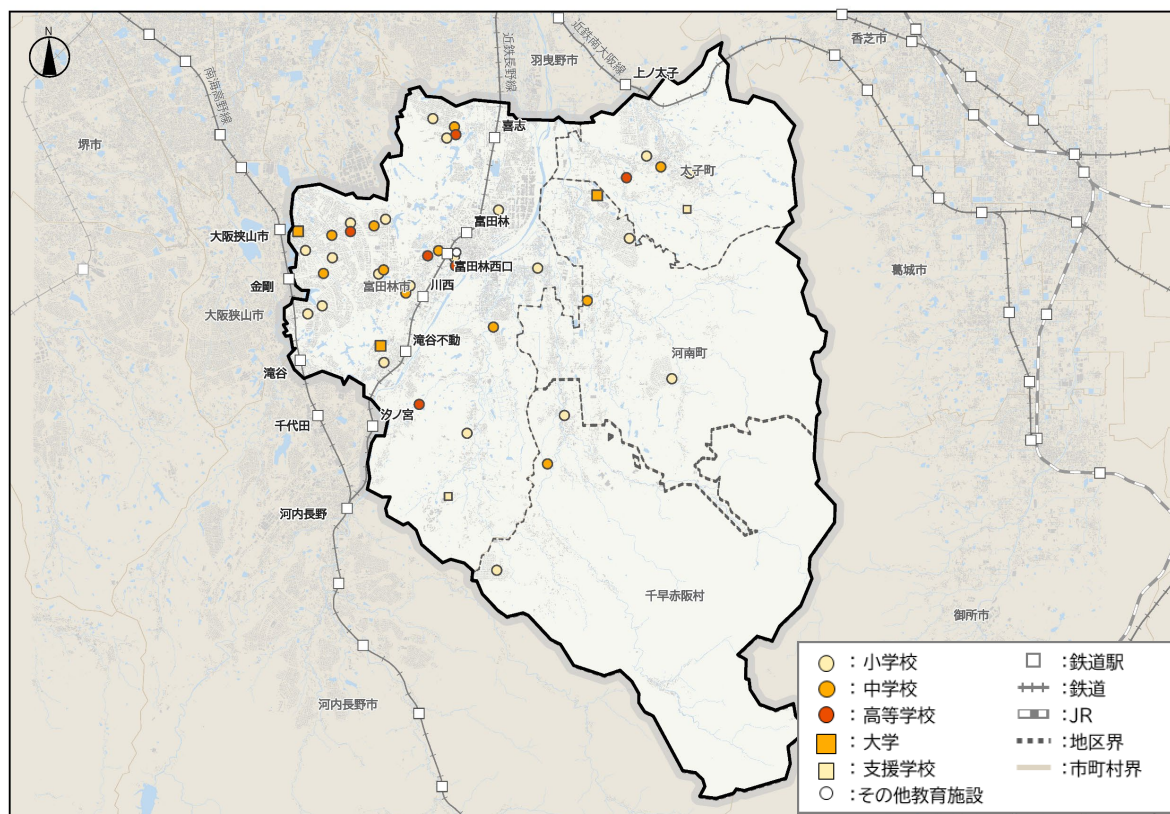


図 行政施設の分布図

(6) 公共施設の分布（文化施設 / 集会施設 / 図書館 / スポーツ施設 / その他公共施設）



(7) 教育施設の分布（小学校 / 中学校 / 高等学校 / 大学 / 支援学校 / その他教育施設）



(8) 福祉施設の分布（福祉施設 / 地域包括支援センター）

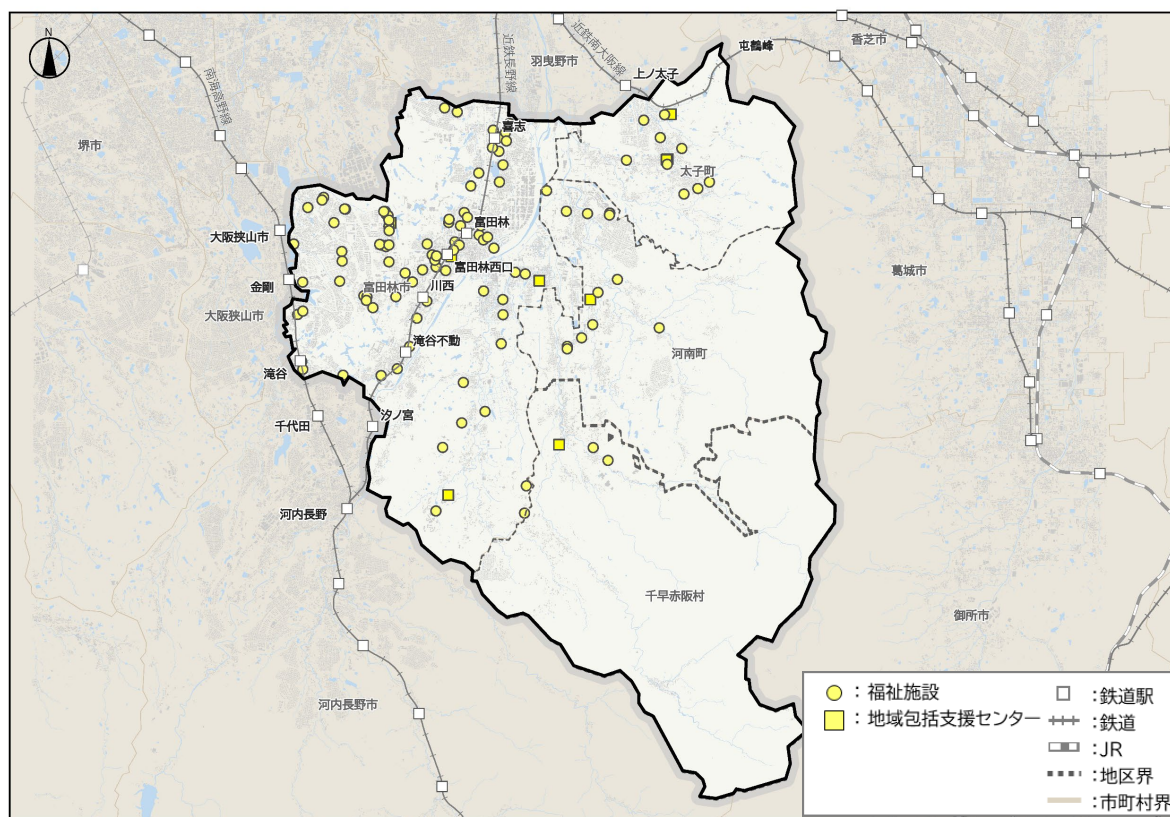


図 福祉施設の分布図

(9) 子育て施設の分布（幼稚園 / 保育園 / 認定こども園 / 児童館 / 子育て支援センター）

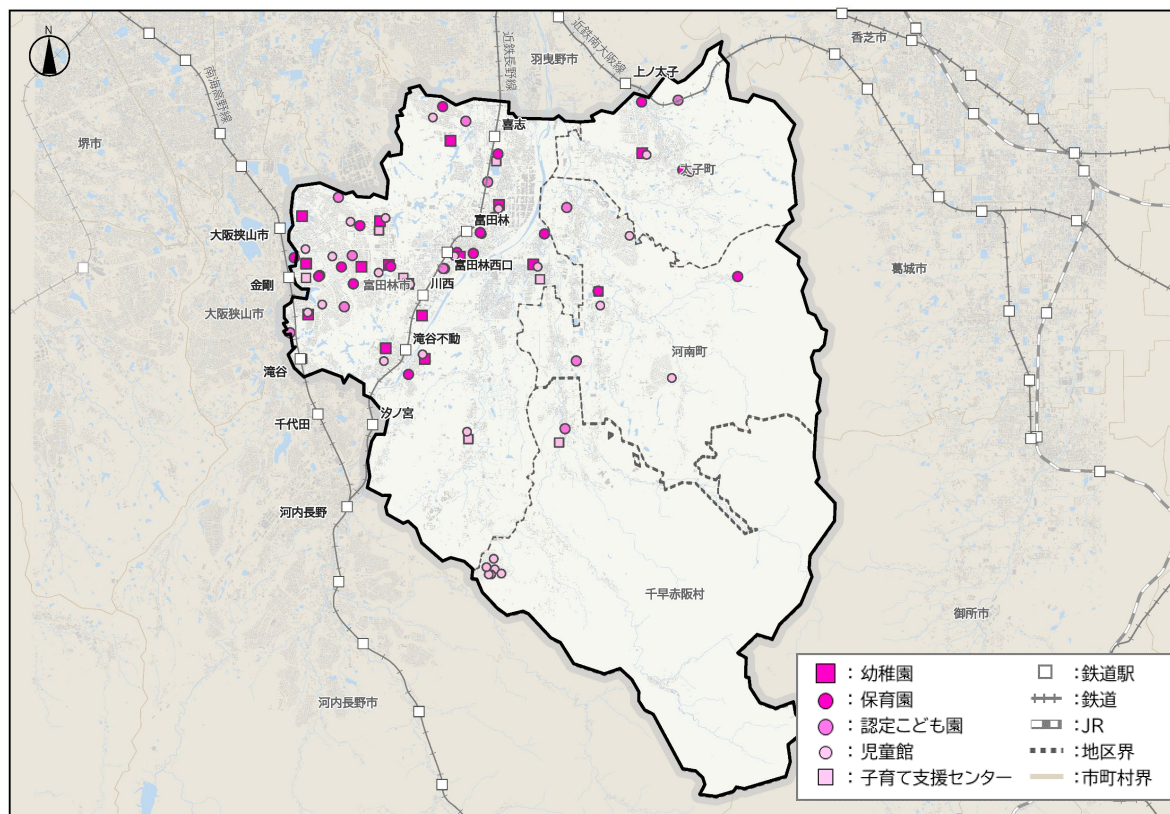


図 子育て支援施設の分布図

1-6 地域内の通勤・通学特性

(1) 富田林市

- 市内在住の通勤・通学者60,245人のうち、市外で通勤・通学を行う者は31,976人(53.7%)と、市民の半数以上が他市町村へ通勤・通学を行っている。
- 市外への通勤・通学者においては、大阪府大阪市、堺市、河内長野市の順に流出が多い状況である。市外から流入する22,712人においては、大阪府河内長野市が最も多く、次いで堺市、羽曳野市の順に多く見られる。

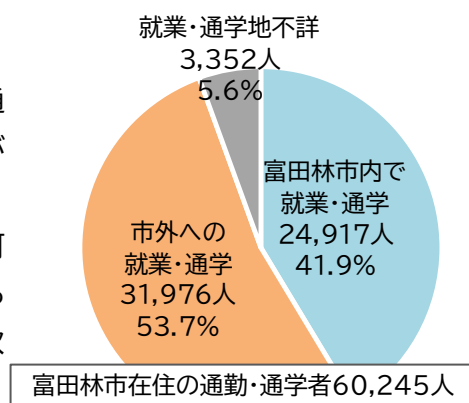


図 市内・市外の割合

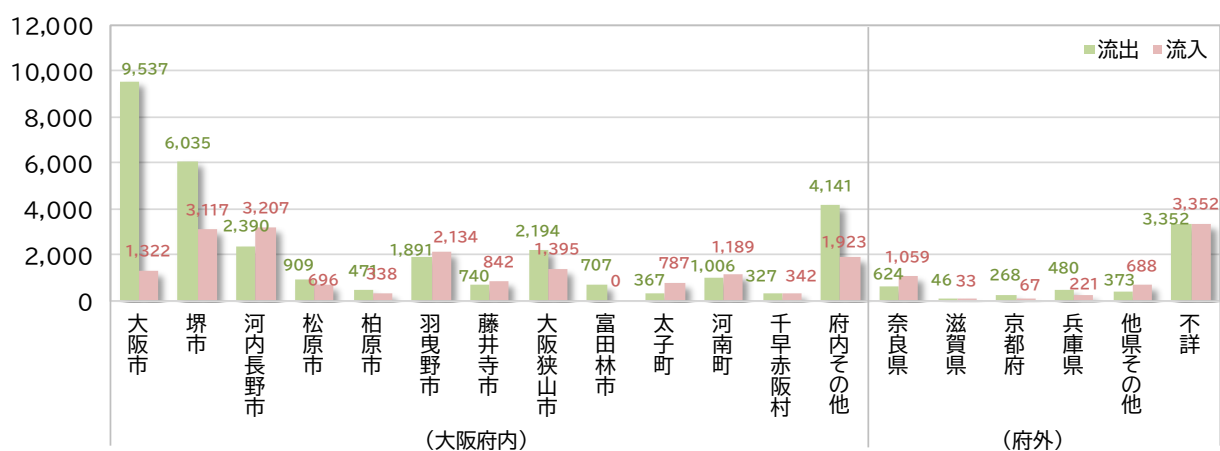


図 市外への(からの)通勤・通学

出典: R2 国勢調査

富田林市からの流出 35,858人
富田林市への流入 22,712人

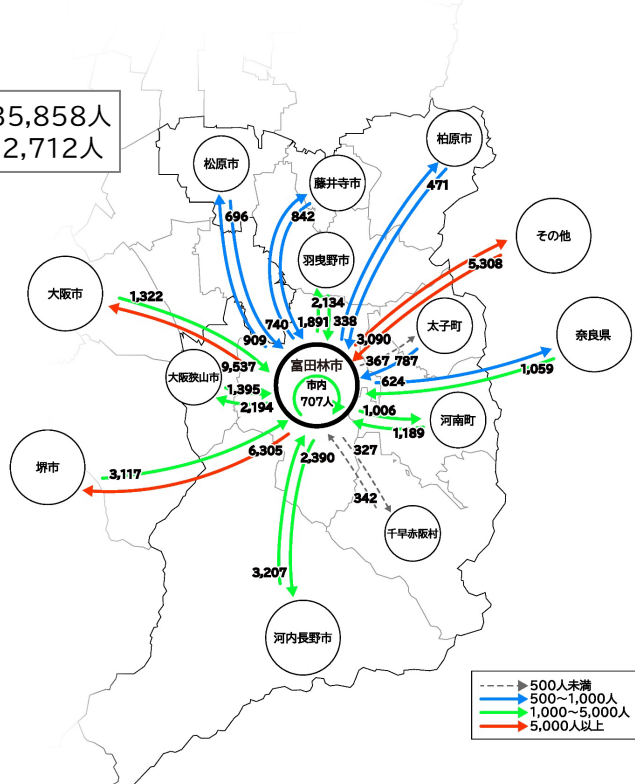


図 通勤・通学の流動図

(2) 太子町

- 町内在住の通勤・通学者8,240人のうち町外で通勤・通学を行う者は4,875人(63.8%)と、町民の半数以上が他市町村へ通勤・通学を行っている。
- 町外への通勤・通学者においては、大阪府大阪市、富田林市、羽曳野市の順に流出が多い状況である。市外から流入する2,686人においては、大阪府富田林市が最も多く、次いで羽曳野市、河南町の順に多く見られる。

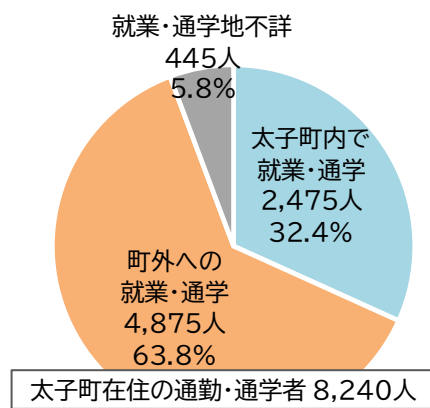


図 町内・町外の割合

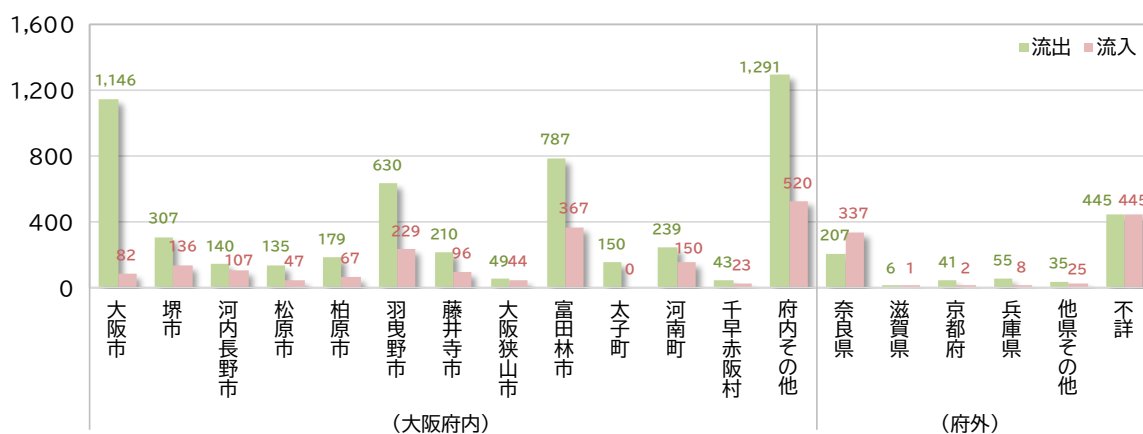


図 町外への(からの)通勤・通学

出典: R2 国勢調査

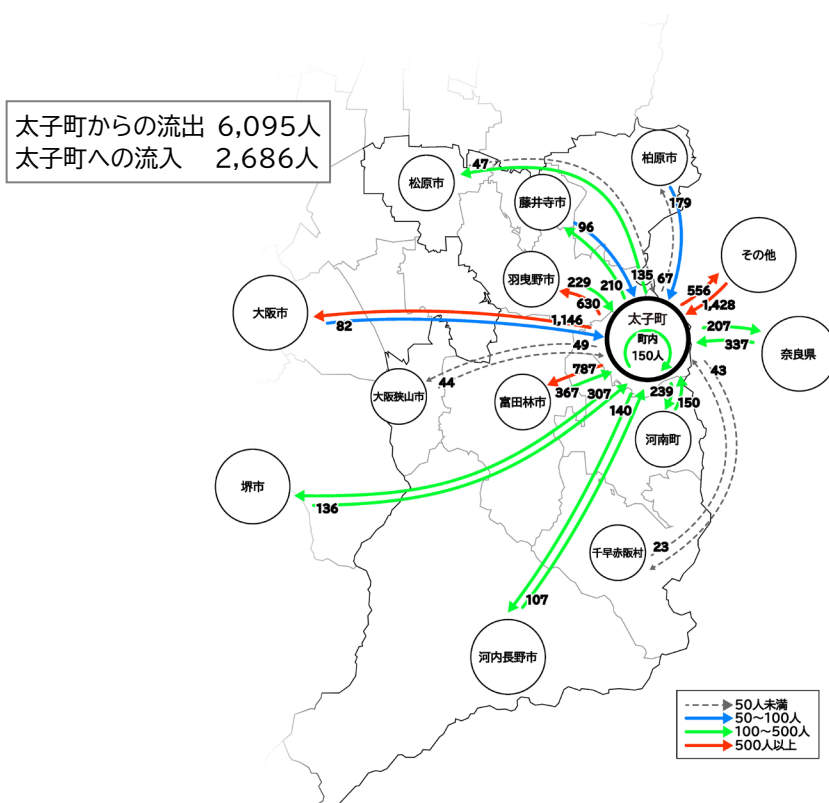


図 通勤・通学の流動図

(3) 河南町

- 町内在住の通勤・通学者9,235人のうち、町外で通勤・通学を行う者は5,256人(57.9%)と、町民の半数以上が他市町村へ通勤・通学を行っている。
- 町外への通勤・通学者においては、大阪府富田林市、大阪市、堺市の順に流出が多い状況である。市外から流入する6,357人においても、同じく大阪府富田林市が最も多く、次いで大阪市、堺市の順に多く見られる。

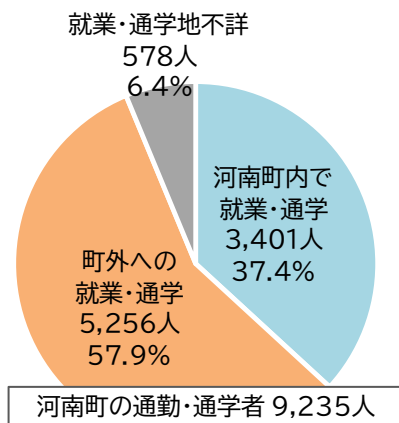


図 町内・町外の割合

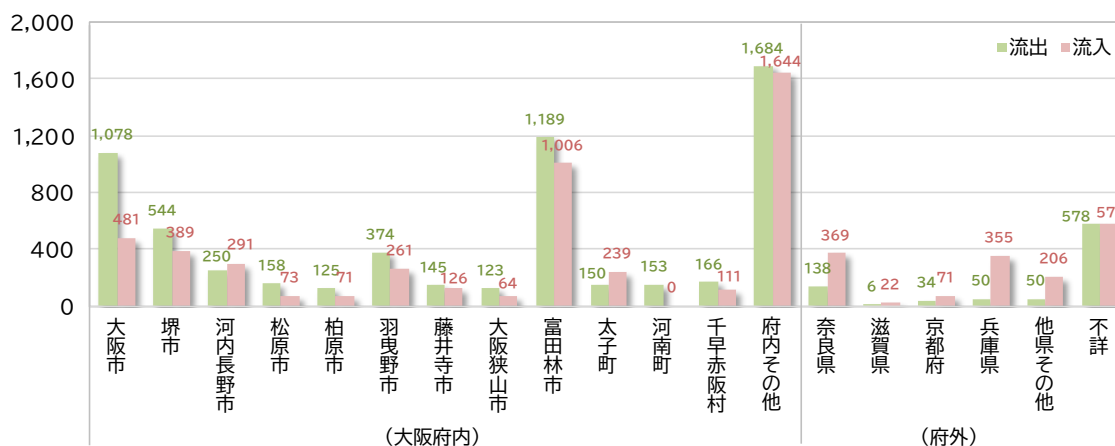


図 町外への(からの)通勤・通学

出典: R2 国勢調査

河南町からの流出 6,995人
河南町への流入 6,357人

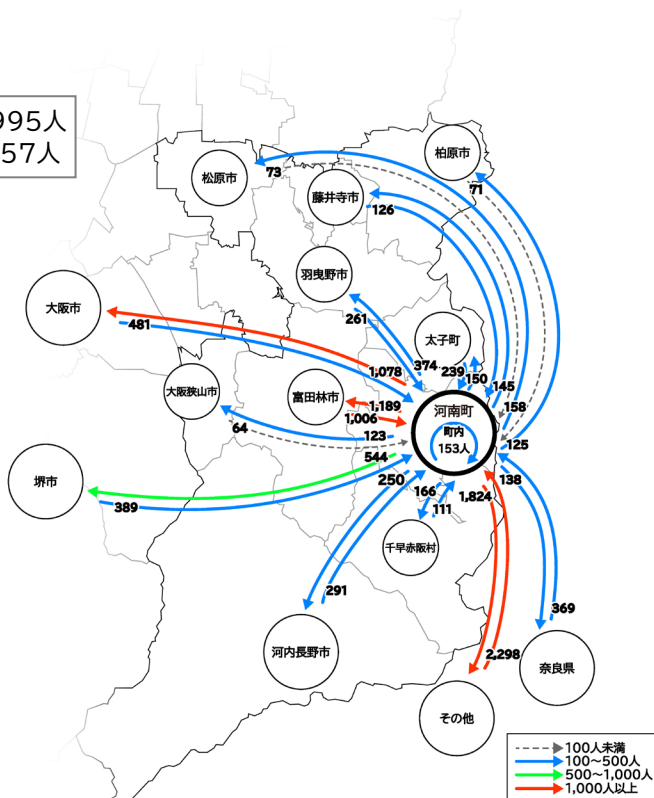


図 通勤・通学の流動図

(4)千早赤阪村

- 村内在住の通勤・通学者2,540人のうち、村外で通勤・通学を行う者は1,593人(63.5%)と、村民の半数以上が他市町村へ通勤・通学を行っている。
- 村外への通勤・通学者においては、大阪府富田林市、大阪市、河内長野市の順に流出が多い状況である。村外から流入する1,591人においては、大阪府富田林市が最も多く、次いで河内長野市、河南町の順に多く見られる。

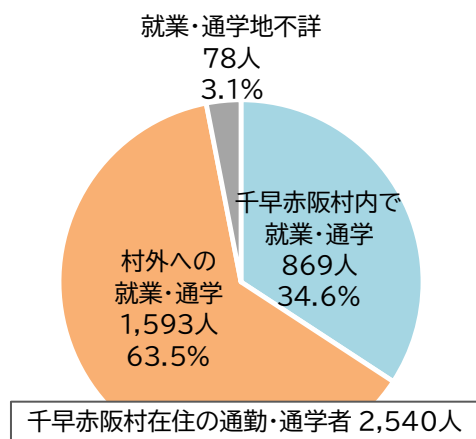


図 村内・村外の割合

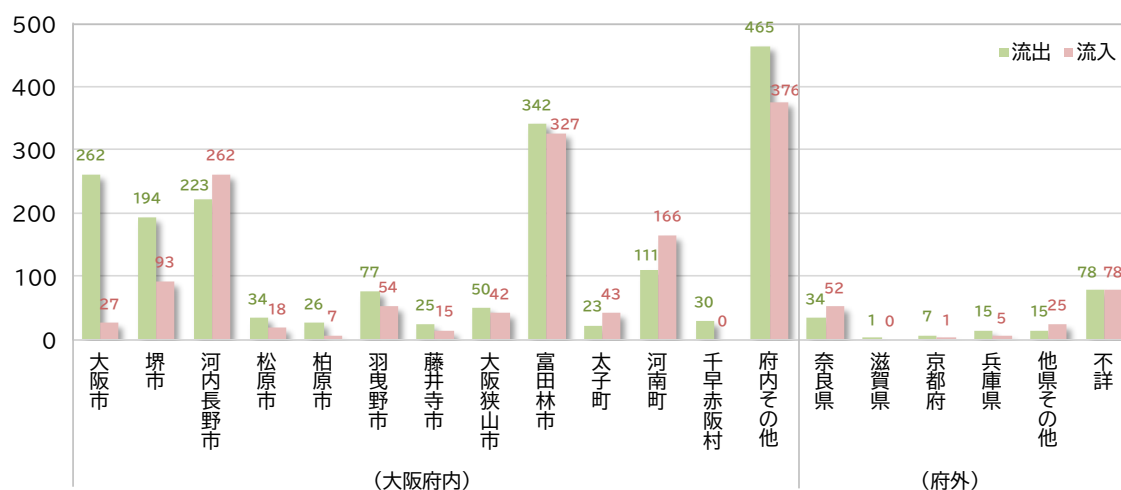


図 村外への(からの)通勤・通学

出典:R2 国勢調査

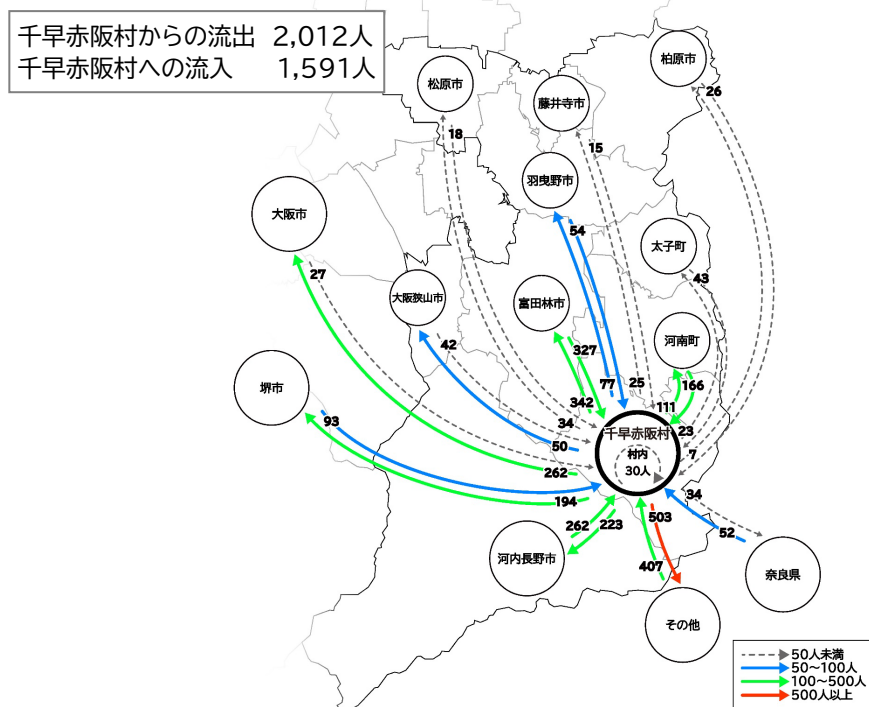


図 通勤・通学の流動図

資料編 2 . 公共交通の実態把握

〈 目 次 〉

2-1 鉄道の運行概要・利用実績	2-1
2-2 路線バスの運行概要・利用実績	2-9
2-3 コミュニティバス・乗合タクシーの運行概要・利用実績	2-12
2-4 タクシーの運行概要	2-20

資料編 2. 公共交通の実態把握

2-1 鉄道の運行概要・利用実績

(1) 運行概要

●鉄道は、富田林市の南北に近鉄長野線及び南海高野線、太子町の北部に近鉄南大阪線が運行している。

表 運行概要 ※R6.11 時点

路線名	駅名	方面	平日	土日祝
			総発車本数	総発車本数
近鉄長野線	喜志駅	阿部野橋	91 本	75 本
		河内長野	93 本	78 本
	富田林駅	阿部野橋	91 本	75 本
		河内長野	76 本	76 本
	富田林西口駅	阿部野橋	75 本	75 本
		河内長野	76 本	76 本
	川西駅	阿部野橋	75 本	75 本
		河内長野	76 本	76 本
近鉄南大阪線	上ノ太子駅	阿部野橋	65 本	62 本
		橿原神宮前	65 本	60 本
南海高野線	金剛駅	難波	193 本	183 本
		橋本	184 本	169 本
	滝谷駅	難波	104 本	94 本
		橋本	109 本	100 本

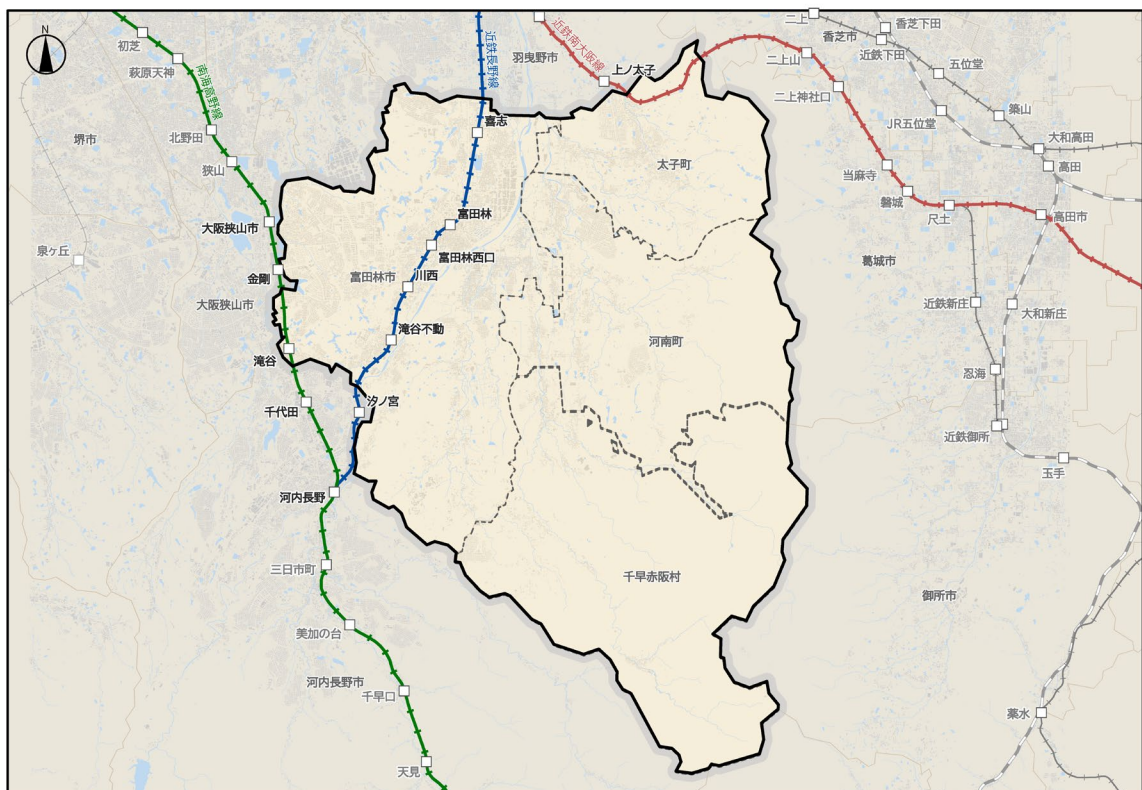


図 鉄道及び鉄道駅

(2) 各駅の現状

1) 近鉄長野線

(喜志駅)

項目		内容
有人・無人の別		有人
入口段差の有無		無
ホーム		2面2線
ホーム間の移動		地下
バリアフリー(外)	手すり	有
	EV/スロープ	有
	点字ブロック	有



路線バス等の接続	近鉄バス(96系統)、金剛ふるさとバス(喜志循環線・阪南線)と接続
----------	-----------------------------------

(富田林駅)

項目		内容
有人・無人の別		有人
入口段差の有無		無
ホーム		2面2線
ホーム間の移動		地下
バリアフリー(外)	手すり	有
	EV/スロープ	有
	点字ブロック	有



路線バス等の接続	近鉄バス(35、36、37、40・44、41系統)、レインボーバス、金剛ふるさとバス(北大伴線・石川線・千早線・河内線・白木線・さくら坂循環線・東条線)と接続
----------	---

(富田林西口駅)

項目		内容
有人・無人の別		有人(日中のみ)
入口段差の有無		無
ホーム		1面1線
ホーム間の移動		-
バリアフリー(外)	手すり	有
	EV/スロープ	有
	点字ブロック	有



路線バス等の接続	駅への乗り入れはなし
----------	------------

(川西駅)

項目		内容
有人・無人の別		有人(日中のみ)
入口段差の有無		有
ホーム		1面1線
ホーム間の移動		-
バリア フリー	手すり	有
	EV/スロープ	有
	点字ブロック	有



路線バス等の 接続	駅への乗り入れはなし
--------------	------------

(滝谷不動駅)

項目		内容
有人・無人の別		有人(日中のみ)
入口段差の有無		無
ホーム		2面2線
ホーム間の移動		構内踏切を通行
バリア フリー	手すり	有
	EV/スロープ	有
	点字ブロック	有



路線バス等の 接続	駅への乗り入れはなし
--------------	------------

2) 近鉄南大阪線

(上ノ太子駅)

項目		内容
有人・無人の別		有人(日中のみ)
入口段差の有無		無
ホーム		2面2線
ホーム間の移動		構内踏切を通行
バリア フリー	手すり	有
	EV/スロープ	有
	点字ブロック	有



路線バス等の 接続	たいしのってこバス(春日・畑線、太子中央循環線、上ノ太子駅町内周回線)と接続
--------------	--

3) 南海高野線

(金剛駅)

項目		内容
有人・無人の別		有人
入口段差の有無		有
ホーム		2面4線
ホーム間の移動		跨線橋を通行
バリア フリー	手すり	有
	EV/スロープ	有
	点字ブロック	有



路線バス等の 接続	南海バス(257、258、 258C、259、260、461、461C、462系統)と接続
--------------	--

(滝谷駅)

項目		内容
有人・無人の別		無人
入口段差の有無		無
ホーム		2面2線
ホーム間の移動		跨線橋を通行
バリア フリー	手すり	有
	EV/スロープ	有
	点字ブロック	有



路線バス等の 接続	駅への乗り入れはなし
--------------	------------

(3) 駅別の利用実績

1) 近鉄長野線

●地域内には、近鉄長野線が運行しており、喜志駅、富田林駅、富田林西口駅、川西駅、滝谷不動駅が立地している。

(喜志駅)

●喜志駅の利用実績をみると、輸送人員は令和1年度まで増加傾向だったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で平成30年度の約68.0%まで減少した。また、令和3年度以降は増加傾向ではあるが、平成30年度よりは輸送人員が少なくなっている。

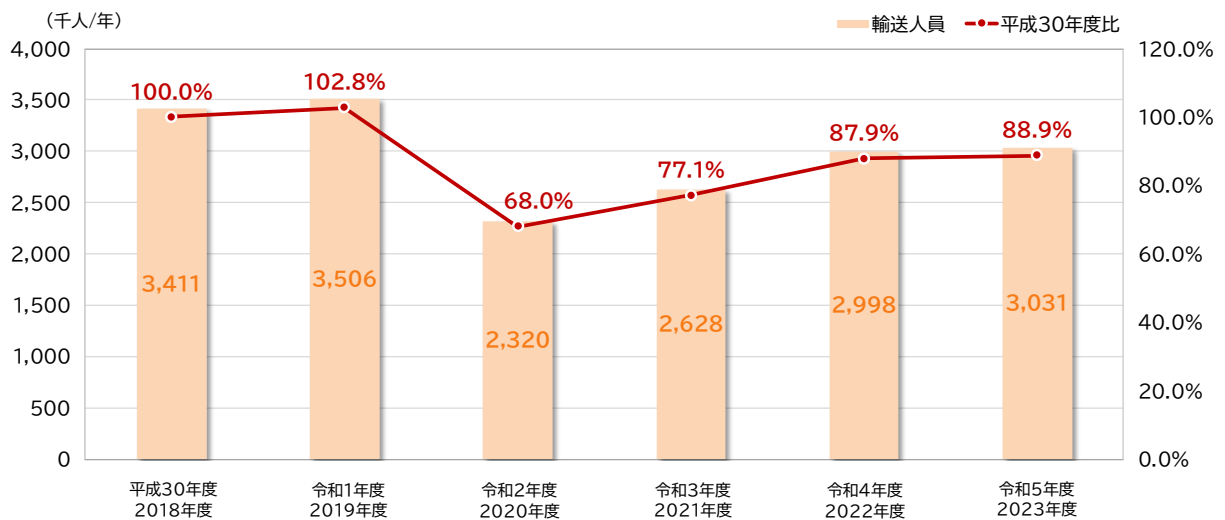


図 喜志駅の利用実績

(富田林駅)

●富田林駅の利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成30年度の約75.9%まで減少した。また、令和3年度以降は微増傾向ではあるが、平成30年度よりは輸送人員が少なくなっている。

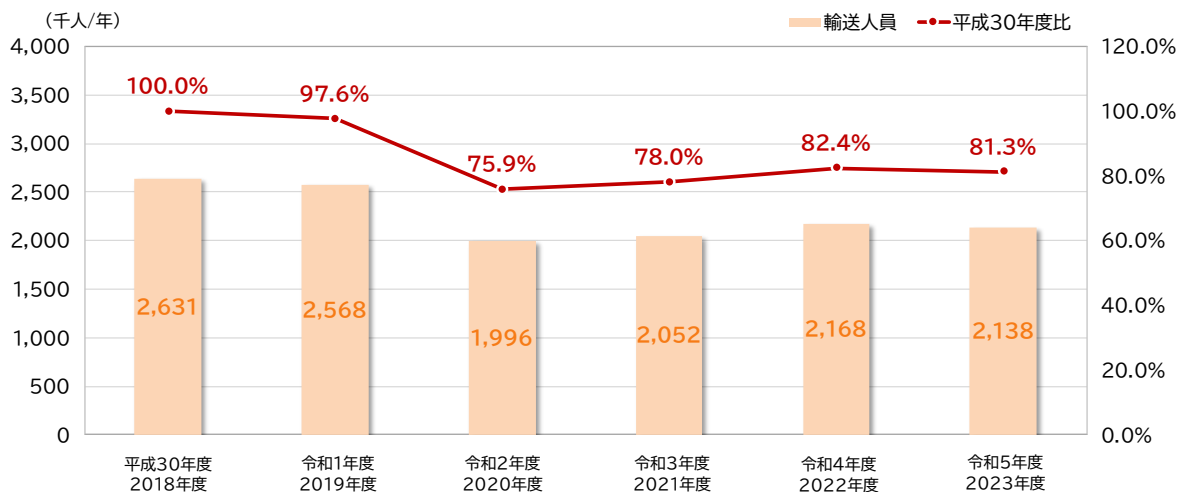


図 富田林駅の利用実績

●他の駅の利用状況は以下のようになっている。

(富田林西口駅)

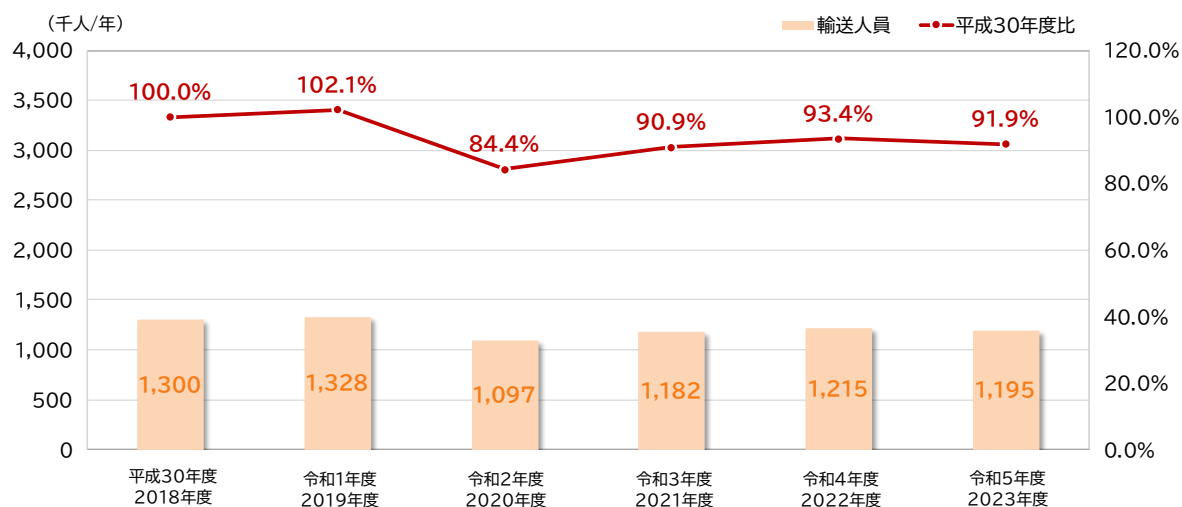


図 富田林西口駅の利用実績

(川西駅)

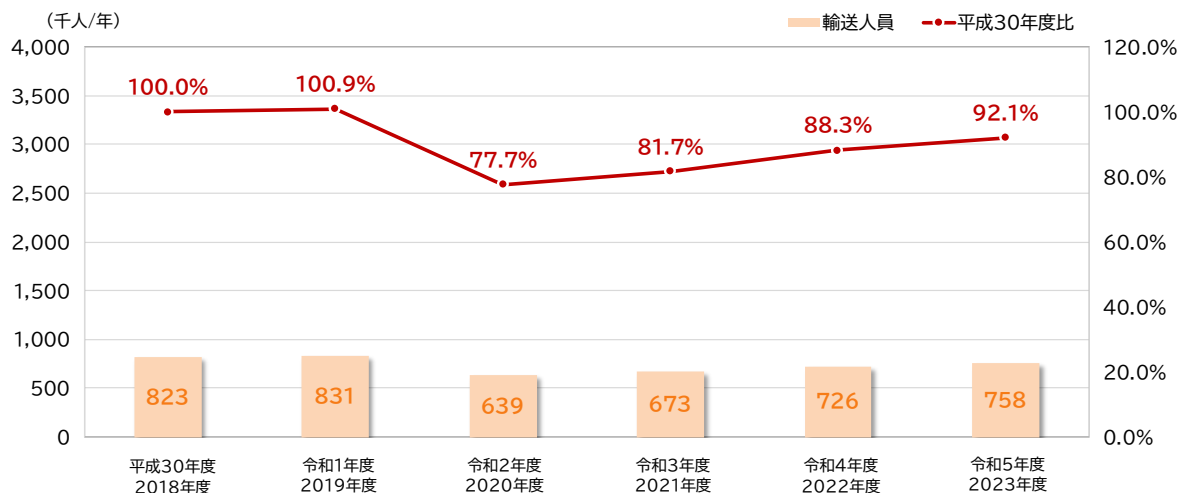


図 川西駅の利用実績

(滝谷不動駅)

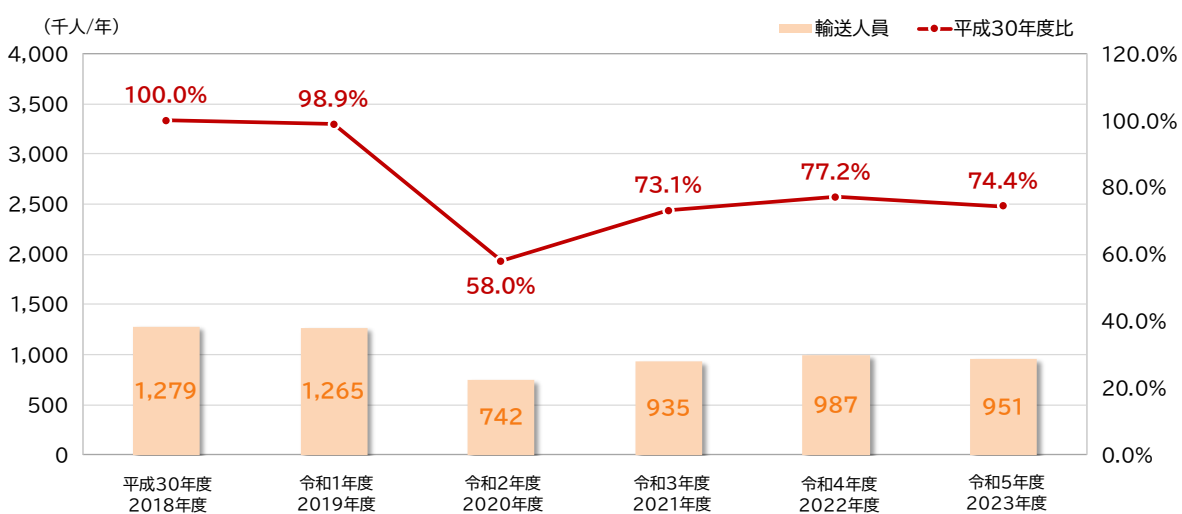


図 滝谷不動駅の利用実績

2) 近鉄南大阪線

- 太子町の北部には近鉄南大阪線が運行しており、上ノ太子駅が立地している。

(上ノ太子駅)

- 上ノ太子駅の利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成30年度の約 79.7%まで減少した。また、令和3年度以降は微増傾向ではあるが、平成30年度よりは輸送人員が少なくなっている。

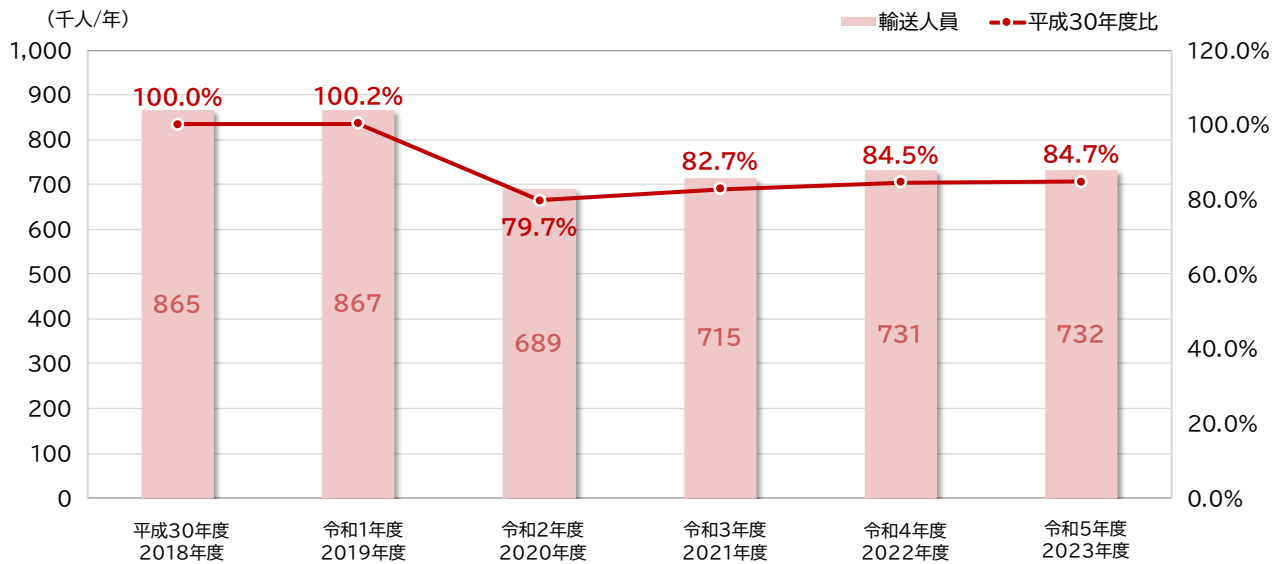


図 上ノ太子駅の利用実績

3) 南海高野線

- 地域内には南海高野線が運行しており、金剛駅、滝谷駅が立地している。

(金剛駅)

- 金剛駅の利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成30年度の約75.9%まで減少した。また、令和3年度以降は微増傾向ではあるが、平成30年度よりは輸送人員が少なくなっている。

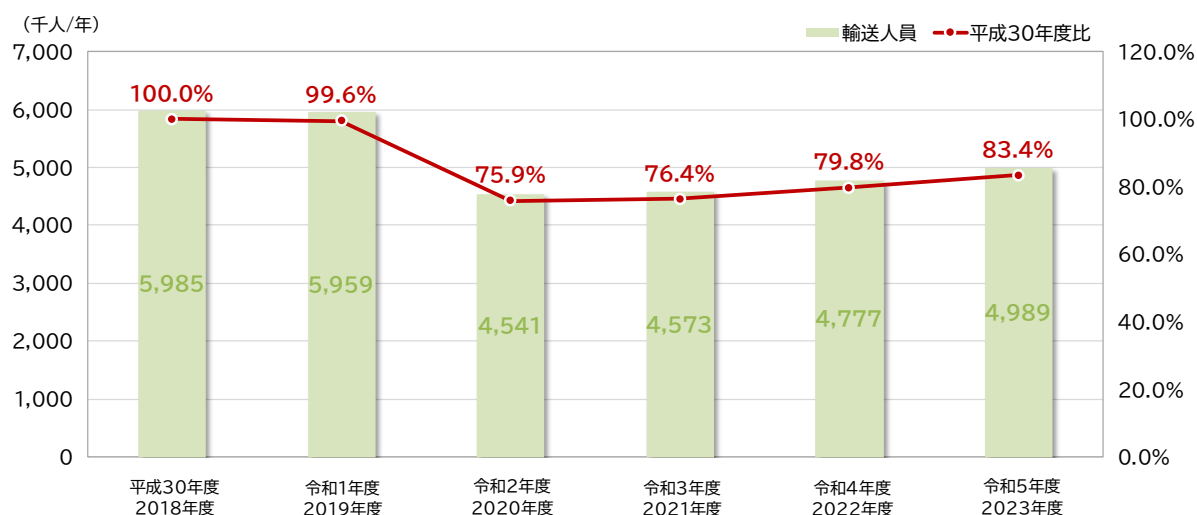


図 金剛駅の利用実績

(滝谷駅)

- 滝谷駅の利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成30年度の約82.8%まで減少した。また、令和3年度以降は微増傾向ではあるが、平成30年度よりは輸送人員が少なくなっている。

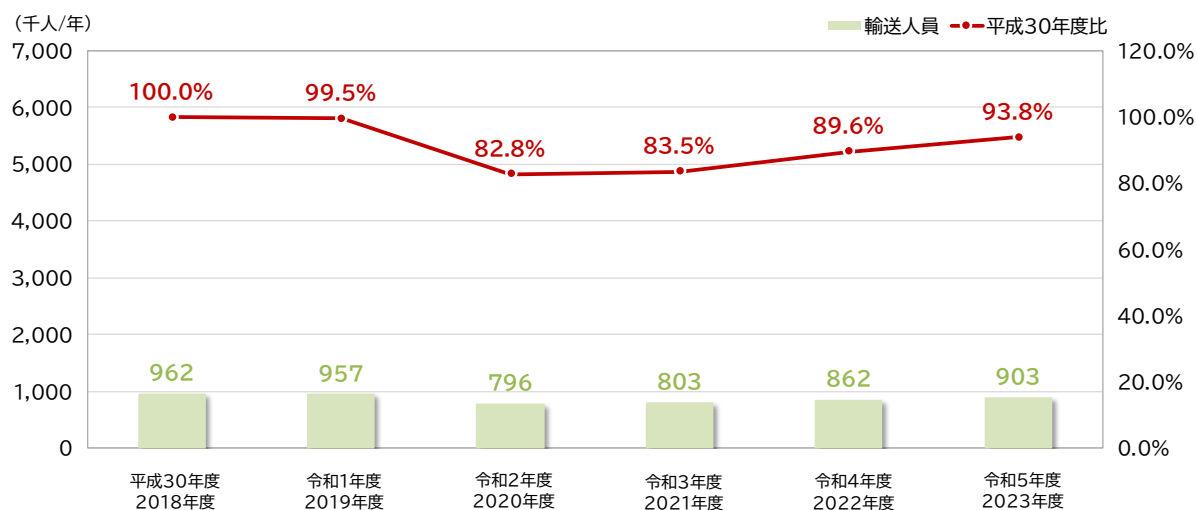


図 滝谷駅の利用実績

2-2 路線バスの運行概要・利用実績

(1) 運行概要

- 本地域には、路線バス(近鉄バス、南海バス)の計18系統が運行を行っており、児童・生徒の通学、高齢者の通院・買い物等の日常生活に利用されている。

1) 近鉄バス

表 運行概要 ※R6.11 時点

路線名・系統番号	経路	運行便数		
		平日	土曜	日祝
金剛東団地線・35	富田林駅前～金剛東団地～富田林駅前	22 便	21 便	20 便
金剛東団地線・36	富田林駅前～PL 病院正面玄関前～金剛東団地～富田林駅前	28 便	19 便	-
金剛東団地線・37(上り)	富田林駅前～PL 病院正面玄関前	6 便	4 便	-
金剛東団地線・37(下り)	PL 病院正面玄関前～富田林駅前	6 便	4 便	-
北野田線・40,44(上り)	富田林駅前～平尾峠(～北野田駅前)	19 便	19 便	17 便
北野田線・43,44(下り)	(北野田駅前～)平尾峠～富田林駅前	18 便	18 便	17 便
北野田線・41(上り)	富田林駅前～平尾峠(～河内松原駅前)	1 便	1 便	2 便
北野田線・41(下り)	(河内松原駅前～)平尾峠～富田林駅前	2 便	2 便	2 便
富田林線・96	喜志駅前～梅の里住宅西(～さつき野センター北)	48 便	26 便	26 便

2) 南海バス

表 運行概要 ※R6.11 時点

路線名・系統番号	経路	運行便数		
		平日	土曜	日祝
金剛東団地線・257	金剛駅前～藤沢台～向陽台～金剛駅前	71 便	55 便	55 便
金剛東団地線・258,258C	金剛駅前～津々山台～小金台～金剛駅前	44 便	41 便	41 便
金剛東団地線・259	金剛駅前～津々山台～小金台～金剛駅前	7 便	-	-
金剛団地線・260	金剛駅前～寺池台～高辺台～金剛駅前	48 便	34 便	34 便
PL 病院線・461	金剛駅前～寺池台～高辺台～PL 病院	6 便	4 便	-
PL 病院線・462	金剛駅前～小金台～PL 病院～向陽台～藤沢台～金剛駅前	6 便	4 便	-
PL 病院線・461,461C	PL 病院～向陽台～藤沢台～金剛駅前	6 便	4 便	-
こんごう福祉センター線・450(上り)	(河内長野駅前～)府立こんごう福祉センターかなびのさと前	11 便	11 便	11 便
こんごう福祉センター線・450(下り)	府立こんごう福祉センターかなびのさと前(～河内長野駅前)	11 便	11 便	11 便
小吹台団地線・410(上り)	(河内長野駅前～大師町～)小吹台口～小吹台	22 便	16 便	16 便
小吹台団地線・410(下り)	小吹台～小吹台口(～大師町～河内長野駅前)	20 便	17 便	17 便
小深線・408(上り)	(河内長野駅前～昇條坂～)千早大橋～金剛山ロープウェイ前	1 便	14 便	14 便
小深線・408(下り)	金剛山ロープウェイ前～千早大橋(～昇條坂～河内長野駅前)	1 便	8 便	8 便
小深線・411(上り)	(河内長野駅前～日東町～)千早大橋～金剛山ロープウェイ前	8 便	8 便	8 便
小深線・411(下り)	金剛山ロープウェイ前～千早大橋(～日東町～河内長野駅前)	8 便	12 便	12 便

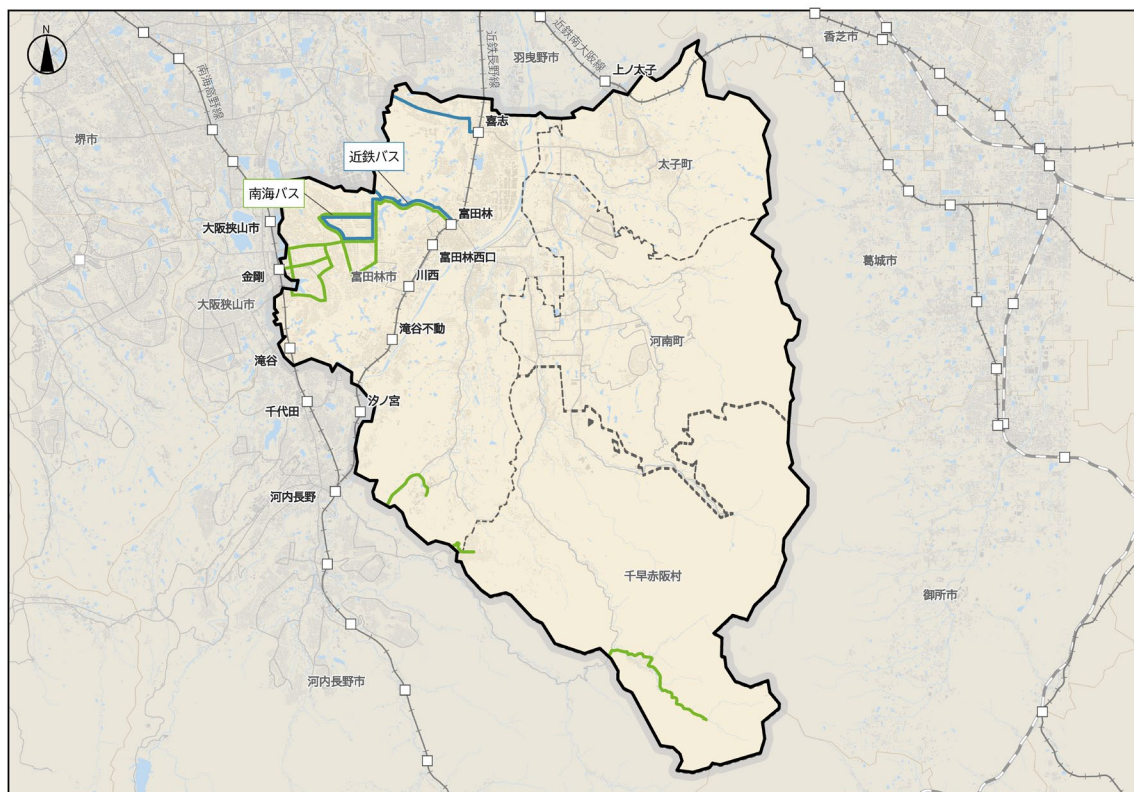


図 路線バス路線図

(2) 利用実績

1) 近鉄バス

- 近鉄バスの利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成30年度の約79.1%まで減少した。また、令和3年度以降は微増傾向である。

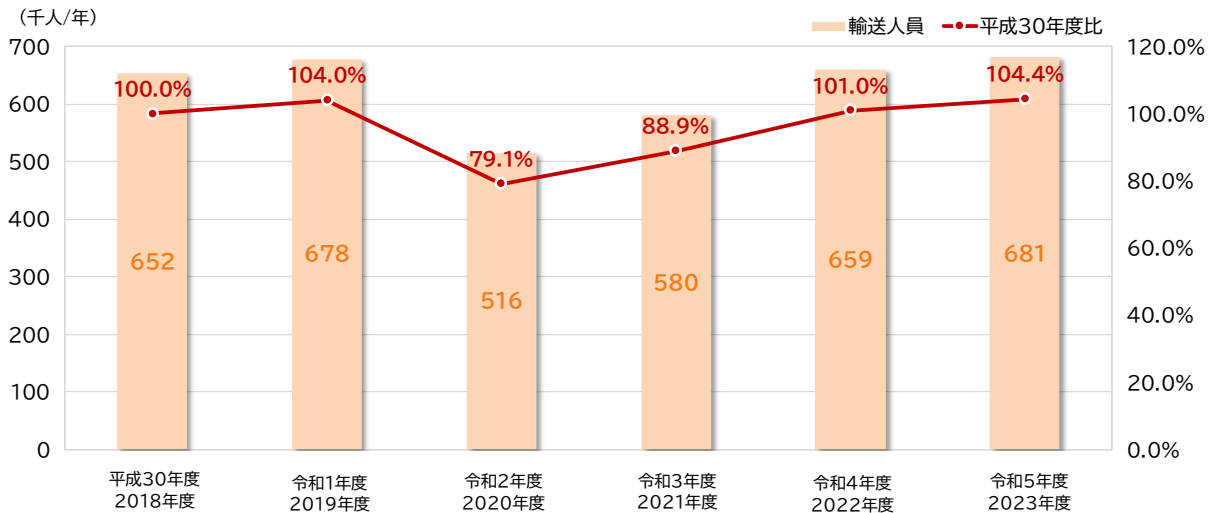


図 近鉄バスの乗客数の推移

2) 南海バス

- 南海バスの利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成30年度の約83.8%まで減少し、更に令和3年度には平成30年度の約80.9%まで減少した。また、令和4年度以降は増加傾向ではあるが、平成30年度よりは輸送人員が少なくなっている。

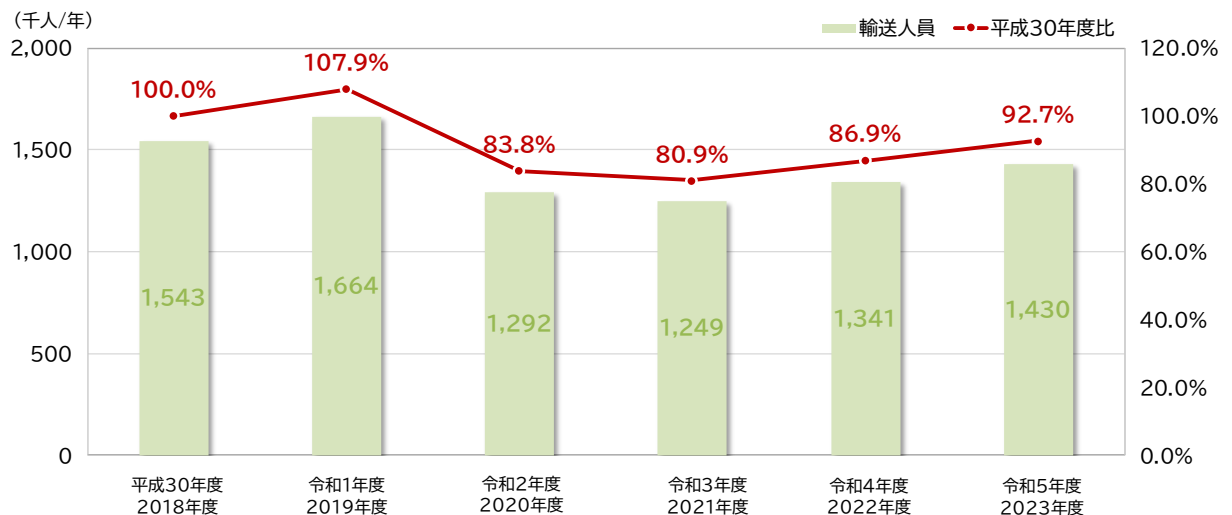


図 南海バスの乗客数の推移

2-3 コミュニティバス・乗合タクシーの運行概要・利用実績

- 本地域では、各市町村においてコミュニティバスが運行しており、鉄道路線等から離れた地域で住民の日常的な移動手段として役割を担っている。

(1) 金剛ふるさとバス（4市町村コミュニティバス）

1) 運行概要

- 金剛ふるさとバスは、4市町村間の移動を支える地域間幹線交通として令和5年12月21日から運行を開始し、現在計9系統が運行している。会社員や学生の通勤・通学などを支えている他にも、地域内の主要な施設間を結んで運行している。

表 運行概要 ※R6.11 時点

路線名・ 系統番号	経路	運行日	運行便数		
			平日	土曜	日祝
北大伴線	富田林駅～北大伴	毎日	11 便	11 便	
	北大伴～富田林駅		11 便	11 便	
石川線	東山～北大伴南口～富田林駅		1 便	1 便	
	富田林駅～北大伴南口～近つ飛鳥博物館前		11 便	11 便	
	近つ飛鳥博物館前～北大伴南口～富田林駅		10 便	10 便	
千早線	富田林駅～大伴～千早赤阪村立中学校前		19 便	19 便	
	千早赤阪村立中学校前～大伴～富田林駅		19 便	19 便	
河内線	富田林駅～別井～河内		6 便	6 便	
	河内～別井～富田林駅		6 便	6 便	
白木線	富田林駅～別井～寺田		1 便	1 便	
	富田林駅～別井～東水分		6 便	6 便	
	東水分～別井～富田林駅		6 便	6 便	
さくら坂循環線	富田林駅～別井～白木～さくら坂4丁目～富田林駅		12 便	12 便	
	富田林駅～別井～白木～さくら坂4丁目		2 便	2 便	
	さくら坂3丁目～白木～別井～富田林駅		2 便	2 便	
東條線	富田林駅～府立こんごう福祉センター前～甘南備～富田林駅		4 便	4 便	
	富田林駅～府立こんごう福祉センター前～富田林駅		11 便	11 便	
	府立こんごう福祉センター前～富田林駅		1 便	1 便	
	富田林駅～府立こんごう福祉センター前		1 便	1 便	
喜志循環線	喜志駅～河南橋～太子町役場～喜志駅		15 便	15 便	
阪南線	喜志駅～河南橋～東山～近つ飛鳥博物館前		19 便	19 便	
	近つ飛鳥博物館前～東山～河南橋～喜志駅		20 便	20 便	

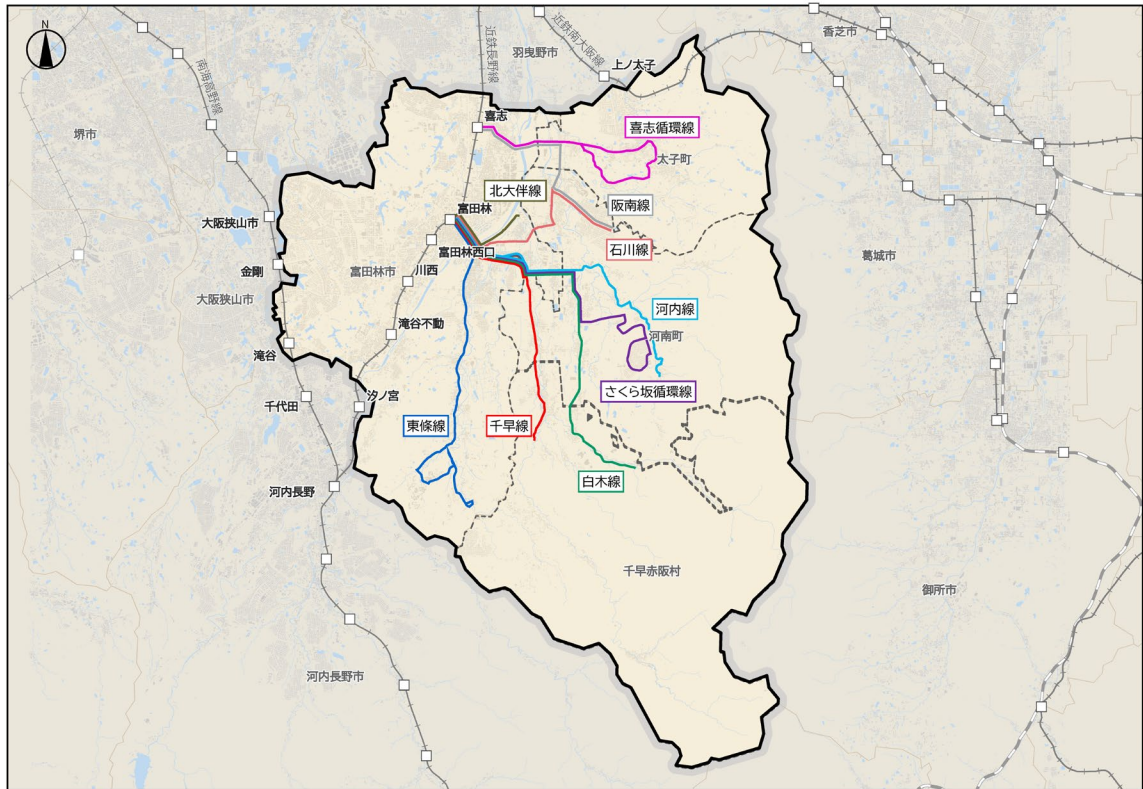


図 金剛ふるさとバス路線図

2) 利用実績

- 金剛ふるさとバスの利用実績をみると、輸送人員は増減を繰り返しており、4市町村と事業者が連携して現在も運行を継続しているが、将来にわたって維持していくためにも、幹線交通として金剛ふるさとバスの運行維持に向けて利用者数の向上が重要になる。

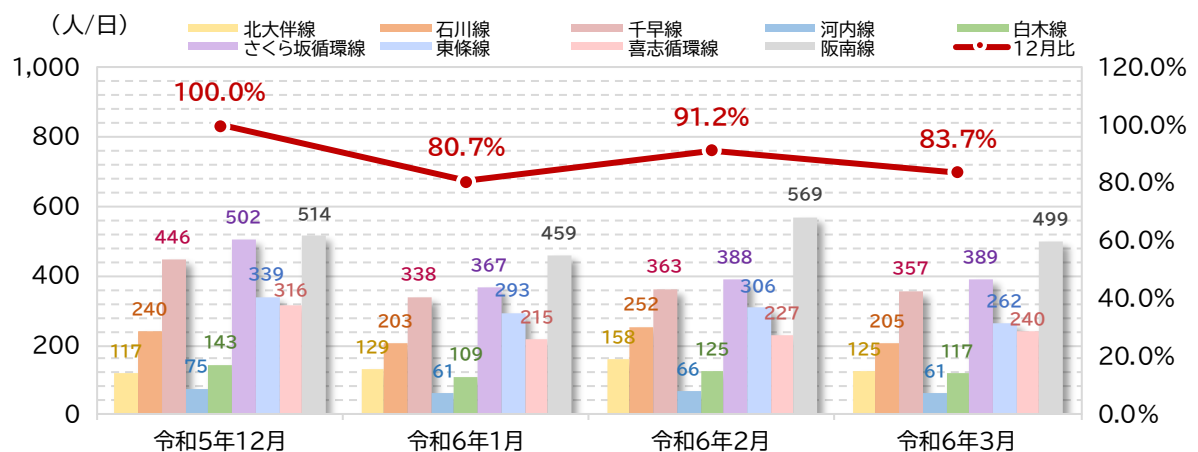


図 金剛ふるさとバスの利用実績(1日あたり)

出典: 富田林市提供データ

(2) 富田林市レインボーバス

1) 運行概要

- 富田林市では、コミュニティバス「富田林市レインボーバス」が、駅や市役所などの富田林市内の主要施設間を結び、1日3便が運行している。

表 運行概要 ※R6.11 時点

経路	運行日	運行便数		
		平日	土曜	日祝
富田林駅前～金剛連絡所前～富田林駅前	毎日	3 便		3 便



図 富田林市レインボーバス路線図

2) 利用実績

- 富田林市レインボーバスの利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成30年度の約65.1%まで減少し、令和5年度では、9月に運賃改定等の実施、12月からは金剛ふるさとバスの補完運行のため、便数が9便から3便へ減便したことによる輸送人員の変動がみられる。

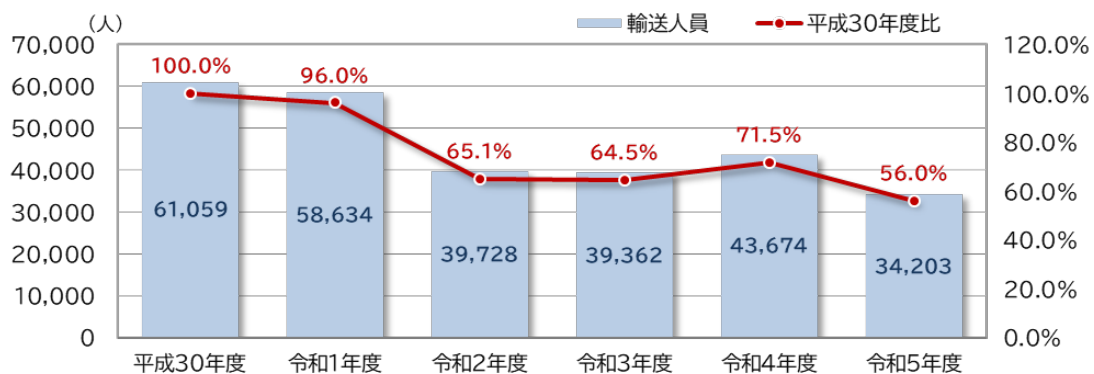


図 富田林市レインボーバスの利用実績

出典: 富田林市提供データ

(3) たいしのってこバス

1) 運行概要

- 太子町では、コミュニティバス「たいしのってこバス」が、上ノ太子駅や太子町役場など太子町内の主要施設間を結んで運行している。また、令和5年12月21日に金剛ふるさとバスの運行開始とともに、新たに4系統が運行開始となり、現在は計6系統が運行している。

表 運行概要 ※R6.11 時点

路線名・ 系統番号	経路	運行日	運行便数		
			平日	土曜	日祝
春日・畑線	上ノ太子駅前～太子カントリー倶楽部前	毎日	6 便	6 便	
春日・畑線	太子カントリー倶楽部～上ノ太子駅前		6 便	6 便	
太子中央循環線(太子回り)	上ノ太子駅前～聖徳太子御廟前～上ノ太子駅前		5 便	4 便	
太子中央循環線(山田回り)	上ノ太子駅前～磯長小学校前～上ノ太子駅前		3 便	3 便	
上ノ太子駅町内周回線 (春日回り)	上ノ太子駅前～松の木保育園～上ノ太子駅前		6 便	7 便	
上ノ太子駅町内周回線 (聖和台回り)	上ノ太子駅前～聖和台4丁目～上ノ太子駅前		5 便	5 便	
畑・山田役場線	太子町役場～畑薬師山公園前～太子町役場		3便	3便	
総合福祉センター役場線 (磯長台回り)	太子町役場～用明天皇陵前～太子町役場		3 便	2 便	
総合福祉センター役場線 (いわき台回り)	太子町役場～いわき台～太子町役場		3 便	2 便	
太子・役場線	太子町役場～梅川橋～太子町役場		2 便	4 便	



図 たいしのってこバス路線図

2) 利用実績

- たいしのってこバスの利用実績をみると、金剛バスの廃止に伴い、令和5年12月21日より上ノ太子駅へ接続するなど、新たな系統が運行開始され、輸送人員が増加している。

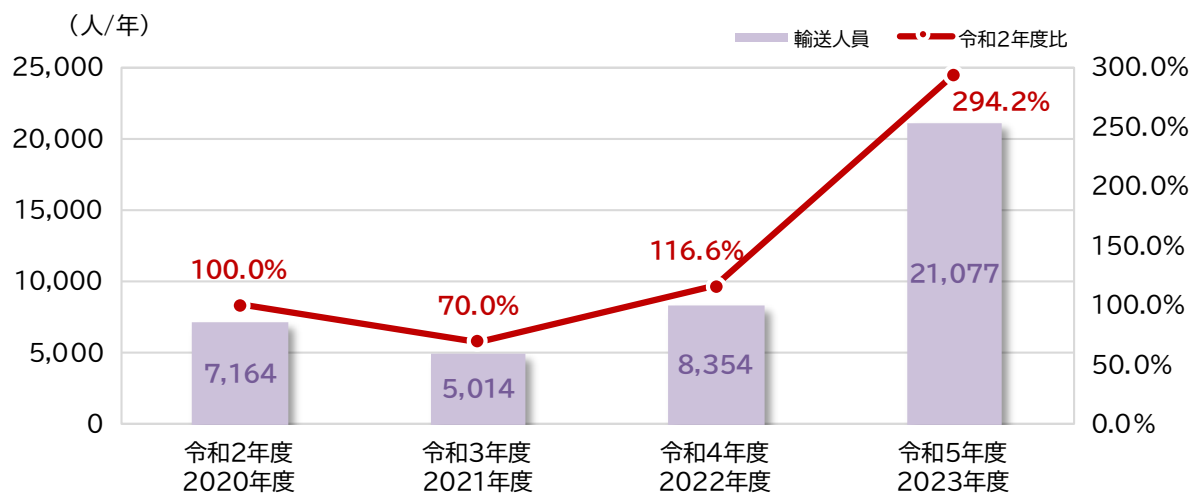


図 たいしのってこバスの利用実績

出典:太子町提供データ

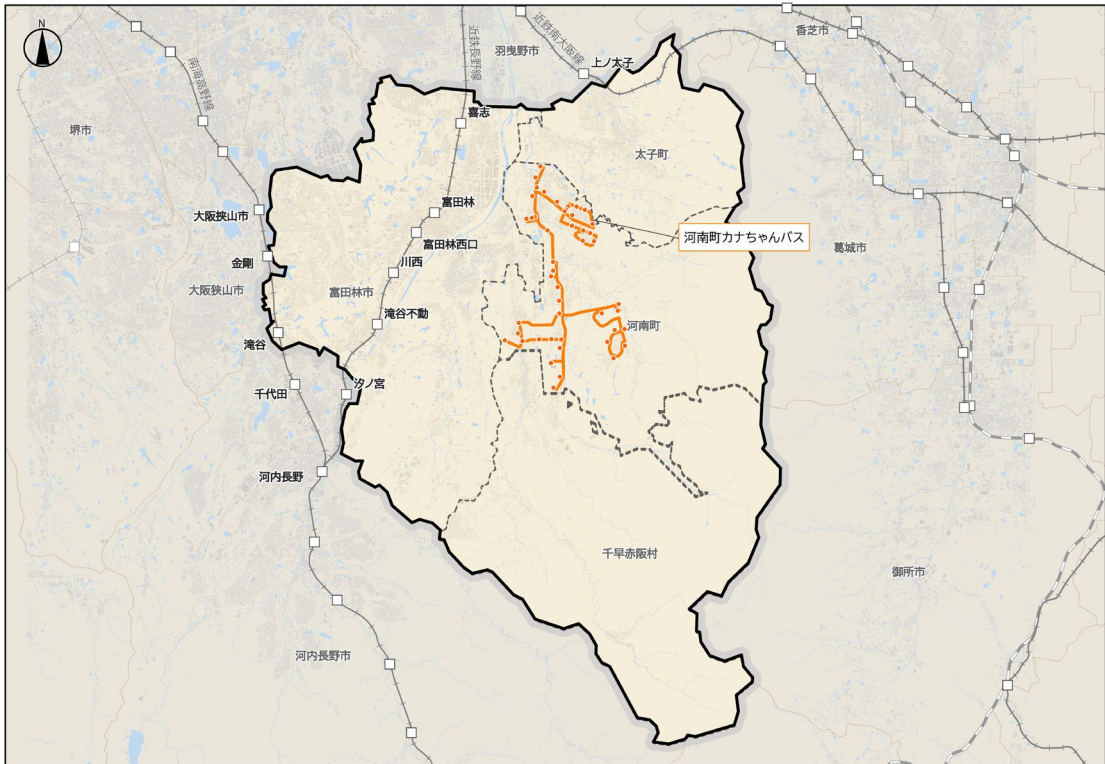
(4) カナちゃんバス

1) 運行概要

- 河南町では、コミュニティバス「カナちゃんバス」と乗合タクシー「やまなみタクシー」が、商業施設や病院、役場などの公共施設を経由するかたちで町内を循環している。(カナちゃんバスは1日8便、やまなみタクシーは火曜日～金曜日までの各日で4便が運行)

表 運行概要 ※R6.11 時点

路線名・系統番号	経路	運行日	運行便数		
			平日	土曜	日祝
北部	かなんぴあ～大宝地区公民館北～かなんぴあ	毎日	8 便	8 便	
南部	かなんぴあ～さくら坂3丁目～かなんぴあ		8 便	8 便	



2) 利用実績

図 カナちゃんバス路線図

- カナちゃんバスの利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成31年度の約87.3%まで減少し、金剛バスの廃止に伴い新たな系統が運行開始され、輸送人員が増加している。

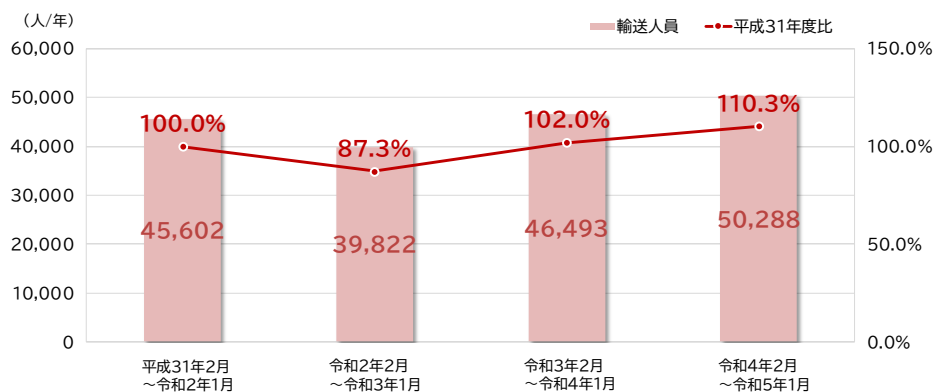


図 カナちゃんバスの利用実績

出典:河南町提供データ

(5) やまなみタクシー

1) 運行概要

表 運行概要 ※R6.11 時点

路線名・ 系統番号	経路	運行日	運行便数		
			平日	土曜	日祝
A	かなんぴあ～平石地区・老人集会所～かなんぴあ	火～金	4 便	-	-
B	かなんぴあ～青崩東～かなんぴあ		4 便	-	-



図 やまなみタクシー路線図

2) 利用実績

- やまなみタクシーの利用実績をみると、輸送人員は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で平成31年度の約50.7%まで減少した。また、令和3年度以降も、平成31年度よりは輸送人員が少なくなっている。

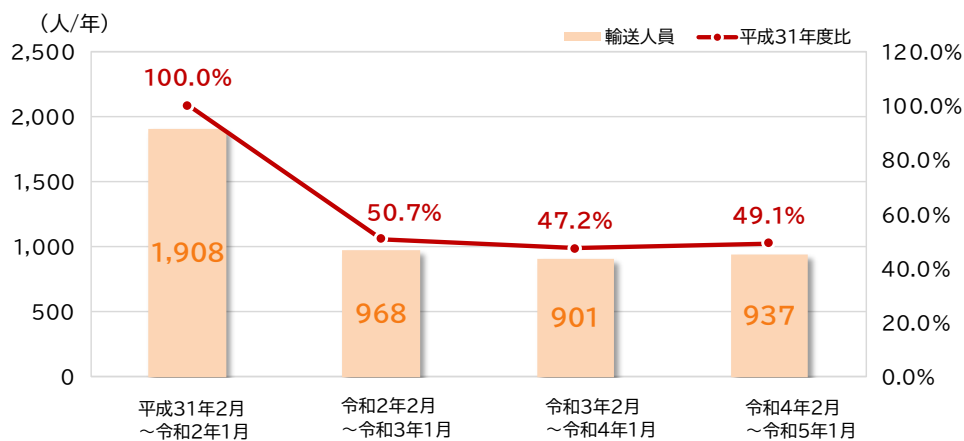


図 やまなみタクシーの利用実績

出典:河南町提供データ

(6) 千早赤阪村コミュニティバス

1) 運行概要

- 千早赤阪村では、「千早赤阪村コミュニティバス」が金剛ふるさとバスとともに運行が開始され、金剛ふるさとバス千早線と接続するバス停の「千早赤阪村立中学校前」から登山口を結んでおり、観光客の移動を支えている。

表 運行概要 ※R6.11 時点

路線名・系統番号	経路	運行日	運行便数		
			平日	土曜	日祝
千早線(上り)	金剛登山口～千早赤阪村立中学校前	毎日	12 便	12 便	
千早線(下り)	千早赤阪村立中学校前～金剛登山口		12 便	12 便	



図 千早赤阪村コミュニティバス路線図

2) 利用実績

- 千早赤阪村コミュニティバスの利用実績をみると、令和5年12月21日より運行が開始されたため、令和5年12月の輸送人員は少なく、その後増減を繰り返しており、観光地への移動手段として更なる利用者の増加が期待される。

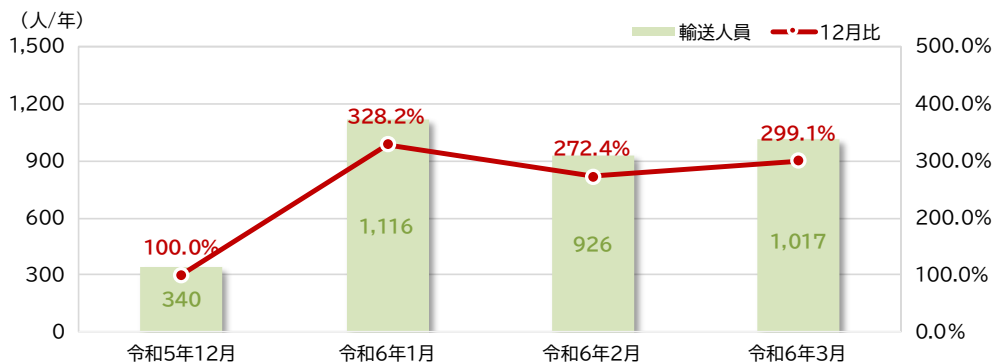


図 千早赤阪村コミュニティバスの利用実績

出典: 千早赤阪村提供データ

2-4 タクシーの運行概要

- タクシーは2者の事業者が運行し、住民の通院などの日常移動手段として機能している。

表 運行概要

事業者名	地域内拠点	運行事業者	種別
近鉄タクシー株式会社	河内長野営業所(河内長野市) 富田林営業所(富田林市)	一般乗用 旅客運送事業	距離制・時間制
大阪第一交通株式会社	金剛営業所(大阪狭山市)		



(参考) 令和5年度 法人タクシー輸送実績

営業区域名	事業者数	車両数	運送回数	輸送人員
大阪市域交通圏	180	12,012	41,276,224	58,232,562
北摂交通圏	15	679	2,438,584	3,236,264
河北交通圏	18	720	2,504,718	3,523,662
河南交通圏	3	153	835,001	1,151,211
河南B交通圏	2	120	685,695	914,516
泉州交通圏	30	574	2,037,633	3,119,439
豊能郡	2	7	29,236	52,187

図 大阪府内におけるタクシーの営業区域

引用:大阪府内におけるタクシーの営業区域(国土交通省)

資料編 3. 公共交通以外の地域の輸送資源の調査

〈 目 次 〉

3-1 スクールバス事業.....	3-1
3-2 高齢者・障がい者への移動支援	3-2
3-3 その他移動サービス	3-3

資料編 3. 公共交通以外の地域の輸送資源の調査

3-1 スクールバス事業

- 地域内の通学支援として、下記のスクールバスの運行を行っている。

表 スクールバス運行概要

対象	内容
大阪大谷大学	金剛駅～大学：無料 ※1年生のみ対象
上宮太子高校	喜志駅 or 上ノ太子駅 or 金剛駅～学校：無料
初芝富田林中学・高校	滝谷不動駅 or 金剛駅～学校：無料
かなん桜小学校	最寄り停留所※～学校：無料 ※7号車分ルート設定
近つ飛鳥小学校	最寄り停留所※～学校：無料 ※3ルート設定
大阪芸術大学	喜志駅～大学：無料 梅田～大学：定期や乗車券を購入
赤阪小学校	千早地域～学校：無料
千早小吹台小学校	東阪 or 中津原・小吹～学校：無料
千早赤阪村立中学校	小吹台～学校：4,000 円/月(150円/回)

出典:各学校 HP

3-2 高齢者・障がい者への移動支援

- 本地域では、高齢者や障がい者の移動に係る移動支援事業を実施している。

表 事業概要

事業者名	対象	内容
重度障がい者 タクシー料金の助成 (富田林市)	○在宅重度身体障がい(身体障がい者手帳1級、2級)または重度の知的障がい(療育手帳 A)または重度の精神障がい(精神障がい者保健福祉手帳1級)をもつ人 ※施設入所者は対象外	タクシーの運賃の一部を助成 ※利用は市が契約しているタクシー事業所に限る。
重度身体障がい者 リフト付タクシー助成券 (太子町)	○身体障がい者手帳1級・2級所持者で、外出時に車いすなどを必要とされる人 ※社会福祉施設などへ入所している人は対象外	タクシーの運賃の一部を助成 ※利用可能なタクシー会社・バス会社は決まっている。
重度身体障がい者等 移動支援 (河南町)	○車いすなどを利用する方法以外で外出することが困難な身体障がいのある人(身体障がい者手帳1級、または、2級)	タクシーの運賃の一部を助成 ※町と契約している、一般タクシー及びリフト付きタクシー事業所でのみ使用
河南町社会福祉協議会 河南町ラクチン ライフサポート事業 (河南町)	○要支援1・要支援2、チェックリスト該当者の方	外出支援(訪問型サービス D) 社協所有の車で講習を受けた運転ボランティアが通院や買い物等(町内限定)の外出支援
障がい者福祉 地域生活支援事業 (河南町)	○河南町に住民票を持ち、おおむね就学年齢以上の方 ○移動支援が必要と認める方(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のどれかを有する方)	移動支援
令和6年度千早赤阪村 公共交通利用助成事業 (千早赤阪村)	○75 歳以上の方 ○身体障害者手帳 1・2 級の方 ○療育手帳 A の方 ○精神障害保健福祉手帳 1 級の方 ○妊産婦の方(妊娠中で母子健康手帳をお持ちの方または、当該年度の末日において満 2 歳以下の子がいる方) ○運転経歴証明書をお持ちの方	タクシーやバスの運賃の一部を助成 ※利用可能なタクシー会社・バス会社は決まっている。
いきいきサロン送迎 (千早赤阪村)	○いきいきサロン利用者 ○60歳以上の高齢者及び身体障害者手帳の交付を受けた人 ○介助の必要がなく移動手段のない人	無料 ※利用は週2回まで ※1 週間前までに予約必須
国民健康保険診療所送迎 (千早赤阪村)	○千早赤阪村に住民票を持ち、村国保診療所・村国保千早診療所に受診する人で介助が必要でない人	無料 ※自宅と診療所の往復(村内) ※2 日前までに予約必須

3-3 その他移動サービス

- 地域内に立地する主な医療施設のうち、下記施設で地域内及び周辺鉄道駅とともに、主な住宅地への送迎輸送が実施されている。

表 医療施設の送迎車運行概要

施設名称	運行エリア	料金
結のぞみ病院	河内長野駅、汐ノ宮駅、富田林駅	無料
小川外科	楠風台・寿美ヶ丘・(山手町①便のみ)コース 滝谷不動・(不動ヶ丘①便のみ)コース 伏山台・金剛団地(駅)コース	
富田林ときのクリニック	富田林市・羽曳野市・藤井寺市・松原市・ 八尾市・柏原市・太子町・河南町・千早赤坂村・ 大阪狭山市・河内長野市	
柏友クリニック	富田林市・大阪狭山市・河南町・太子町・ 河内長野市・羽曳野市・千早赤坂村・ 堺市東区、美原区 上記地域外	
柏友千代田クリニック	河内長野市・富田林市・大阪狭山市・千早赤坂村	
富田林病院	近鉄富田林駅方面 南海金剛駅方面 喜志方面 大伴方面 彼方・錦織方面 青南台・五軒家・加太 須賀・錦織方面 中野町・桜井町・喜志町方面 別井・北大伴方面 甘南備方面	
PL 病院※	富田林駅・PL 病院間 さつき野・桜井町方面 清水町・川西・美山台方面 錦ヶ丘・楠風台・楠町方面 青南台・大阪狭山市方面 金剛駅方面 河南町・甲田・錦ヶ丘方面 太子町・川面町方面 ※近鉄バス、南海バスの一部路線も送迎バス として乗り入れ運行を実施	

出典：各医療施設 HP

- 上記の施設のほか、下記の施設で利用者を対象とした送迎輸送がみられる。

表 その他施設の送迎車運行概要

施設名称	主な発着地	料金
亀の井ホテル富田林	河内長野駅、汐ノ宮駅、富田林駅	無料
グランドホテル二葉	滝谷不動駅	
ビジネス inn 翠月	滝谷不動駅	
玉の家	滝谷不動駅	
料亭 門前屋	滝谷不動駅	

出典：各施設 HP

資料編 4 . 住民アンケート調査結果

〈 目 次 〉

4-1 調査の概要	4-1
4-2 回答者の特徴	4-3
4-3 公共交通の利用状況	4-5
4-4 目的別の外出状況	4-11
4-5 自家用車の利用状況	4-27
4-6 送迎状況(学生の通学や習い事など)	4-28
4-7 金剛バス廃止に伴う移動の変化について	4-30
4-8 地域の財政負担・今後の取組への意向	4-31
4-9 その他自由意見	4-33

資料編 4. 住民アンケート調査結果

4-1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 本調査では、地域住民の生活行動範囲・行動パターンの把握に向けて、だれ(年齢・性別・地区・職業・目的)が、どこ(居住地)から、どこ(目的地)に、いつ(時間帯)移動しているか等の移動実態を正確に把握し、公共交通の潜在的な需要を検証した。

(2) 調査方法

調 査 対 象： 富田林市(金剛ふるさとバス沿線地域)、太子町、河南町、千早赤阪村の住民
2,000 人

調 査 期 間： 令和 6 年 8 月 2 日(金)～8 月 23 日(金)
※差出有効期間は令和 6 年 9 月 30 日まで

調 査 手 法： 郵送によるアンケートの配布/回収(A3 両面)

回 収 率： 回収率 32.9%(2,000 票配布に対して 658 票回収)

〈配布・回収状況〉

配布数は下記の通りである。

表 配布・回収状況

区域	基礎データ		必要サンプル数		配布数	回収票数	回収率
	人口総数	世帯数	誤差20%	誤差25%			
富田林市	108,699	45,593	96.0	61.4	900	307	34.1%
太子町	13,009	5,036	95.3	61.2	440	158	35.9%
河南町	15,697	6,384	95.5	61.2	500	124	24.8%
千早赤阪村	4,909	1,940	94.2	60.7	160	57	35.6%
不明	-	-	-	-	-	12	-
小計	142,314	58,953	96.0	61.4	2,000	658	32.9%

(3) アンケート調査票

1. ご自身の世帯状況についてお聞きします。

問1 あなたご自身や世帯の状況をお答えください。

年 齢	_____ 歳	性 別	1 男性 2 女性 3 答えたくない
お住まいの 地区	1 富田林市内 → 富田林市 (_____)		
	2 太子町内 → 太子町 (_____)		
	3 河南町内 → 河南町 (_____)		
	4 千早赤阪村内 → 千早赤阪村 (_____)		
	記入例：富田林市〇〇町 1丁目 1番地 1 の場合、富田林市 (〇〇町 1丁目) まで記載		
5 上記以外 → (_____ 市・町・村)			
※郵便番号でも構いません → (_____)			
世帯構成	1 一人暮らし 2 夫婦で同居 3 夫婦・子どもと同居		
	4 子どもと同居 5 夫婦・親と同居 6 親と同居		
	7 夫婦・親・子と同居 8 親・子と同居 9 その他 (_____)		
ご職業	1 会社員・公務員 2 自営業 3 専業主婦・主夫 4 学生		
	5 パート・アルバイトのみ 6 無職 7 その他 (_____)		
家族の人数	一緒に住んでいる家族の人数は、(_____ 人) ※ご自身を含め		

2. 公共交通の利用状況についてお聞きします。

問2 日常生活であなたは公共交通を利用することはありますか？(あてはまるもの1つに○)

鉄道	⇒ 1 利用する (週・月 _____ 回程度) 2 利用しない
路線バス・コミバス	⇒ 1 利用する (週・月 _____ 回程度) 2 利用しない
タクシー	⇒ 1 利用する (週・月 _____ 回程度) 2 利用しない
その他 (_____)	⇒ 1 利用する (週・月 _____ 回程度) 2 利用しない

問3 主に公共交通を利用する時間帯は何時ごろですか？

時間帯：(行き 午前・午後 _____ 時台 帰り 午前・午後 _____ 時台)

問4 日常生活において、本地域の公共交通サービスに満足していますか？
(あてはまるもの1つに○)

1 満足 2 やや満足 3 どちらとも言えない 4 やや不満 5 不満
■理由 (_____)

問5 公共交通に不便を感じる理由・原因は何ですか？(あてはまるもの3つに○)

1 運行本数が少ない	8 目的地の近くに路線がない
2 時間通りに来ない	9 路線・時刻等が分かりにくい
3 自動車に比べ目的地まで遠回りをする	10 案内が分かりにくい (乗り場/乗り継ぎ等)
4 公共交通間の乗り継ぎに時間がかかる	11 運賃が高い
5 乗り場の近くに駐輪場・駐車場がない	12 待合環境が整備されていない (ベンチ等)
6 車いす・ベビーカー等で使いづらい	13 特に不便と感じない
7 自宅からバス停・駅が遠い	14 公共交通を使おうと考えることがない
15 その他 (_____)	

3. 通勤・通学、日常的な買い物、通院の状況をお聞きします。

問6 目的別に普段の外出状況についてお答えください。該当しない項目については、空欄のままで構いません。

目的	設問	回答欄
通勤・通学	①通勤・通学先	住所 (_____ 市・町・村 _____) 記入例) 富田林市常盤町、太子町山田 など
	②通勤・通学の頻度	1 (週に _____ 日) 2 (月に _____ 日)
	③主な移動ルート (表1 から選択)	行きの交通手段 (_____ → _____ → _____) 自転車→鉄道の場合「2→6」
	④主な利用時間帯	出発 (午前・午後 _____ 時台) ~ 帰宅 (午前・午後 _____ 時台)
買い物 (食料品/日用品等)	①主に利用する買い物先	店舗名 (_____ (地名) _____) 記入例) サンプラザ山田店 (地名 富田林市山田町) など
	②買い物の頻度	1 (週に _____ 日) 3 年に数回以下 2 (月に _____ 日)
	③主な移動ルート (表1 から選択)	行きの交通手段 (_____ → _____ → _____) 近鉄バスの場合「12」
	④主な利用時間帯	出発 (午前・午後 _____ 時台) ~ 帰宅 (午前・午後 _____ 時台)
通 院	①主に利用する通院先	病院名 (_____ (地名) _____) 記入例) 仲谷診療所 (地名 河南町寺田) など
	②通院の頻度	1 (週に _____ 日) 2 (月に _____ 日)
	③主な移動ルート (表1 から選択)	行きの交通手段 (_____ → _____ → _____) 一般タクシーの場合「14」
	④主な利用時間帯	出発 (午前・午後 _____ 時台) ~ 帰宅 (午前・午後 _____ 時台)
その他の外出 (娯楽や趣味遊び等)	①よく行く施設 (娯楽、趣味、遊び等)	施設名 (_____ (地名) _____) 記入例) ゴルフ倶楽部 (地名 千早赤阪村水分) など
	②上記の施設に外出する頻度	1 (週に _____ 日) 3 年に数回以下 2 (月に _____ 日)
	③主な移動ルート (表1 から選択)	行きの交通手段 (_____ → _____ → _____) 金剛ふるさとバスの場合「7」
	④主な利用時間帯	出発 (午前・午後 _____ 時台) ~ 帰宅 (午前・午後 _____ 時台)

表 1			
1 徒歩	7 金剛ふるさとバス (4市町村コミバス)	13 車合タクシー(やまなみタクシー)	
2 自転車	8 富田林市レインボーバス	14 一般タクシー	
3 バイク	9 たいしのってこバス	15 スクールバスや病院等の送迎車	
4 自動車 (自分で運転)	10 河南町カヌちゃんバス	16 移動手段がないため	
5 家族・知人等による送迎	11 千早赤阪村コミバス	17 外出を控えている	
6 鉄道	12 その他路線バス	17 その他 (_____)	

裏面に続きます→

4. 自家用車の利用状況についてお聞きします。

問7 自家用車の利用状況についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1 自家用車を利用している (自分で運転する)
2 自家用車を利用している (家族等の送迎のみ自分は運転しない)
3 自家用車を利用していない (保有しているが誰も運転しない)
4 自家用車を利用していない (保有していない)

5. 送迎状況 (学生の通学や習い事など) についてお聞きします。

※小中高生などのお子さんがいる方や送迎してもらっている学生の方はご回答をお願いします。

問8 あなたの世帯では、普段、通学や習い事への移動に自家用車で送迎されていますか？
(あてはまるもの1つに○)

1 送迎している (送迎されている)	2 送迎していない (送迎されていない)
--------------------	----------------------

↳ (「1 送迎している (送迎されている)」と回答した方のみ)
送迎状況を教えてください。

頻度 (週・月に _____ 日程度) 行き (午前・午後 _____ 時台) 帰り (午前・午後 _____ 時台)

問9 送迎する (されている) 理由はなんですか？ (あてはまるもの1つに○)

1 家族の通勤と重なり都合があうため	4 送迎先の周辺に公共交通がないため
2 子どもの安全確保・負担軽減のため	5 その他 (_____)
3 公共交通の時間があわないため	

問10 自家用車の送迎に負担 (時間など) を感じていますか？ (あてはまるもの1つに○)

1 送迎に負担を感じており、現在の送迎場所までの公共交通があれば利用したい
2 送迎に負担は感じているが、現在の送迎場所までの公共交通に関係なく送迎は続ける
3 送迎に負担は感じていない 4 その他 (_____)

6. 金剛バスの廃止に伴う移動の変化についてお聞きします。

問11 金剛バスの廃止を受けて、交通手段は変わりましたか？

1 変わった	2 変わらなかった
--------	-----------

↳ (「1 変わった」と回答した方のみ)
交通手段はなにに代わりましたか？ (あてはまるもの全てに○)

1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 自動車 (自分で運転)
5 家族・知人等による送迎 6 外出しなくなった
7 その他 (_____)

7. 地域の財政負担や今後の取組についてご意見をお聞きします。

問12 地域の移動手段を確保するため、公共交通の経費の一部については、国や府、市町村の財政負担により維持しています。今後の公共交通の維持について、考えに近いものを教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

1 運賃見直しにより、運行サービスを継続して欲しい
2 財政負担を増やして、運行サービスをより充実させて欲しい
3 運行の効率化 (減便含む) などにより、財政負担を減らす工夫が必要
4 その他 (内容: _____)

問13 住民・事業者・行政が協力して公共交通を支える取組みが全国で進められています。あなたが公共交通の維持や利用向上のために必要だと思う、又は効果が高いと思う取組みを教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1 鉄道・バスの乗り継ぎしやすい運行の改善 (ダイヤの見直しなど)
2 利用しやすい乗り場環境 (待ち合い・情報提供) の整備・乗降場の拡充
3 ICカードや割引制度の普及など、バスの利便性を高める (広報・PR含む)
4 公共交通の使い方や割引情報などを予べる“乗り方教室”の開催
5 自家用車利用から転換を促すための免許返納の促進・工夫 (イベント等の実施)
6 高齢者にとっても使いやすい車両での運行 (ノンステップ・低床バスなど)
7 環境にやさしい移動手段へ転換の促進 (電気自動車化など)
8 通学や習い事の送迎等の子育て支援の充実
9 週1回利用する等、定期的に公共交通を利用しようと思う住民の意識づくり
10 身近なバス停をきれいにする等、地域も協力して公共交通を守る取組み
11 使い勝手の良い運行内容を住民・自治会等で自ら考えて事業者等に提案
12 地区の住民同士で乗り合わせる等、助け合って移動できる体制を自分達でつくる
13 特に必要ない
14 その他 (内容: _____)

問14 公共交通の維持・活性化には、行政や交通事業者だけでなく皆様の積極的な利用が必要不可欠です。あなたの考えに近いものを教えてください。(あてはまるもの1つに○)

公共交通は移動手段の1つとして、今後も必要だと思いますか？	1 とても思う 2 思う 3 あまり思わない 4 思わない
公共交通の維持のため、積極的に利用しようと思いますか？	1 とても思う 2 思う 3 あまり思わない 4 思わない
公共交通の利用体験企画があれば参加しようと思いますか？	1 とても思う 2 思う 3 あまり思わない 4 思わない

その他、公共交通についての問題意識や改善を期待する事などあればご記入ください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(4) 調査結果についての注意点

- 各項目に示す調査結果は、グラフ内の回答割合は小数点第一位で表示(四捨五入)しており、合計値が100.0%と一致しないものがある(0.1%の表示上の誤差)。

4-2 回答者の特徴

(1) 基本属性(年齢・性別・居住地・職業)

- 年齢については、「65歳以上」の割合が45.9%であり、特に「80歳以上」(18.4%)が多い。
- 性別については、「女性」の割合が比較的高い。
- 職業については、「無職」(28.3%)が最も多く、次いで「会社員・公務員」(25.7%)となっている。

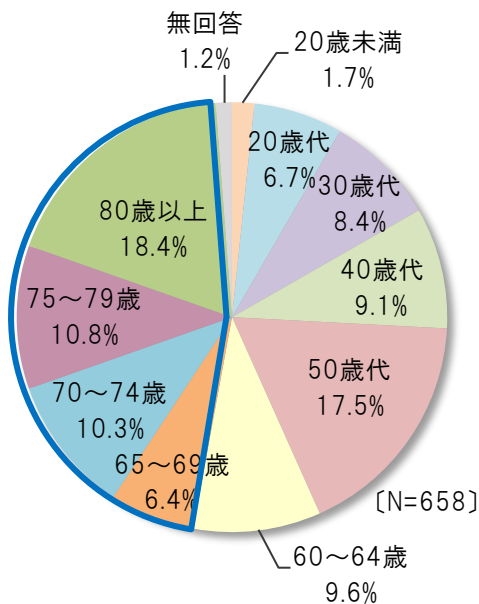


図 年齢

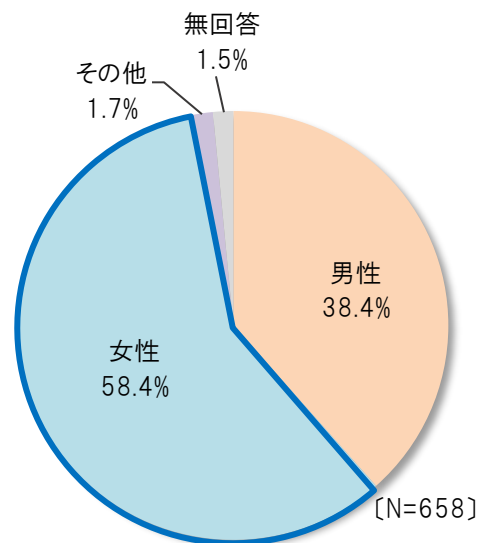


図 性別

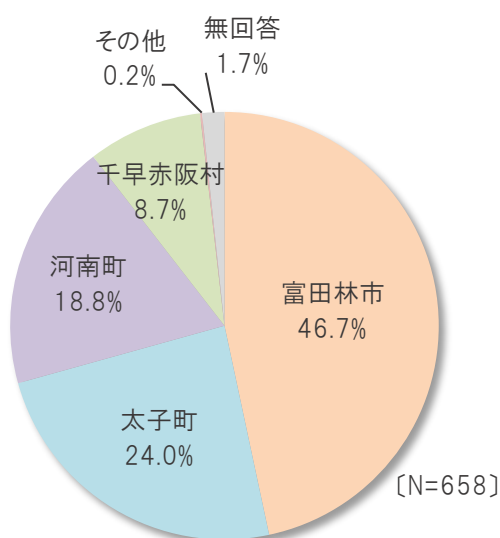


図 居住地

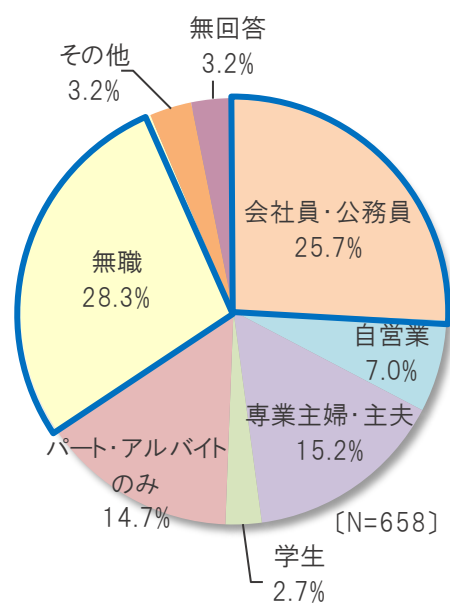


図 職業

(2) 世帯構成・人数

- 世帯構成については、「夫婦で同居」(27.8%)が最も多く、次いで「夫婦・子どもと同居」(26.9%)となっている。
- 世帯人数については、「2人」(33.1%)が最も多く、次いで「3人」(22.0%)となっている。

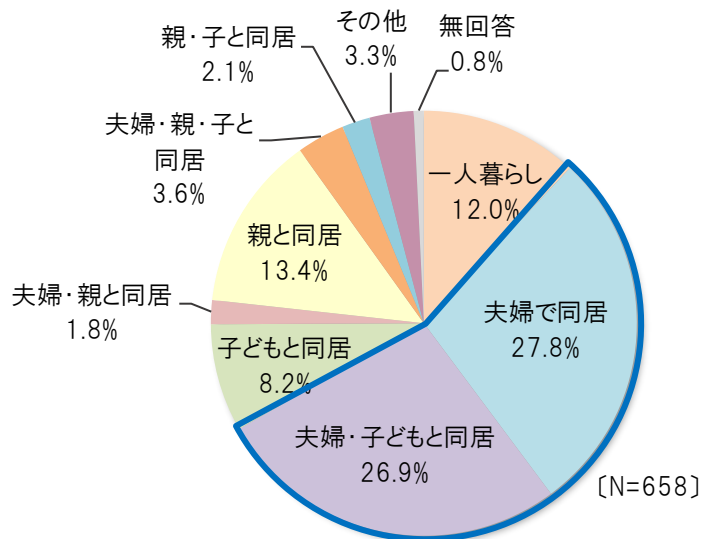


図 世帯構成

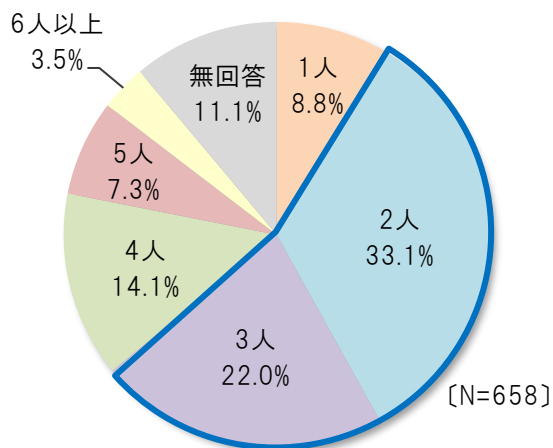


図 家族の人数

4-3 公共交通の利用状況

(1) 公共交通の利用状況

1) 鉄道の利用状況

- 鉄道の利用状況は、どの地域においても「利用しない」が最も多く、全体でみると29.3%である。
- 利用頻度としては、どの地域においても「月1日以下」が最も多く、全体でみると11.4%である。
- 年代別でも、ほとんどの年代で「利用しない」が最も多いが、20歳未満や20歳代は「週5日」が最も多い。

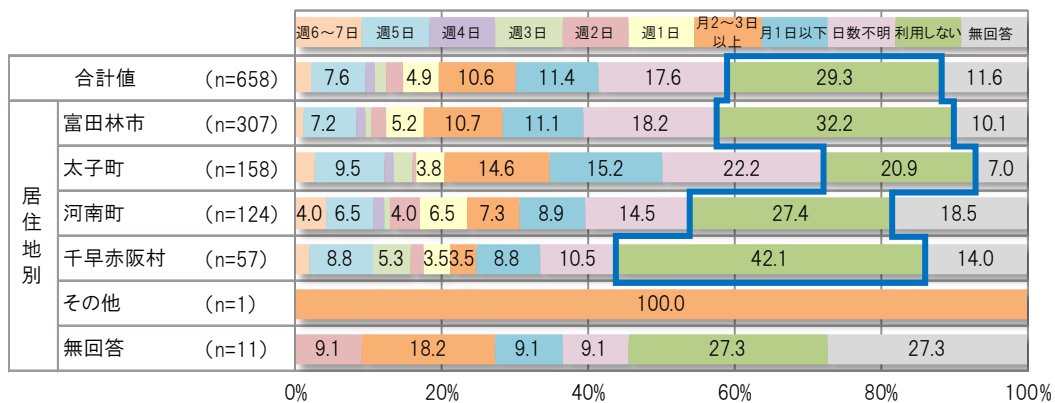


図 鉄道の利用状況(居住地別)

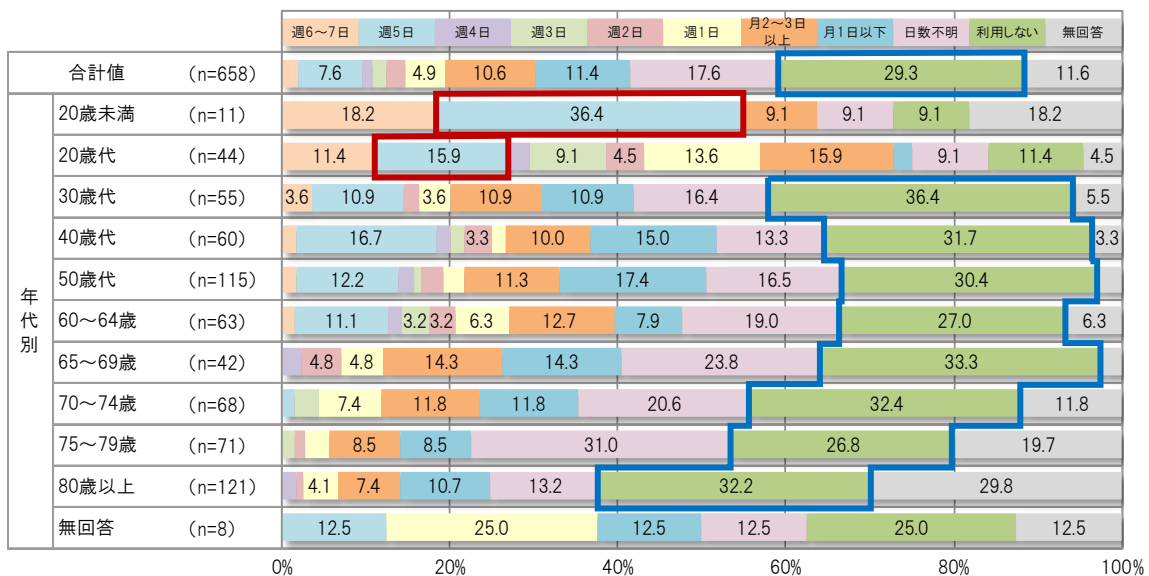


図 鉄道の利用状況(年代別)

2) 路線バス・コミバスの利用状況

- 路線バス・コミバスの利用状況は、どの地域においても「利用しない」が最も多く、全体でみると49.1%である。
- 利用頻度としては、全体でみると「月2～3日以上」(5.8%)が最も多く、中でも河南町は「月2～3日以上」が12.9%と他の市町村と比べて多くなっている。
- 年代別でも、「利用しない」が最も多い。

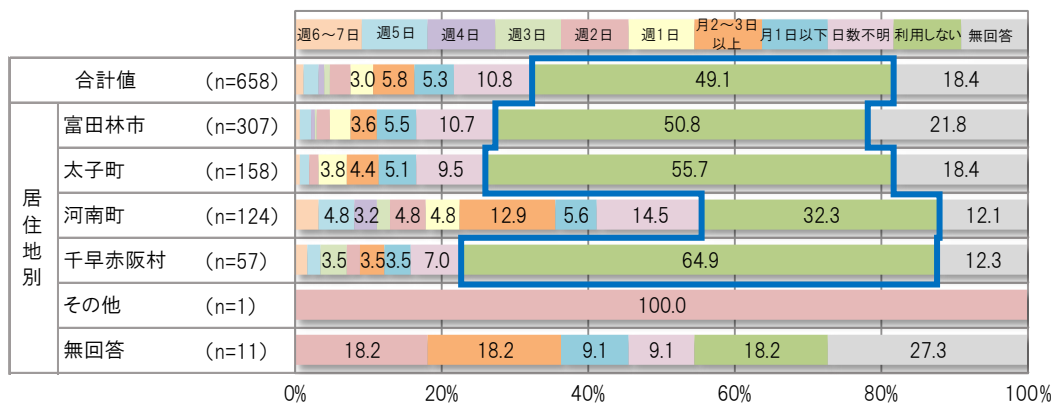


図 路線バス・コミバスの利用状況(居住地別)

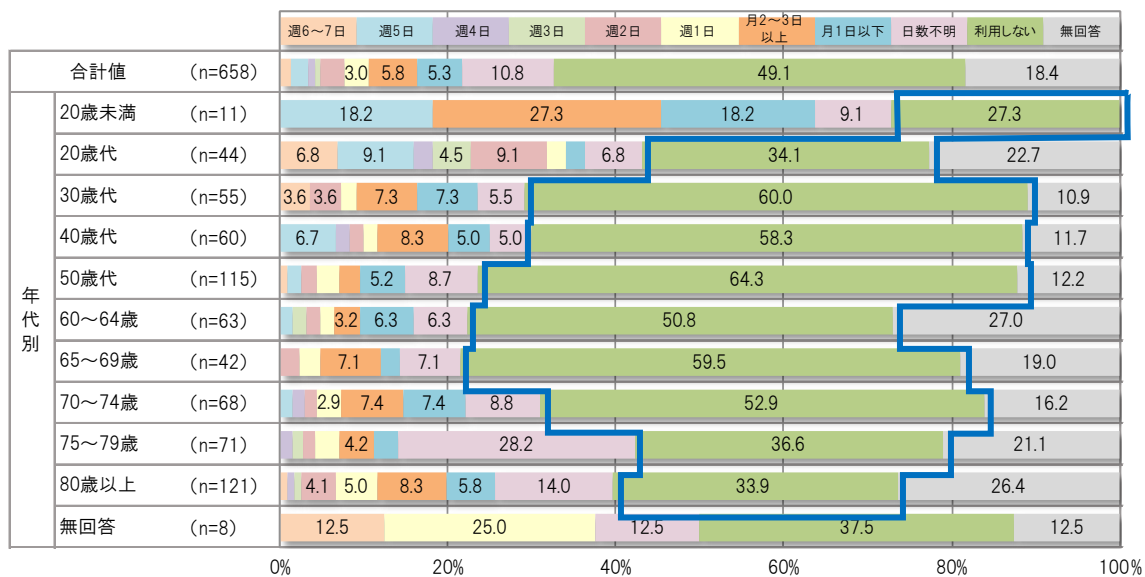


図 路線バス・コミバスの利用状況(年代別)

3) タクシーの利用状況

- タクシーの利用状況は、どの地域においても「利用しない」が最も多く、全体でみると 57.6% である。
- 利用頻度としては、どの地域においても「月1日以下」が最も多く、全体でみると 3.5% である。
- 年代別でみても、「利用しない」が最も多い。

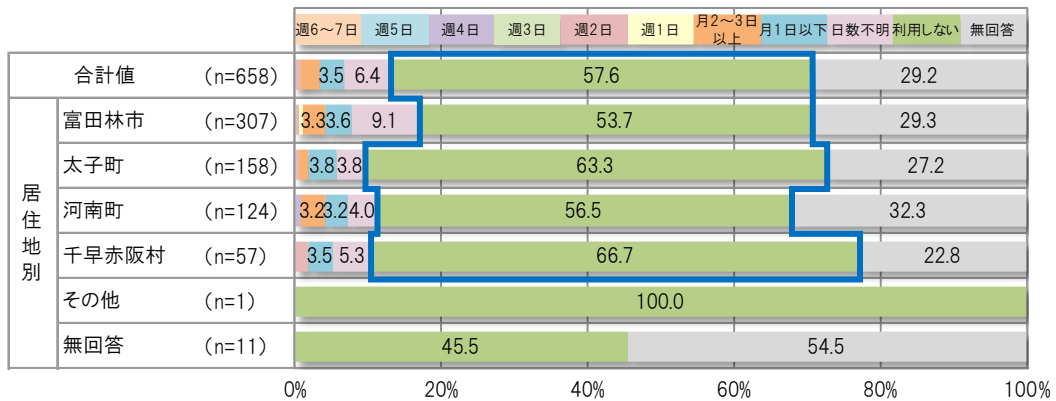


図 タクシーの利用状況(居住地別)

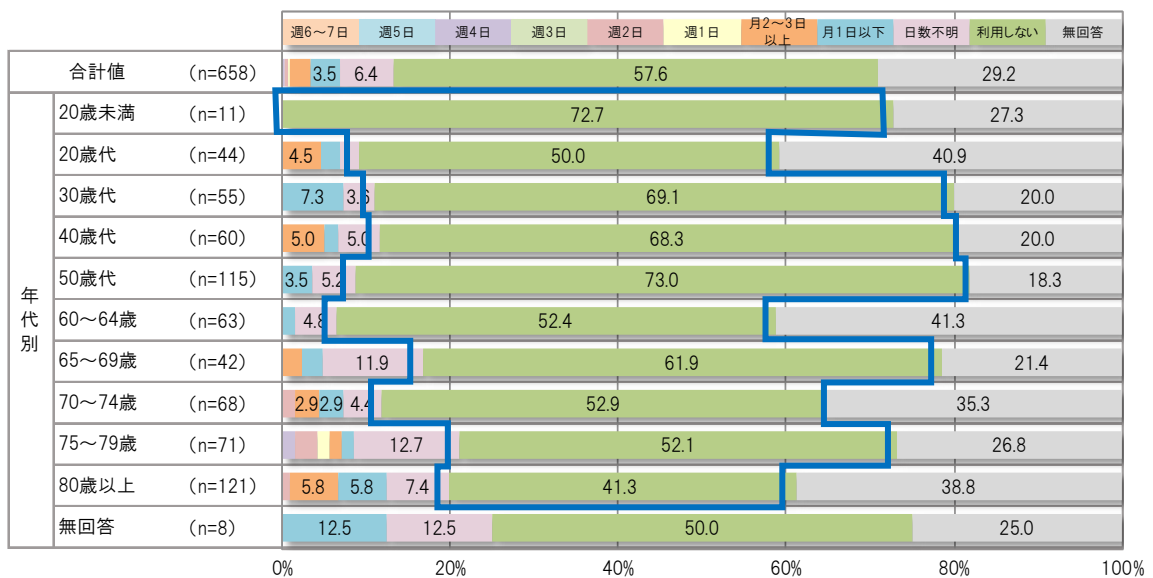


図 タクシーの利用状況(年代別)

4) その他公共交通の利用状況

- その他公共交通としては、「病院の送迎バス」や「介護タクシー」があげられた。
- 利用頻度としては、どの地域においても「利用しない」が最も多く、全体でみると 28.9%である。
- 年代別でも、「利用しない」が最も多い。

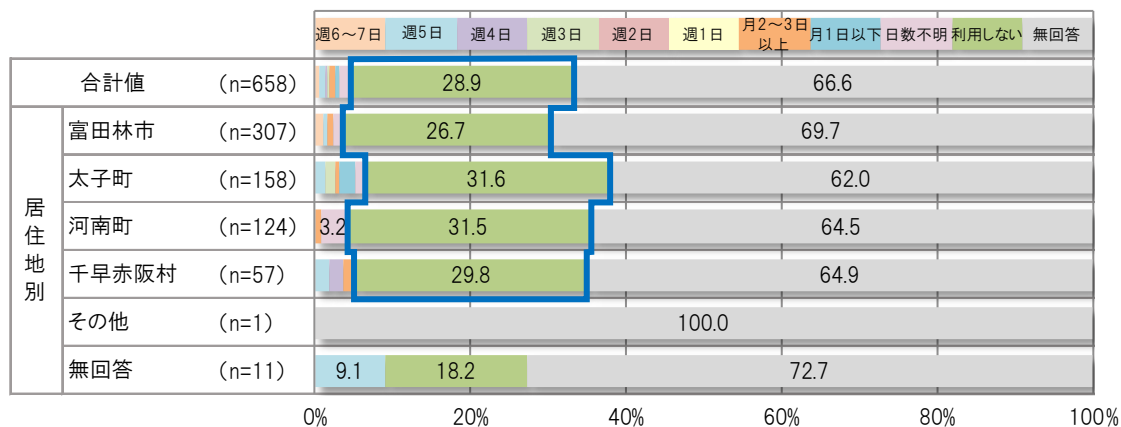


図 その他公共交通の利用状況(居住地別)

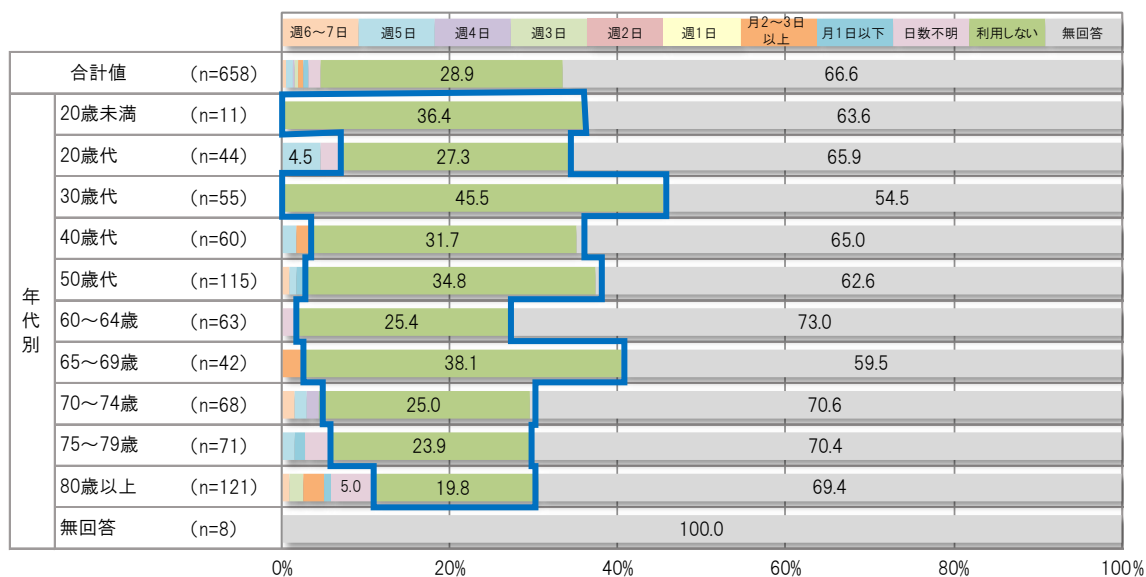
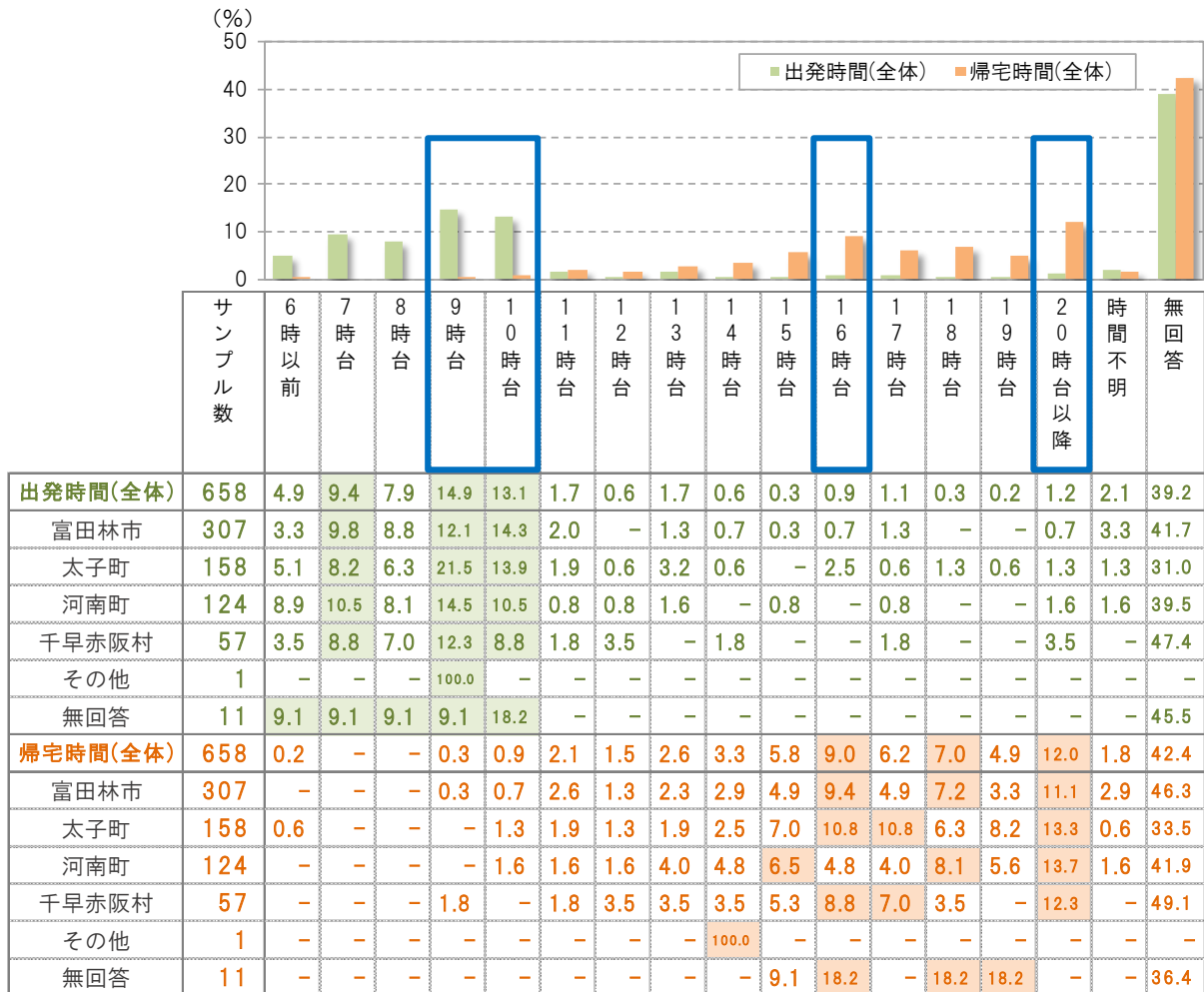


図 その他公共交通の利用状況(年代別)

(2) 公共交通の主な利用時間帯

- 公共交通を利用する主な時間帯は、「9時台」(14.9%)で最も多く、次いで「10時台」(13.1%)となっている。
- 帰宅時間での利用は「20時台以降」(12.0%)が最も多く、次いで「16時台」(9.0%)となっている。



※ハッチング箇所は上位3位を示す（時間不明・無回答を除く）

（単位：％）

図 公共交通の主な利用時間帯

(3) 公共交通のサービス満足度

- 公共交通サービスの満足度は、どの地域においても「どちらとも言えない」が最も多い。
- どの地域においても、「やや不満・不満」の割合が「満足・やや満足」を上回っている。

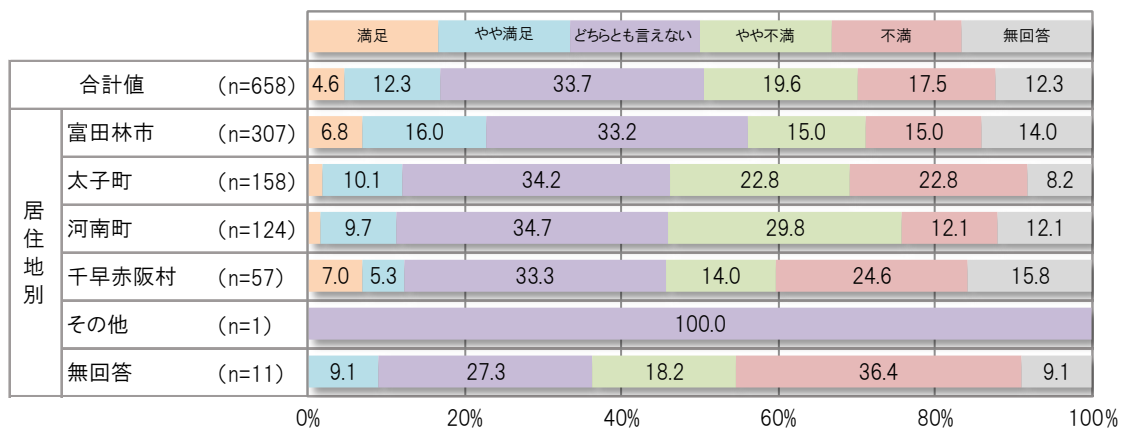


図 公共交通のサービス満足度

(4) 公共交通を不便に感じる理由・原因

- 公共交通に不便を感じる理由は、「運行本数が少ない」(59.0%)が最も多く、次いで「自宅からバス停・駅が遠い」(20.5%)となっている。
- 「公共交通を使おうと考えることがない」の割合が11.4%となっている。

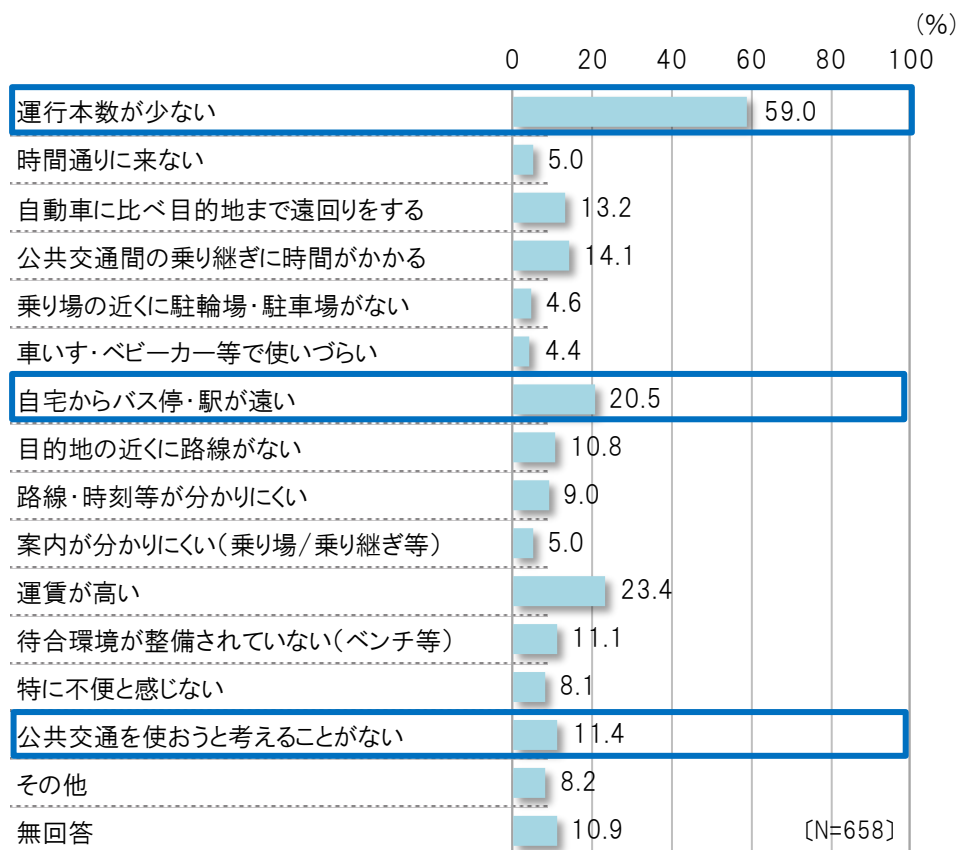


図 公共交通を不便に感じる理由・原因

※複数回答のため、合算値は100%を超える

2)通勤・通学時の主な頻度

- 最も多い頻度は、「週5日」となっており、全体では49.2%を占めている。
- 年代別でも、ほとんどの年代で「週5日」の割合が多くを占めている。

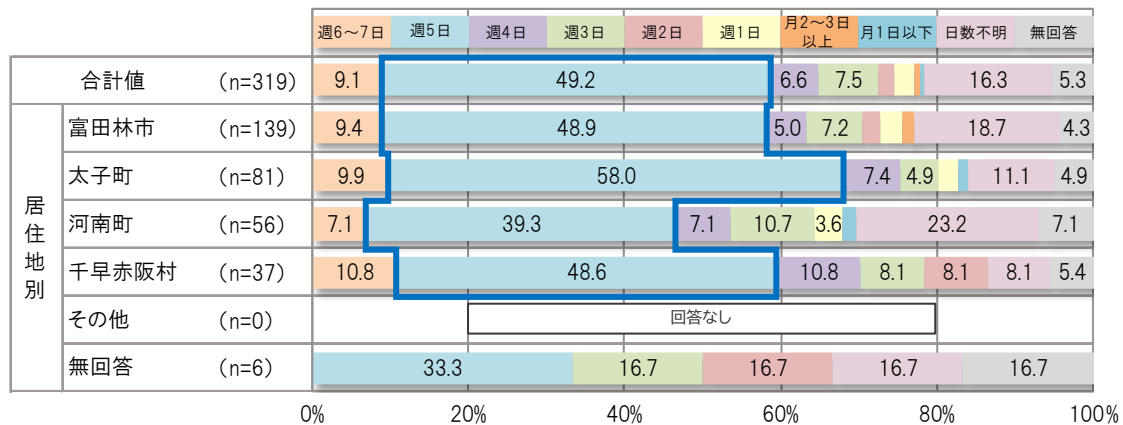


図 通勤・通学時の主な頻度(居住地別)

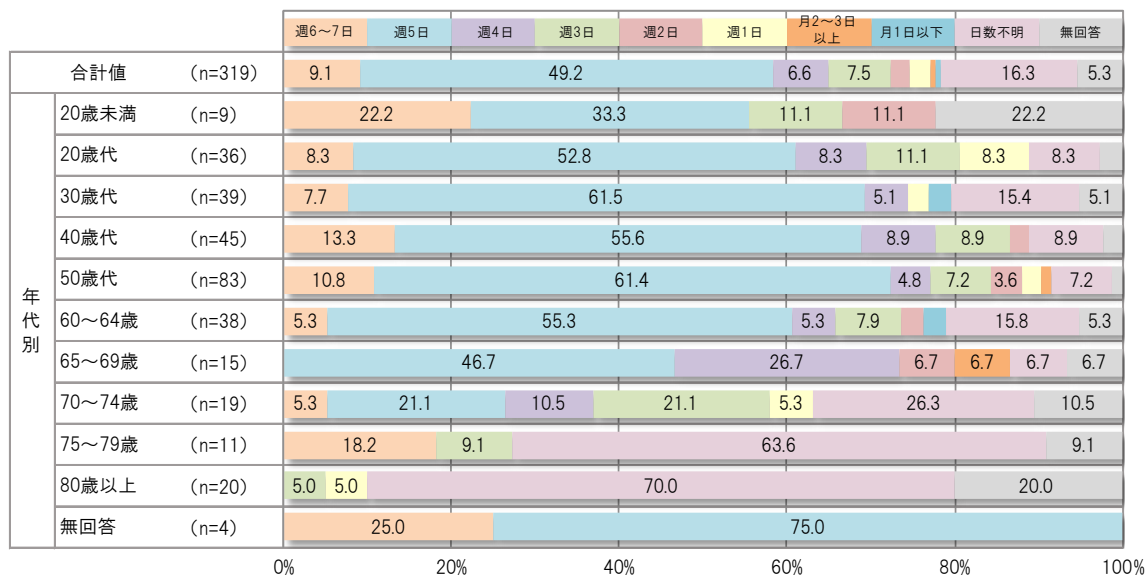


図 通勤・通学時の主な頻度(年代別)

3)通勤・通学時の主な移動ルート（交通手段）

- 「自動車(自分で運転)」(33.5%)が最も多く、次いで「鉄道」(7.2%)となっている。
- 公共交通の割合は27.6%で、鉄道への乗り換えが多い。

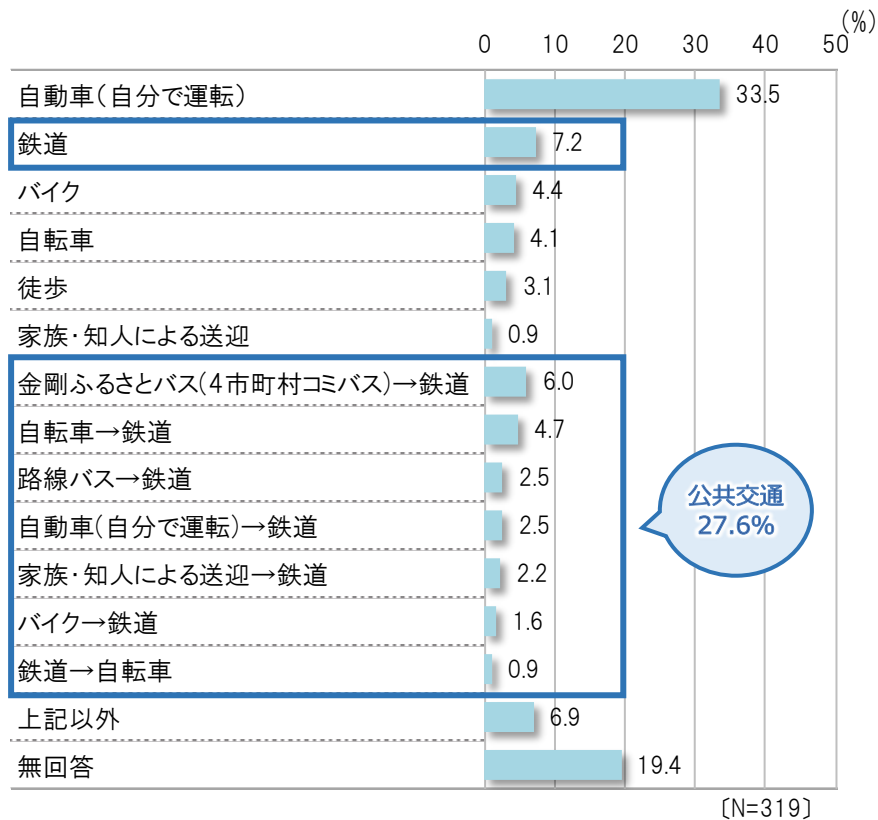
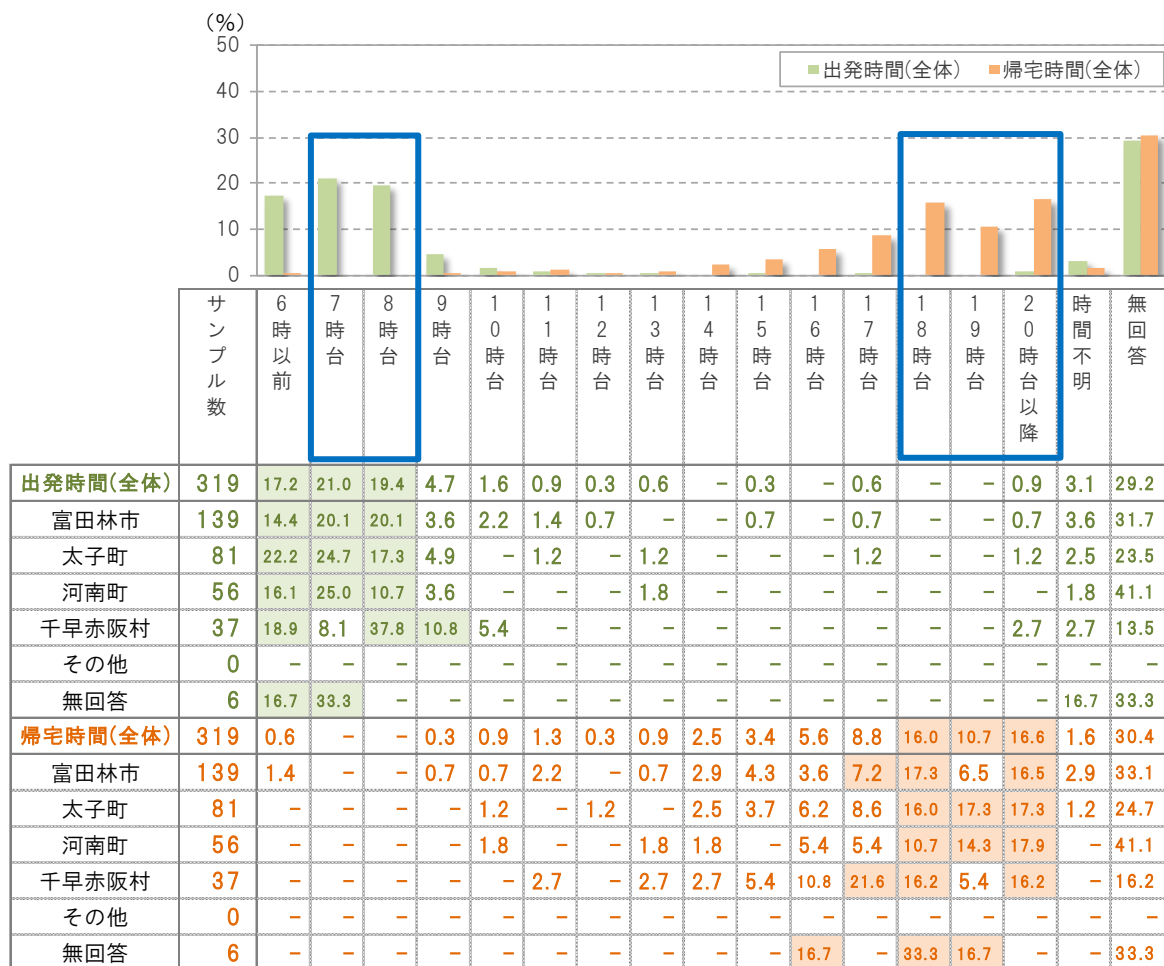


図 通勤・通学時の主な移動ルート(交通手段)

※複数回答のため、合算値は100%を超える

4)通勤・通学時の主な利用時間帯

- 通勤・通学時の出発時間は、「7時台」(21.0%)で最も多く、次いで「8時台」(19.4%)となっている。
- 通勤・通学時の帰宅時間は、「20 時台以降」(16.6%)が最も多く、次いで「18時台」(16.0%)となっている。



※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位: %)

図 通勤・通学時の主な利用時間帯

(2) 買い物（食料品/日用品等）

※買い物者のサンプル数は 277

1) 買い物先（移動特性）

- 買い物先は、「富田林市」の割合が 33.7%で最も高く、次いで、「河南町」が24.3%、「4 市町村外」が23.5%となっている。

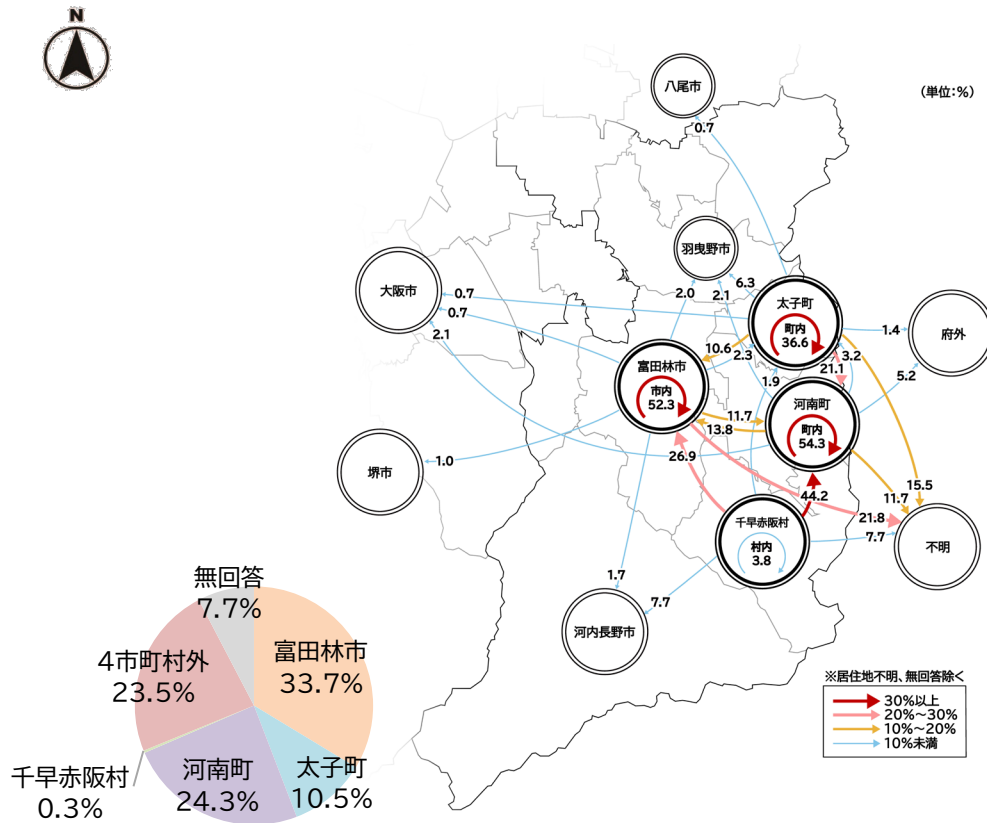


図 買い物先(移動特性)

表 主な移動先(地域別)

【富田林市】	・スーパーセンタートライアル 富田林店 43 票
	・サンプラザ 山中田店 32 票
	・関西スーパー(店舗不明) 27 票
【太子町】	・サンプラザ 太子店 31 票
	・万代 河南町店 18 票
	・ラ・ムー 太子店 17 票
【河南町】	・スーパーセンターオークワ 河南店 23 票
	・万代 河南町店 18 票
	・サンプラザ 河南町芸大前店 10 票
【千早赤阪村】	・スーパーセンターオークワ 河南店 20 票
	・スーパーセンタートライアル 富田林店 6 票
	・サンプラザ 山中田店 5 票

2) 買い物時の主な頻度

- 最も多い頻度は、「週2日・週1日」となっており、どの地域においても約半数を占めている。
- 年代別でも、「週2日・週1日」の割合が多くを占めている。

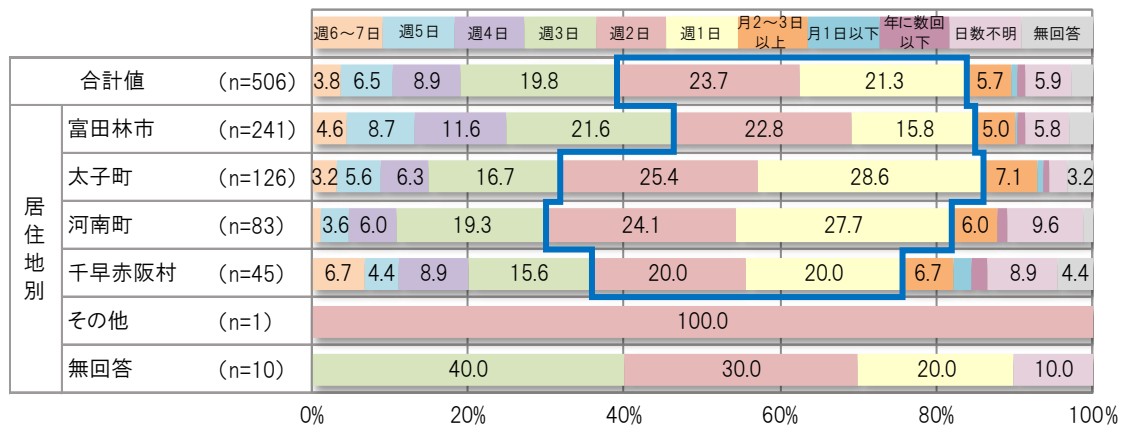


図 買い物時の主な頻度(居住地別)

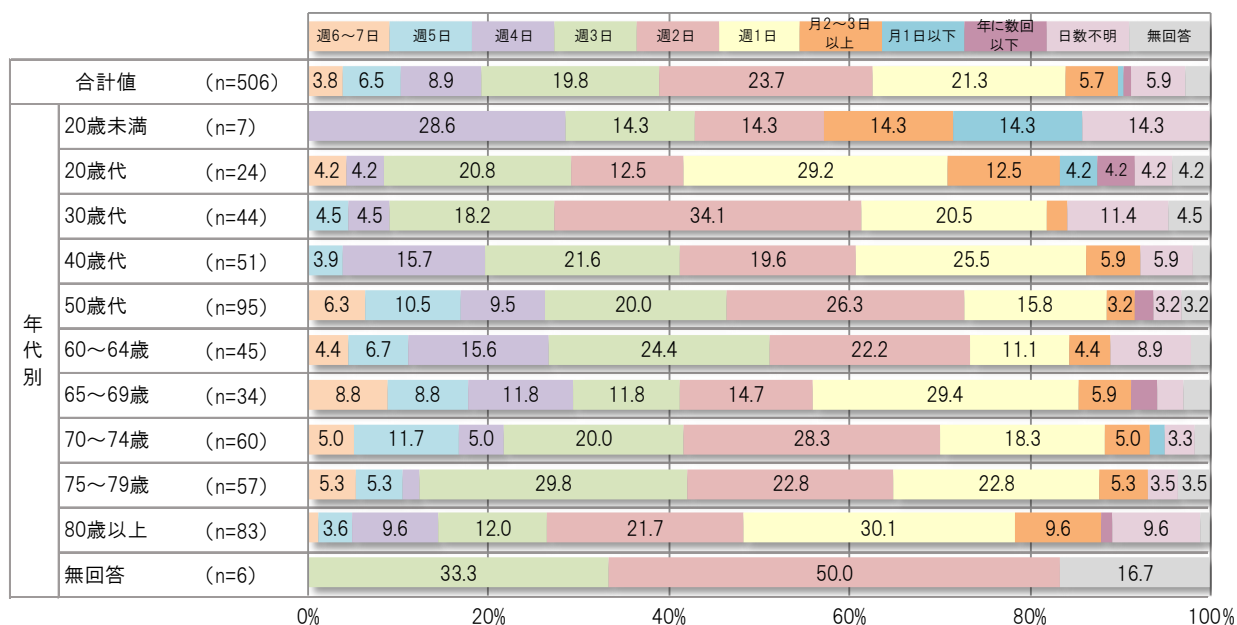


図 買い物時の主な頻度(年代別)

3) 買い物時の主な移動ルート（交通手段）

- 「自動車(自分で運転)」(47.4%)が最も多い。
- 公共交通は 6.8%で、少ない割合となっている。

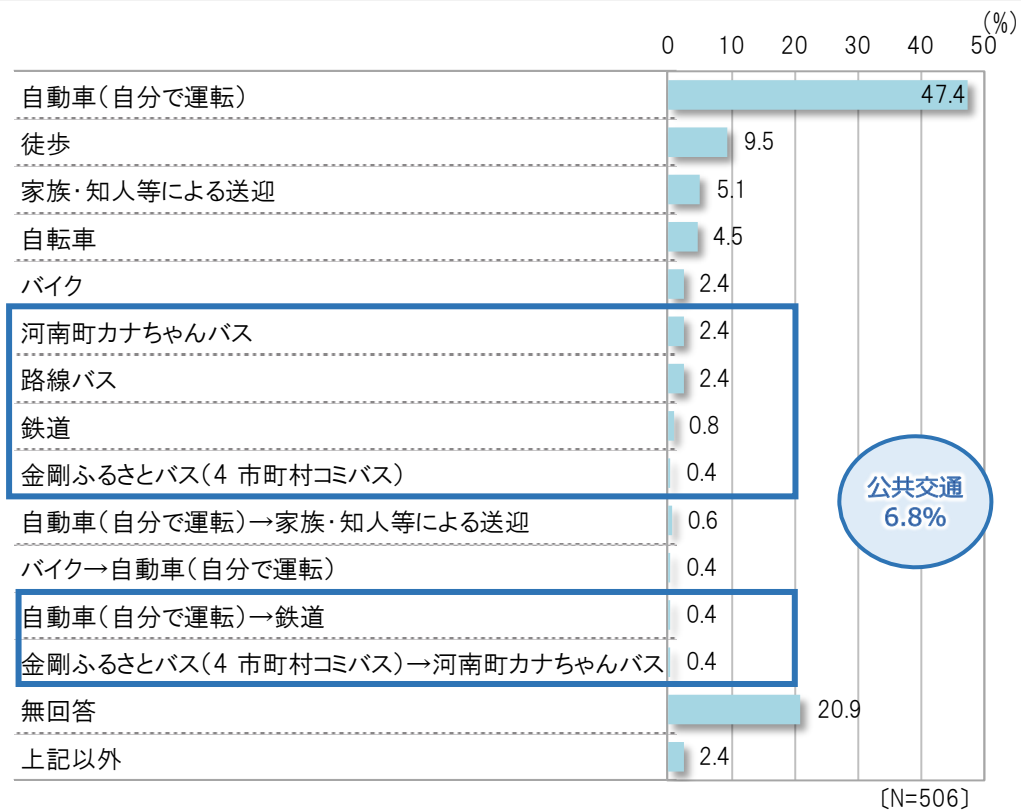
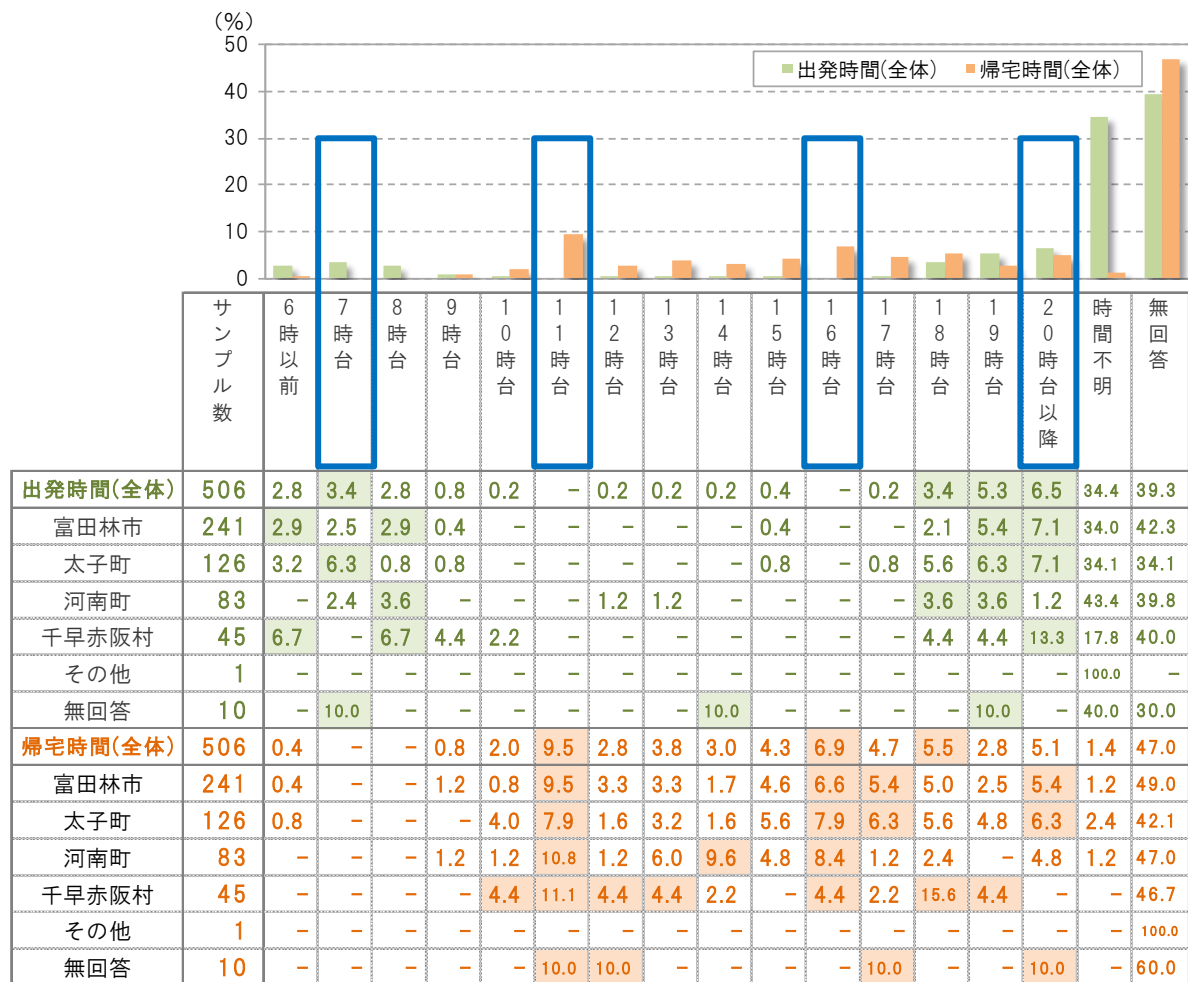


図 買い物時の主な移動ルート(交通手段)

※複数回答のため、合算値は100%を超える

4) 買い物時の主な利用時間帯

- 買い物時の出発時間は、午前が「7時台」(3.4%)で最も多く、午後が「20時台」(6.5%)で最も多くなっている。
- 買い物時の帰宅時間は、午前が「11時台」(9.5%)で最も多く、午後が「16時台」(6.9%)で最も多くなっている。



※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位: %)

図 買い物時の主な利用時間帯

(3) 通院

※通院者のサンプル数は 277

1) 通院先（移動特性）

- 通院先は、「富田林市」の割合が60.8%で最も高く、次いで、「4市町村外」が24.0%、「太子町」が6.3%となっている。

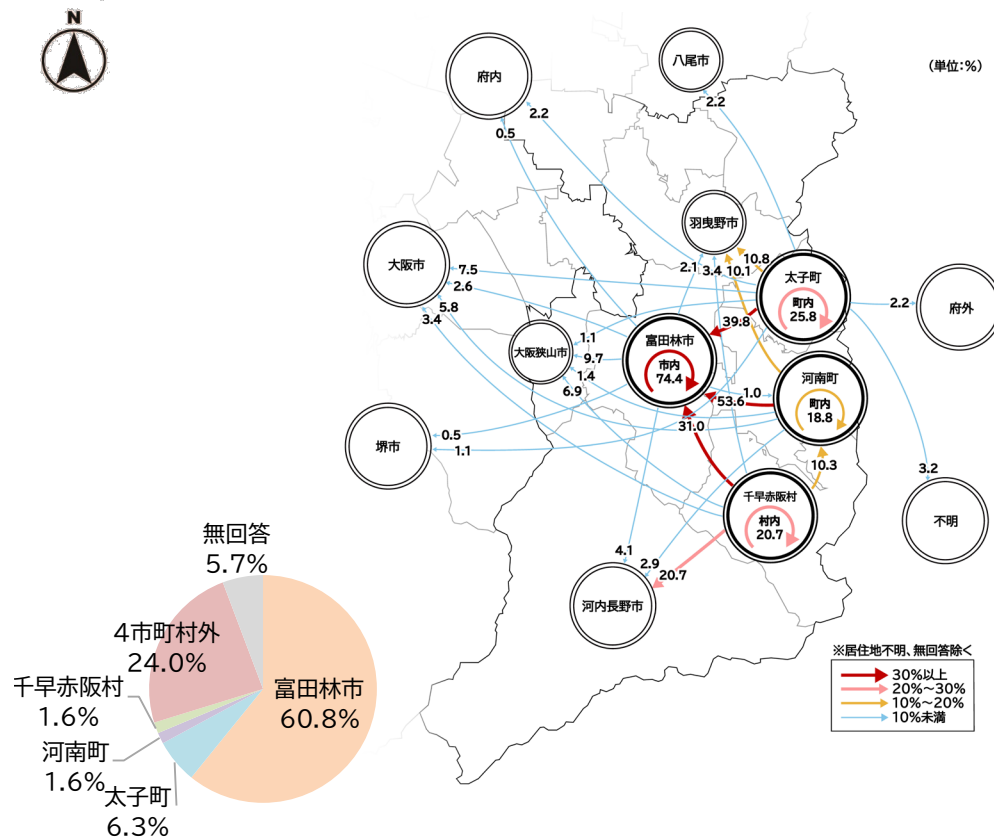


図 通院先（移動特性）

表 主な移動先（地域別）

【富田林市】	・PL 病院（富田林市） 28 票 ・大阪府済生会 富田林病院（富田林市） 31 票 ・近畿大学病院（大阪狭山市） 17 票
【太子町】	・PL 病院（富田林市） 18 票 ・大阪府済生会 富田林病院（富田林市） 10 票 ・天城医院（太子町） 9 票
【河南町】	・PL 病院（富田林市） 11 票 ・大阪府済生会 富田林病院（富田林市） 10 票 ・うちだクリニック（河南町）、広谷医院（河南町）、大阪はびきの医療センター（羽曳野市）、病院不明（大阪市） 3 票
【千早赤阪村】	・PL 病院（富田林市）、植田診療所（千早赤阪村） 5 票 ・医療法人順心会 前田クリニック（河南町）、近畿大学病院（大阪狭山市）、国立病院機構 大阪南医療センター 2 票

2)通院時の主な頻度

- 最も多い頻度は、「月1回以下」となっており、全体では60.0%を占めている。
- 年代別でも、「月1回以下」の割合が多くを占めている。

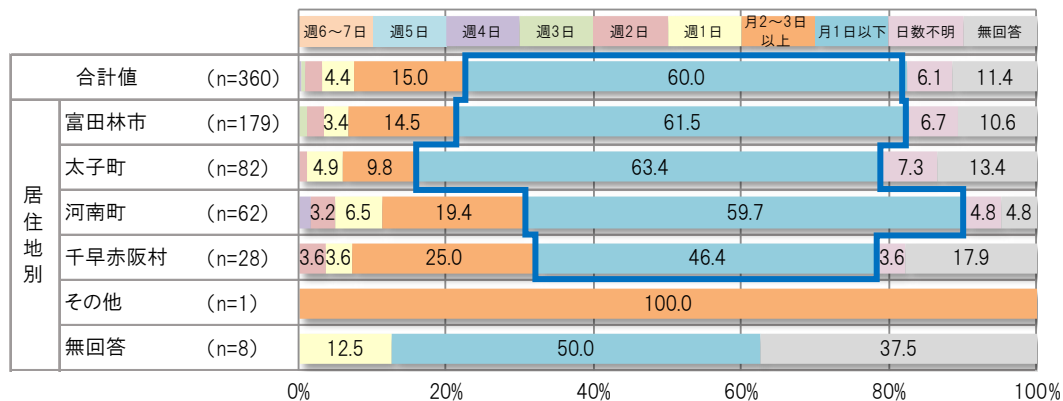


図 通院時の主な頻度(居住地別)

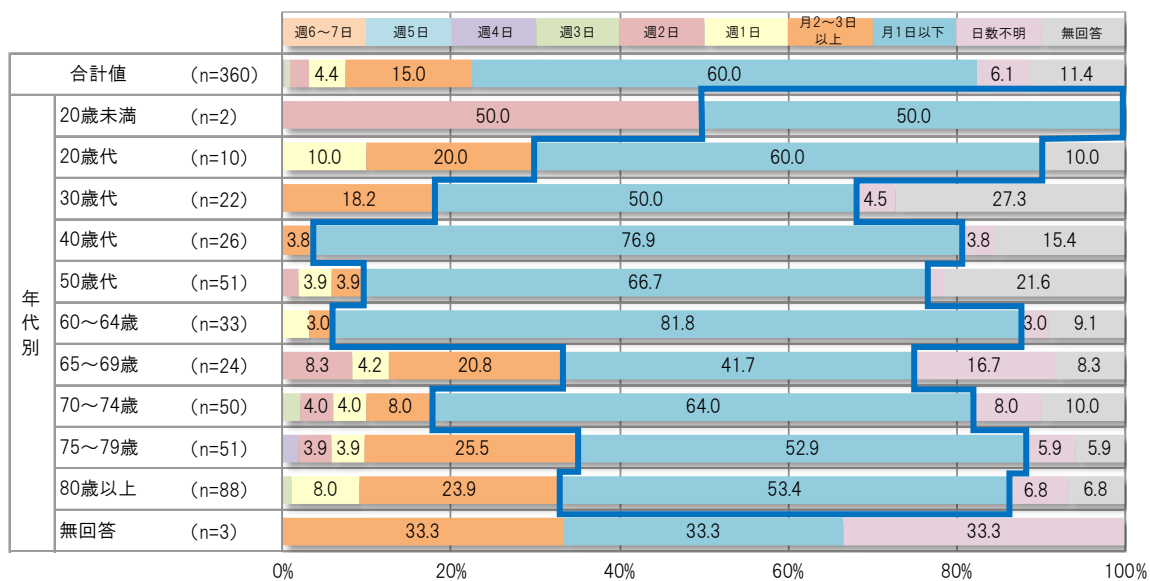


図 通院時の主な頻度(年代別)

3)通院時の主な移動ルート（交通手段）

- 「自動車(自分で運転)」(40.0%)が最も多い。
- 公共交通は 9.1%で、少ない割合となっている。

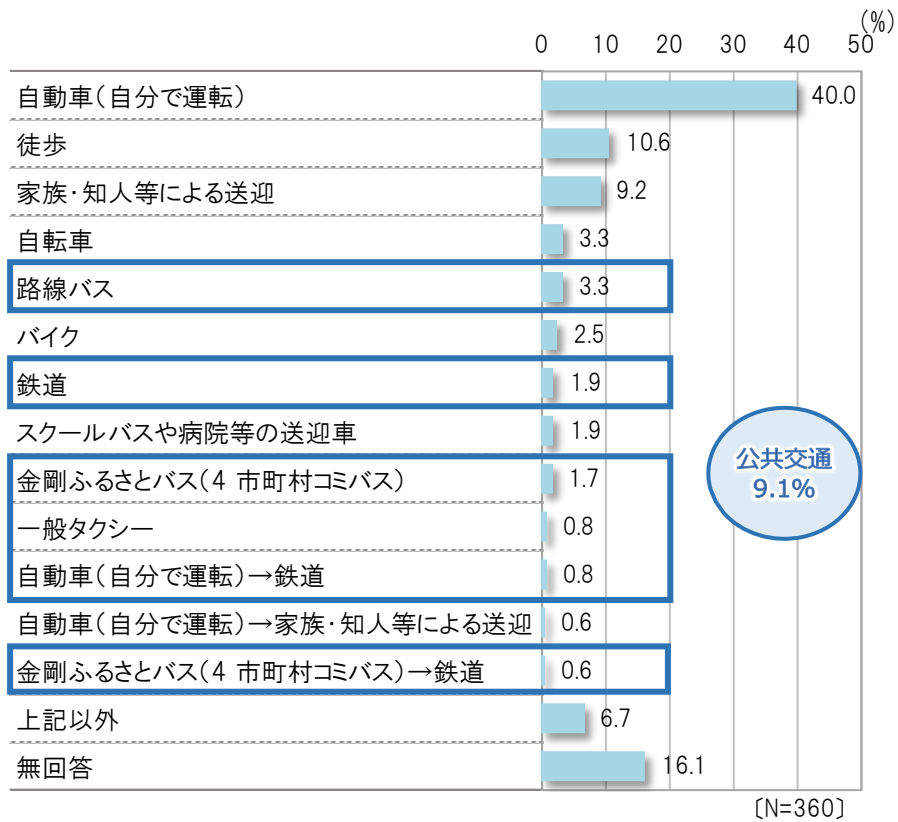
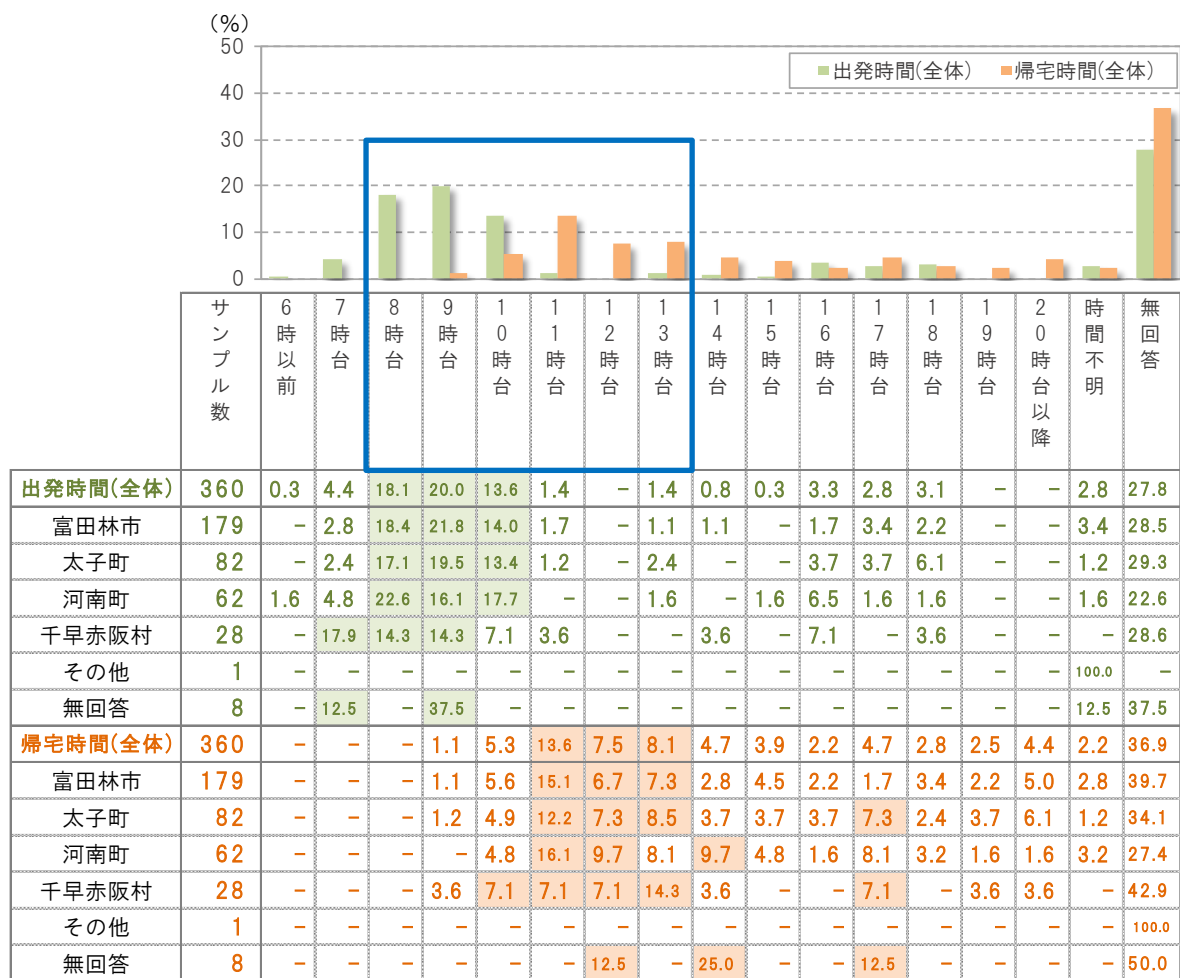


図 通院時の主な移動ルート(交通手段)

※複数回答のため、合算値は100%を超える

4)通院時の主な利用時間帯

- 通院時の出発時間は、「9 時台」(20.0%)で最も多く、次いで「8 時台」(18.1%)となっている。
- 通院時の帰宅時間は、「11時台」(13.6%)で最も多く、次いで「13時台」(8.1%)となっている。



※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位: %)

図 通院時の主な利用時間帯

2) その他の外出時の主な頻度

- 最も多い頻度は、「月1日以下」となっており、全体では 23.3%を占めている。
- 年代別では、「月1日以下」の割合が多くを占めている年代が多く、70～74歳では「週1日」が 40.0%で、他の年代に比べて多くなっている。

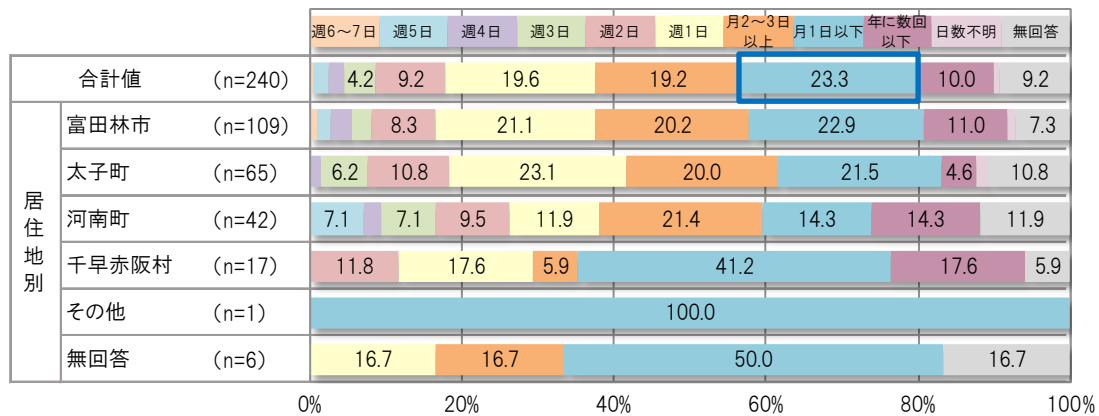


図 その他の外出時の主な頻度(居住地別)

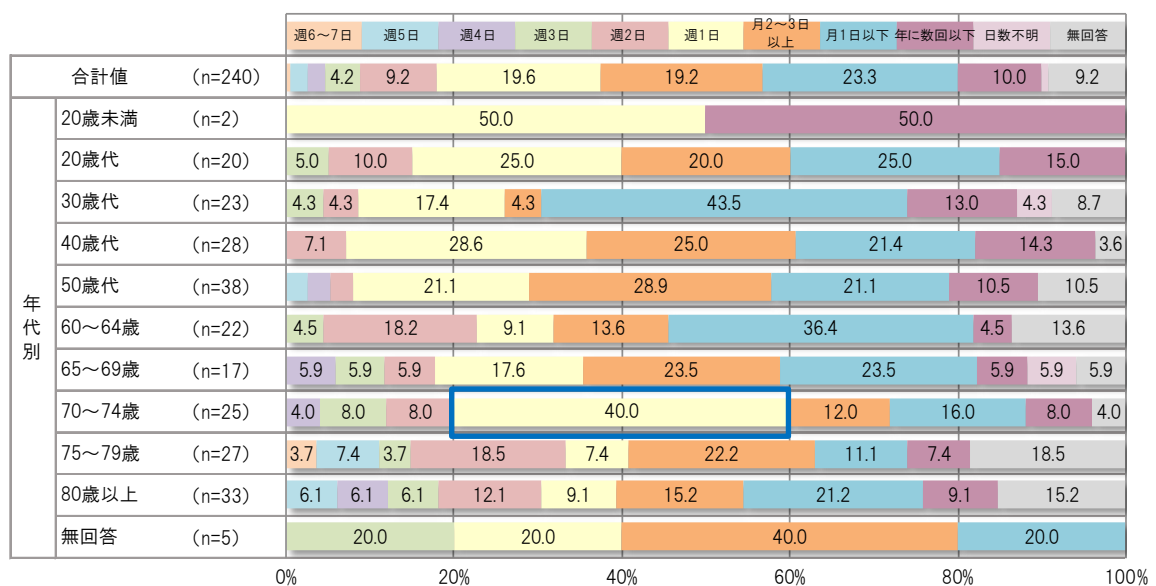


図 その他の外出時の主な頻度(年代別)

3)その他の外出時の主な移動ルート（交通手段）

- 「自動車(自分で運転)」(42.5%)が最も多い。
- 公共交通の割合は28.9%で、鉄道への乗り換えが多い。

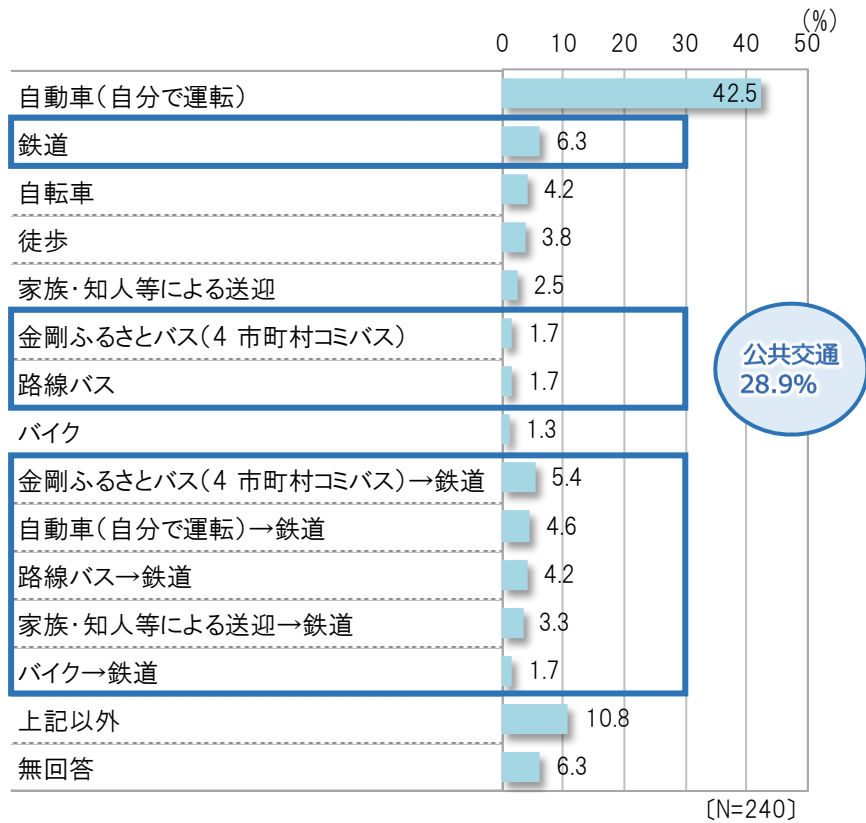
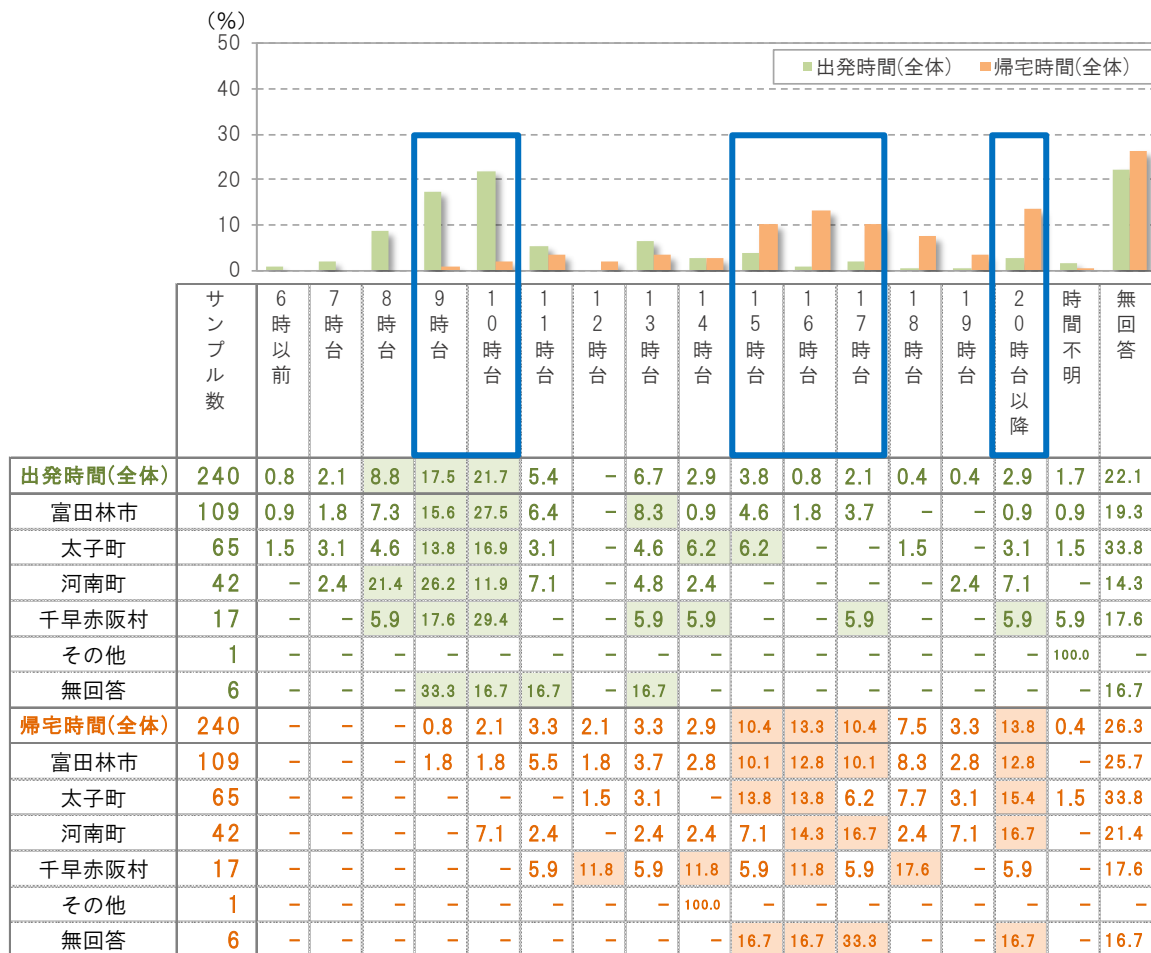


図 その他の外出時の主な移動ルート(交通手段)

※複数回答のため、合算値は100%を超える

4)その他の外出時の主な利用時間帯

- その他の外出時の出発時間は、「10時台」(21.7%)で最も多く、次いで「9時台」(17.5%)となっている。
- その他の外出時の帰宅時間は、「20時台以降」(13.8%)が最も多く、次いで「16時台」(13.3%)となっている。



※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位: %)

図 その他の外出時の主な利用時間帯

4-5 自家用車の利用状況

- 自家用車の利用状況は、どの地域においても「自家用車を利用している(自分で運転する)」が最も多い。
- 河南町では、「自家用車を利用している(家族等の送迎のみで自分は運転しない)」が28.2%と、他の市町村に比べて多くなっている。

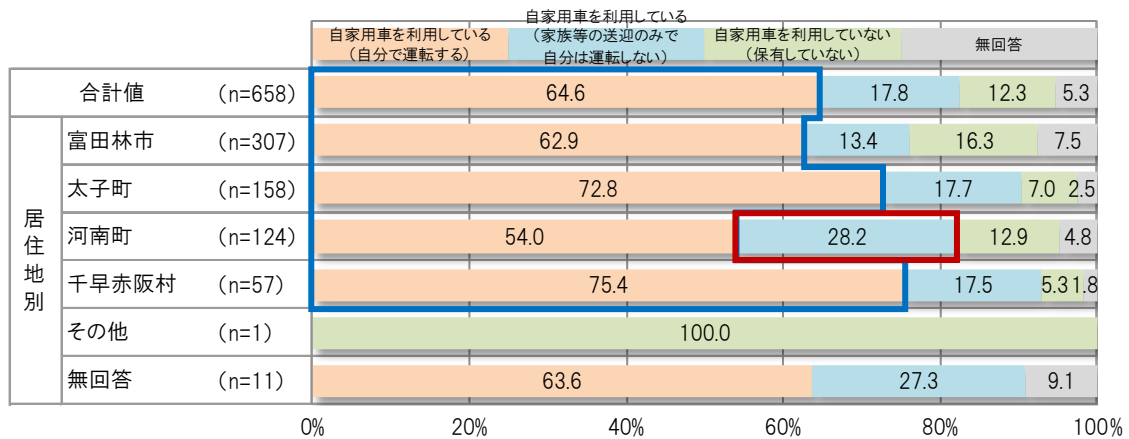


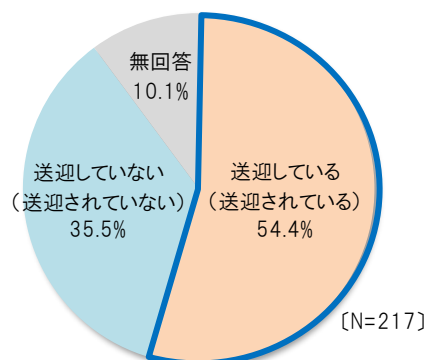
図 自家用車の利用状況

※「自家用車を利用していない(保有しているが誰も運転しない)」の回答は0%である。

4-6 送迎状況（学生の通学や習い事など）

(1) 子どもの送迎状況

- 自家用車での送迎状況は、「送迎している（送迎されている）」が 54.4%、「送迎していない（送迎されていない）」が 35.5%である。



【送迎していると回答した方のみ】

1) 送迎頻度

- 送迎の頻度は、ほぼ毎日（週6～7日、週5日）が 20.3%となっており、通学や習い事における送迎が想定される。

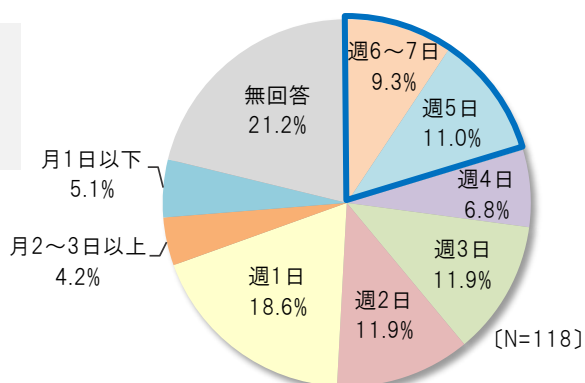
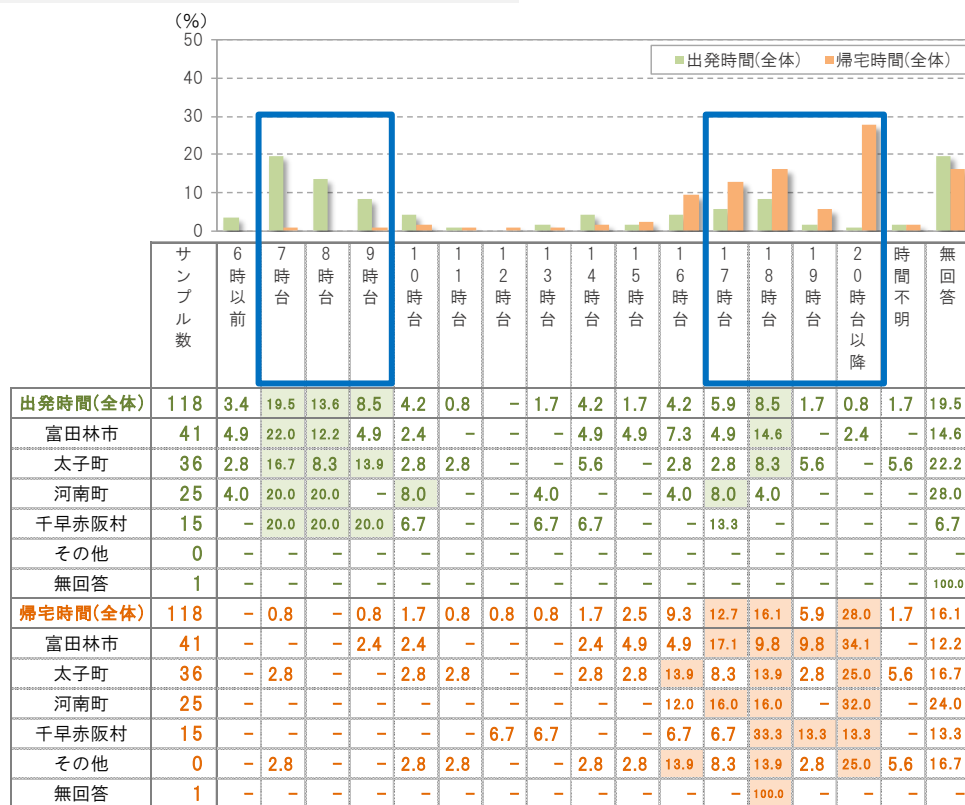


図 子どもの送迎状況

2) 送迎時間帯

- 送迎の時間帯は、出発時間で「7時台」（19.5%）が最も多く、帰宅時間で「20時台以降」（28.0%）が最も多い。

図 送迎頻度



※ハッチング箇所は上位3位を示す（時間不明・無回答を除く）

（単位：％）

図 送迎時間帯

(2) 自家用車で送迎する理由

- 自家用車で送迎する理由は、「公共交通の時間があわないため」(19.8%)が最も多く、次いで「子どもの安全確保・負担軽減のため」(19.4%)であり、移動における安全性を重視することもうかがえる。

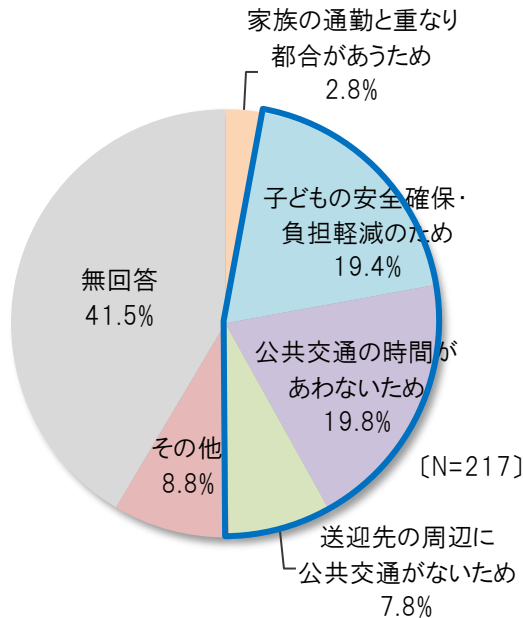


図 自家用車で送迎する理由

(3) 自家用車の送迎における負担（時間など）

- 送迎における負担(時間など)としては、「送迎に負担を感じており、現在の送迎場所までの公共交通があれば利用したい」(22.6%)が最も高く、次いで「送迎に負担は感じていない」(20.3%)となっている。

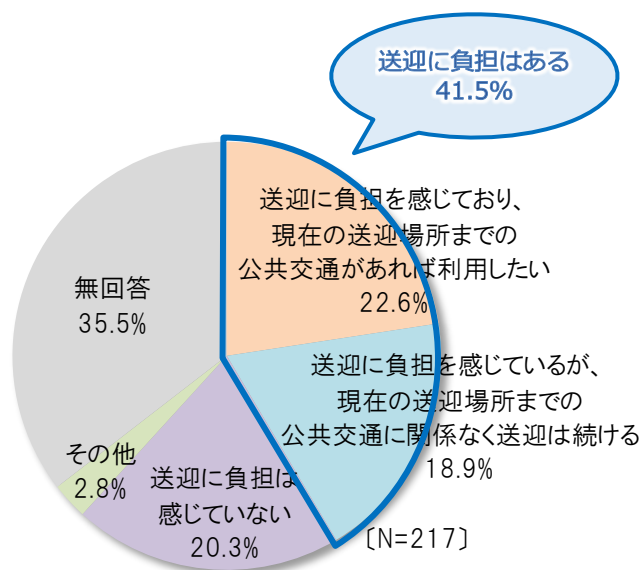


図 自家用車の送迎における負担(時間など)

4-7 金剛バス廃止に伴う移動の変化について

- 金剛バス廃止に伴う交通手段の変化については、「変わらない」が68.7%、「変わった」が22.0%となっている。

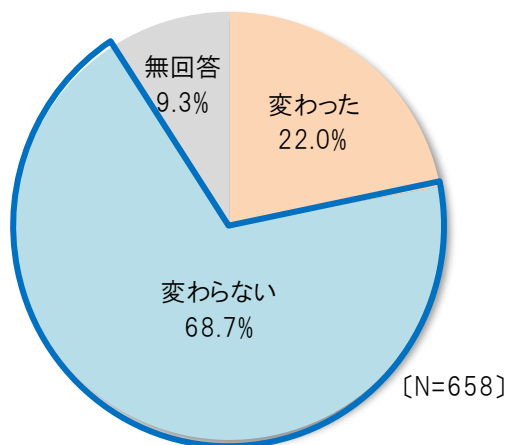


図 交通手段の変化

【変わったと回答した方のみ】

1) 廃止後の交通手段

- 廃止後の交通手段については、「家族・知人等による送迎」(40.7%)が最も高く、次いで「徒歩」(34.5%)が高くなっている。

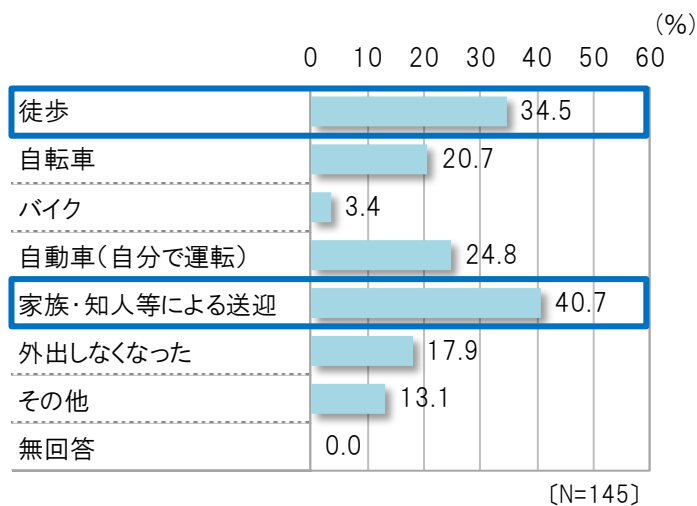


図 廃止後の交通手段

※複数回答のため、合算値は100%を超える

4-8 地域の財政負担・今後の取組への意向

(1) 地域の財政負担への意向

- 地域の財政負担の意向は、全体でみると「財政負担を増やして、運行サービスをより充実させて欲しい」(32.2%)が最も多く、次いで「運賃見直しにより、運行サービスを継続して欲しい」(31.2%)となっている。どの地域においても、合わせて約60%を占めている。

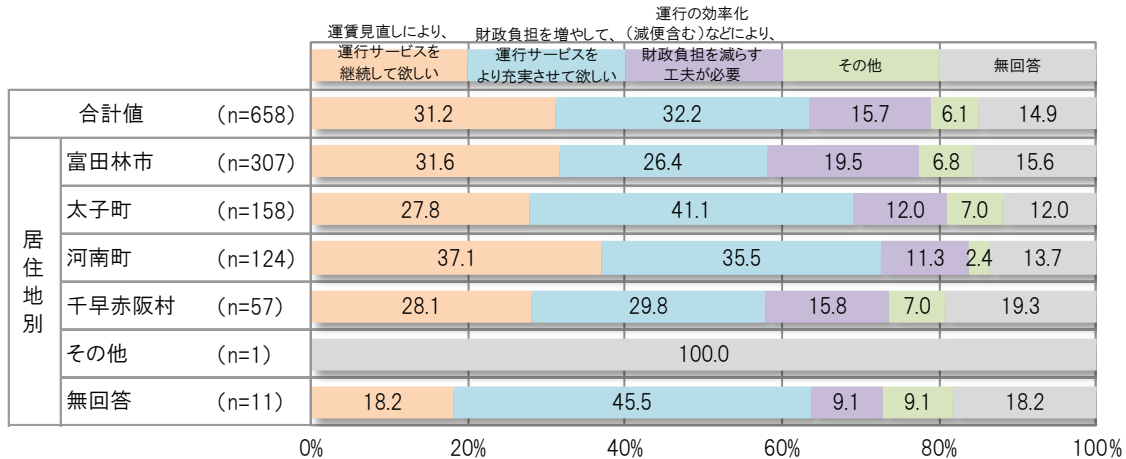


図 地域の財政負担の意向

(2) 公共交通の維持・利用向上のための考え

- 公共交通の維持・利用向上のための考えは、「鉄道・バス等の乗り継ぎしやすい運行の改善(ダイヤの見直しなど)」(56.2%)が多く、次いで「高齢者にとっても使いやすい車両での運行(ノンステップ・低床バスなど)」(41.0%)となっている。

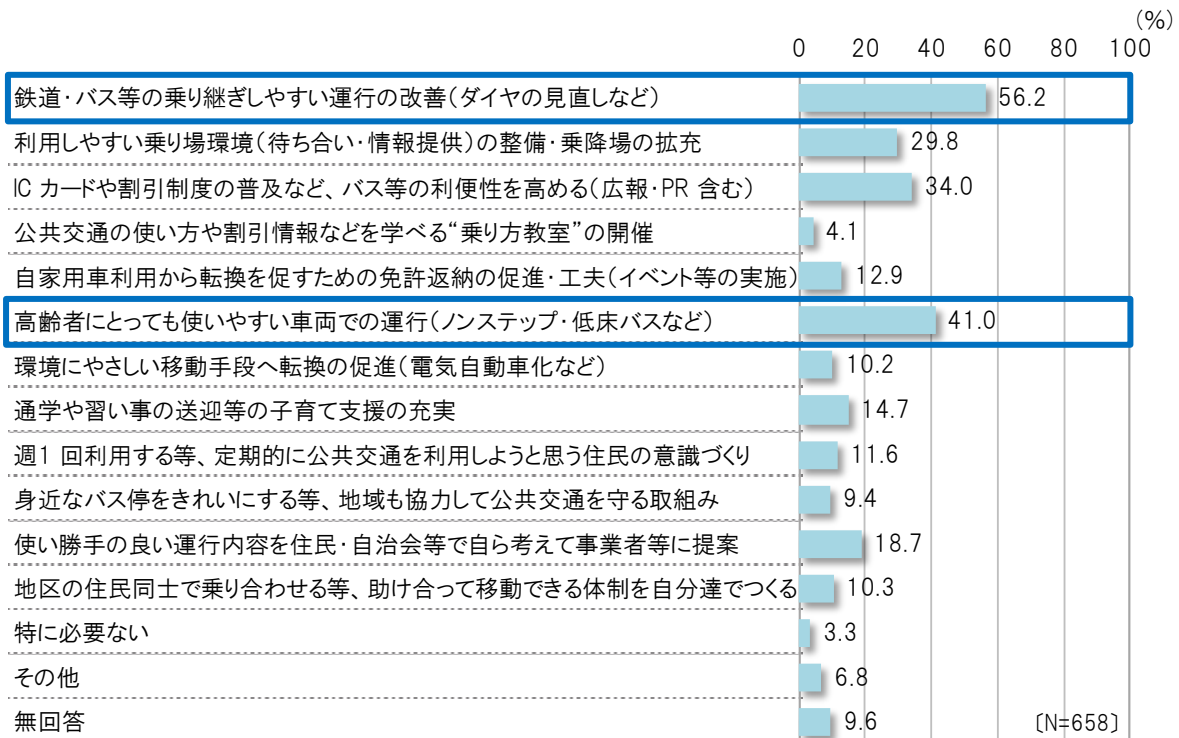


図 公共交通の維持・利用向上のための考え

※複数回答のため、合算値は100%を超える

(3) 公共交通の維持・活性化に対する意向

1) 公共交通の必要性について

- 公共交通の必要性について、「とても思う・思う」(91.5%)であり、公共交通が必要不可欠であることがうかがえる。

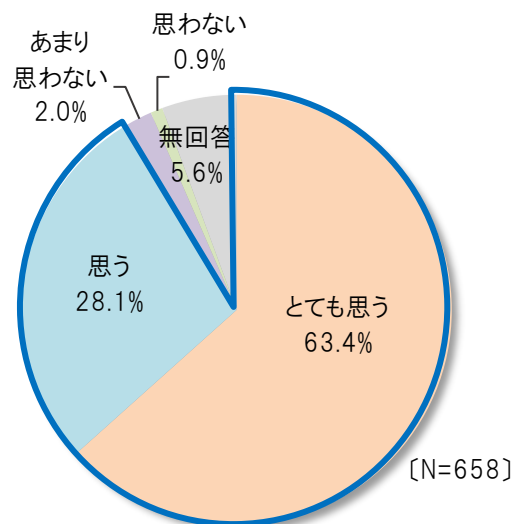


図 公共交通の必要性

2) 公共交通の積極的な利用について

- 公共交通の積極的な利用の意向について、「とても思う・思う」(65.0%)であり、今後も公共交通の積極的な利用が期待できる。

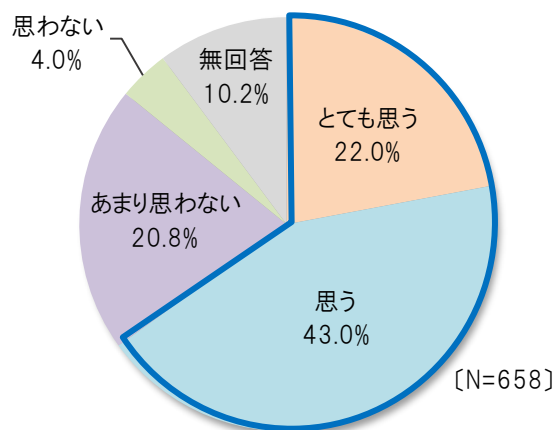


図 公共交通の積極的な利用

3) 公共交通の体験企画への参加について

- 公共交通の利用体験企画への参加意向について、「あまり思わない・思わない」(52.3%)が「とても思う・思う」(34.0%)より多い。

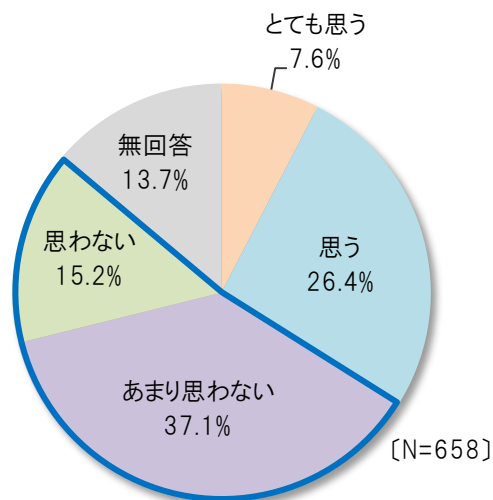


図 公共交通の体験企画への参加

4-9 その他自由意見

公共交通の必要性に関する意見・要望

年代	居住地	外出時に困っている内容等
■鉄道に関する内容		
50歳代	富田林市内	喜志駅の外環側ロータリーはエレベータがなく、バスを降りてから不便で母が困っている
50歳代	富田林市内	近鉄電車の運賃値下げを要望します
70歳代	太子町内	喜志駅前の待合場を日ざし、寒さをさけられるようにしてほしい。
50歳代	太子町内	近鉄電車の運賃が高すぎる。値上げしてから電車に乗る回数が減った。これ以上値上げされたら乗ることはもっと減ると思う。上ノ太子から大阪あべの橋まで490円は高い。
60歳代	太子町内	近鉄の長野線に比べ、本線（阿部野橋発）は非常に本数が少ない様に思う。均等とまで言わないが、もう少し増やしてほしい。
不明	河南町内	学生の定期代を安くしてほしい
■バスに関する内容		
40歳代	富田林市内	他市に比べてバス停の存在が分かりにくく、バスの利用ができない。また、車イスなどでの乗車ができず、バスを利用したいと思う事がない。市の広報などで、バスの巡回ルートなど教えてくれたら利用する人が増えるのではないかな？
80歳代	富田林市内	私は今の所バスで出かけてますが、もう少し午前中～3時頃迄のバスの回数を増やしてほしいのが願いです。せめて1時間に1本はほしいです
50歳代	富田林市内	利用者数の減少により、金剛バスが廃止したことは仕方ないと思うが、東条小学校への登校や、山手町・佐備に住む鉄道を使つての通学・通勤者（自転車ですに出来ない者）にとってはバスは欠かせないので、ほそぼそとでも存続してもらえるとありがたい。
20歳代	太子町内	バスの時間の見直し希望 乗りたい時間にいつも来なくて困っている
60歳代	太子町内	通勤は通勤手当がでると思うので時間帯が確保できればいいが、通学の割引（助成）や高齢者の割引（助成）で乗車・利用を促すべきだと思う。カラバスを走らせることが一番ムダ。「料金が手頃（タダ）」で多くの住民（高齢者）に利用してもらえる公共交通（バス）であってほしい。自動運転バスがさわがれているがそんなものより今の充実を
70歳代	太子町内	今は車に乗っているので必要ないが、将来、年を取って運転出来なくなると公共交通のたよらざるしかないと思う。大型バスでなく、7～8人乗りのワンボックスカーでいいと思うが、便数が少ないようなので、便数の増便をお願いしたい。
20歳代	河南町内	コミュニティバスの最終便が20:50発と早く、公共交通を利用して自宅に帰ることができないことが多いです。21時台の便があるととても助かるなと思います。
10歳代	河南町内	免許がない人や高齢の方の為に、やはりバスの運行は続けて頂きたいです。南海と近鉄バスはIC対応なので、若い人は使いやすくて良いです。ですが、金剛バスの回数券システムは無くさなくても良かったのではないかと思います。いつもありがとうございます。
50歳代	河南町内	バスの本数が減った上、あと数分後に発車ならバスに乗れたのについていうダイヤがあります。本当に切実にダイヤの改正をお願いしたいです。どうかどうかよろしく願います。あと、可能であれば回数券も使用できるようにしてほしいです。
50歳代	千早赤阪村内	コミュニティバスは利用者が少ないのであれば、もっと小さな車両で良いと思います（ハイエースなど）
70歳代	千早赤阪村内	公共交通は必要と思うが、今の状態では利用できない、バス停まで遠すぎるし、坂道で、高齢者には無理。これから5年後、10年後には、高齢者が増え、もっときめこまかく、バスを走らせてほしい。千早赤阪村に合った交通手段をもっと考えていただきたい。
30歳代	千早赤阪村内	千早赤阪村では自家用車やバイクを利用出来る世代は時間や金銭面等を考えて公共交通の使用頻度は低いと思います。しかし、高齢率、子どもがいる世帯での送り迎えや習い事は自分で運転出来ない場合、需要が高いと思います。
■タクシーに関する内容		
70歳代	富田林市内	免許返納をしてからタクシー利用をしています、経済的に大変な時がある。しかし病院に入院するためには仕方がないかなと思っています。
80歳代	富田林市内	主人が歩けないため、病院等は介護タクシーを利用しています。これが結構高くつきます。
40歳代	太子町内	タクシー「Go」のようなサービスがあればうれしい。
80歳代	河南町内	タクシーも必要時間に来ないし。河南町脱出を考えている人が多々います。良い環境で今までの生活が維持できないのが残念です。
50歳代	河南町内	河南町のやまなみタクシーは行き先が不便すぎる（時間も）。
70歳代	河南町内	タクシーの使い勝手をよくしてほしい。今は自家用車でこと足りているが、今後免許返納するとなるとタクシーの利用にならざるを得ないので
40歳代	千早赤阪村内	使い勝手が良くないタクシー券などやめて、もっと良い方法を考えてほしい。
不明	不明	タクシーの利用形態の工夫が必要

年代	居住地	外出時に困っている内容等
■移動手段に関する内容		
70歳代	富田林市内	東板持は1時間の1本の運行となり、ますます陸の孤島になっています。地域の住民は高齢一人住いが多くなっています。これからますます交通手段が必要、コミュニティバスの充実をお願いしたい。色々な所に行って視察して来てほしい。
60歳代	富田林市内	自分の現状は公共交通をほとんど利用する事はありませんが、今後年齢を重ねていくと、車の運転がむずかしくなってくると思います。そうすると、今まで金剛バス1日20往復あったのが4往復になり、通院、買物に行くのが不便になると思います。免許返納しづらくなり、今後どうなっていくか不安になります。
60歳代	富田林市内	富田林は安全で生活しやすい環境であったため引越して来たが、バスの便数が激減しとても生活しやすいとは言い難くなった。（家から出る事が出来ない）引っ越しを考える必要がある。このままでは過疎化に拍車がかかる。御検討を願う。
20歳代	太子町内	駅の駐輪場にレンタル自転車を置いてほしい
60歳代	太子町内	高齢になり免許返納したものの足がなく困っている方が多くおられる。通院等にタクシーを使ったりするが料金もかかり控えてしまっている。外出する機会が減って自宅にこもりがちになる。自分が高齢になった事を考えると便利のいい所へ引っ越す事も今から考えておこうと思う。
40歳代	太子町内	高齢者夫婦と障がい者家族です。公共交通がなければ外出出来ません。この度の減便により、大変困っております。残りの人生が安心して生活出来るよう、行政の力に期待しています。
50歳代	河南町内	今、現在車ですべて移動していますが、将来的にはバスを利用したいです。特に高齢者の免許返納を促す為には、公共交通が充実していることが必要だと思います。さくら坂にいますが、毎年中学生の事故を見聞します。通学バスを増発して頂きたいです。
90歳代	河南町内	ほとんど外出できない状態なので、利用やイベント参加などはできませんが、地域に住む人がいなくなるよう公共交通の継続、充実をお願いします。
70歳代	河南町内	各地域毎に出ているバスを4市町村で検討すべき。今だとそれぞれ各自でやっている。それをもっとお互いにつなぎ合わせるべき。例：河南町→太子町等行く便がない、タクシーが喜志駅まで出て便の少ないバス利用、時間かかる
60歳代	千早赤阪村内	公共交通が充実していないと、勤め先から交通費をもらえない。結果、村を出て行くことになる。
60歳代	千早赤阪村内	私はまだ運転できるので自由に行動できます。いずれ高齢になると免許返納となります。現在どの世帯もほとんど夫婦2人もしくはお一人住まいの方がおられ送迎してくれる同居の子供などがしないとバスなどに頼る事になります。河南町が実施されているような村内と買い物(オークワ)に行ける巡回バスの運行が午前と午後2本ずつあれば、用事をすませてバスに乗って帰れる、そんなバスがあってもいいと思います。生活する立場になって考えてくださるとありがたいです
80歳代	千早赤阪村内	足の悪い高齢者の為に低価格で乗れるような（家の近くまで）小型のバス運行の充実
■その他		
60歳代	富田林市内	公共交通の衰退は過疎化を助長する。若い時は自家用車があるためあまり気にしなかったが老後の不安は高く、このまま富田林に住んでいけるのか…と思う。交通の便の見直しを積極的をお願いしたい。
30歳代	富田林市内	バスの乗り方がわからない為、利用しておりません。乗り方、支払い方のわかる動画、バス停への掲示をお願いいたします。
70歳代	富田林市内	財源確保・地域活性化のため（南河内地域の活性プラン作成）4市町村共同で種々の観光活性化プランを作成し、地域外からの利用者を増やす。案内板、案内方法の工夫、観光マップの作成、旅行社と一体になってツアー企画、場合によっては羽曳野市の古墳ツアーを協同でも良い。
70歳代	太子町内	今は無理だが、未来で遠方問わずのり継ぎで気楽に旅行出来る様になれば免許を返納しても生きがいになる。国民が外出に生きがいを持てるよう公共交通に期待したい。
60歳代	太子町内	自家用車が今の所使用するつもりですが、今後必ずバス等が必要となると思います。でも今のバスの運行がわかりにくいです。もっと使用しやすい方法を考えてほしいと思います。
20歳代	河南町内	環境はよいが、交通手段が不便である、若い世代は協力者がいないと家庭と仕事が両立できないと思う
30歳代	河南町内	100年後200年後の将来に渡って持続可能な公共交通を考えると、真に必要とされるのは子育て世代の人口増加に向けた取組であり、それは行政の役割であるように思う。公共交通それ自体に望むことはタイヤや運賃の適正化などであるが、しいていうなら、労働層の高い納税力を持つ現役世代と、児童≒10年20年と定住する可能性が高く、また将来の永住者となる可能性もある未成年者の声をより大切にしていきたい。
30歳代	千早赤阪村内	高齢者の方が村内を運転している時に直進でセンターラインをまたいでいたり、カーブで大幅に減速したり、右折時に停止が遅くこちらが減速したりと危険運転が目立っています。安全に公共交通へ移行出来る皆が過ごしやすい環境が整ってほしいと思います。
40歳代	千早赤阪村内	他の都道府県の同じような状況の地域で取り組んでいることで、うまくいっている取り組みを積極的に実践（実験的に）してみてもいいと思います。

資料編 5 . 学生アンケート調査結果

〈 目 次 〉

5-1 調査の概要	5-1
5-2 回答者の特徴	5-3
5-3 登下校時の通学手段について	5-4
5-4 通学時における鉄道の利用状況	5-8
5-5 通学時におけるバスの利用状況	5-12
5-6 公共交通を利用するための条件	5-14
5-7 公共交通(鉄道・バス)に関する意見	5-15

資料編 5. 学生アンケート調査結果

5-1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 学生の通学実態や日常の移動状況、公共交通の利用状況や公共交通を利用しない要因などを把握した。

(2) 調査方法

調 査 対 象： 《高校》①河南高等学校 ②金剛高等学校 ③富田林高等学校
 ④初芝富田林高等学校 ⑤富田林支援学校
 ⑥上宮太子高等学校 ⑦PL 学園高等学校 ※高校 1 年生
 《大学》①大阪大谷大学 ②大阪芸術大学

調 査 期 間： 令和 6 年 9 月 2 日(月)～9 月 6 日(金) ※一部、9 月 13 日(金)まで実施

調 査 手 法： ・ホームルーム等の時間を活用した配布型アンケート調査
 ・QR コードによる Web 回答

成 果 物： 高校生・大学生の公共交通に関するニーズ・改善要望等

表 回収票数

学校名	回収票数
《高校》	
河南高等学校	297 票
金剛高等学校	222 票
富田林高等学校	167 票
初芝富田林高等学校	140 票
富田林支援学校	4 票
上宮太子高等学校	167 票
PL 学園高等学校	9 票
《大学》	
大阪大谷大学	2 票
大阪芸術大学	105 票
合計	1,113 票

(3) 学生アンケート調査票

公共交通の利用に関する調査にご協力ください

1. ご自身のことについてお聞きします。

問 1 あなたのご自身のことを教えてください。【あてはまる番号 1 つに○】

居住地	1. 富田林市内	→	富田林市へ	○
	2. 太子市内	→	太子町 ()	
	3. 河内市内	→	河内町 ()	
	4. 千早赤阪村内	→	千早赤阪村 ()	
	5. 上記以外	→	() 市・町・村	

記入例：富田林市○町1丁目1番地1の場合、富田林市 ()町1丁目) まで記載
※郵便番号でも構いません → 〇〇-〇〇-〇〇

2. 普段の登下校時の通学手段についてお聞きします。

問 2 普段の通学手段(登校時・下校時)をお聞きします。【利用する通学手段すべてを表から選択】

通学手段	登校時:	下校時:
	記入例：徒歩、近鉄電車を利用している場合は1、4と記載	
表	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 鉄道 5. 路線バス 6. 金剛ふるさとバス 7. レインボーバス 8. カナちゃんバス 9. 太子町コミュニティバス 10. 千早赤阪村コミュニティバス 11. スクールバス 12. やまなみタクシー 13. 家族・親戚等の送迎 14. その他 ()	

問 3 問2の普段の通学手段(登校・下校)についてお聞きします。【あてはまる番号 1 つに○】

登校時	1. 自分や家族が望む交通手段だから問題ない 2. やむを得ず利用している
下校時	1. 自分や家族が望む交通手段だから問題ない 2. やむを得ず利用している

問 4 登下校時の自宅・学校からの出発・到着時間をお聞きします。【24 時間表記】

登校時	自宅出発	→	学校到着
下校時	学校出発	→	自宅到着

3. 通学時に鉄道を利用している方にお聞きします。※利用していない方は 4へ

問 5 鉄道の利用状況をお聞きします。【駅名を記載、出発時間は 24 時間表記】

登校時	乗車駅	駅	:	発
下校時	乗車駅	駅	:	発

問 6 鉄道利用についての満足度をお聞きします。【あてはまる番号 1 つに○】

1. 満足 2. 普通 3. 不満 ※回答理由:

問 7 鉄道を利用する際に定期券・回数券を利用していますか? 【あてはまる番号 1 つに○】

1. 定期券を利用 2. 回数券を利用 3. 定期券・回数券とも利用しない

問 8 駅・鉄道に改善を期待することなどがあれば、お聞かせください。【自由回答】

例) 鉄道とバスの乗り換えしやすいダイヤの設定、駅での待合環境の整備 など

4. 通学時にバス利用している方にお聞きします。※利用していない方は 5へ

問 9 現在利用しているバスの利用状況をお聞きします。

路線:	乗車区間:
利用時間: 登校時	下校時
記入例: 路線: 金剛ふるさとバス 北大循環 乗車区間: 大坪住宅前 ~ 富田林駅	
利用時間: 登校時 7 : 31	下校時 17 : 25

問 10 バス利用についての満足度をお聞きします。【あてはまる番号 1 つに○】

1. 満足 2. 普通 3. 不満 ※回答理由:

問 11 バスを利用する際に定期券・回数券を利用していますか? 【あてはまる番号 1 つに○】

1. 定期券を利用 2. 回数券を利用 3. 定期券・回数券とも利用しない

5. 通学時に公共交通を利用していない方にお聞きします。※利用している方は 6へ

問 12 公共交通を利用するための条件を教えてください。【あてはまる番号すべてに○】

1. 運行本数の増便 () (バス・線) に () 時間の運行を希望する
2. バス運行ルートの新設・変更(出発地: → 目的地:)
3. バスの運行時間帯(朝、夜間など)の拡大
4. わかりやすい運賃制度(200 円、300 円などのキリのいい料金にする)
5. 通学定期券の割引率拡大や学生割引回数券などの導入(学生証の提示など)
6. 通学定期券代の補助(例: 定期券代金の 30% を市町村が補助など)
7. 時刻表や停留所の位置などに関する情報発信を強化する
8. 路線図や学生の利用目的に合わせた時刻表の配布
9. バス停への屋根・ベンチ・駐輪施設の設置
10. 駅やバス停近くで待ち時間やおしやべりをして過ごせる空間の充実
11. 他の交通手段を利用するため、条件にかかわらず利用することはない
12. その他 ()

6. 公共交通(鉄道・バス)に関するご意見などをお聞きします。

問 13 過去 1 年間に鉄道・バスを何回くらい利用したことがありますか。

1. ある () 回/年くらい 2. ない

問 14 問 13 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。

鉄道・バスを利用した際の主な利用目的は何ですか。【あてはまる番号 1 つに○】

1. 通学 2. 買い物 3. 遊び 4. その他 ()

問 15 鉄道・バスの運行情報等についての認知状況をお聞きします。

- | | | |
|-----------------|----------|---------|
| ① 自宅から最寄りの駅・バス停 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| ② 本校の最寄りの駅・バス停 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| ③ 自宅から本校までの運行状況 | 1. 知っている | 2. 知らない |

自由

その他、地域内の公共交通に関するご意見・ご要望があればお聞かせください。

意見

ご協力ありがとうございました。

(4) 調査結果についての注意点

- 各項目に示す調査結果は、グラフ内の回答割合は小数点第一位で表示(四捨五入)しており、合計値が100.0%と一致しないものがある(0.1%の表示上の誤差)。

5-2 回答者の特徴

(1) 基本属性（居住地）

- 回答者の居住地については、「富田林市(21.9%)」、次いで「河南町(6.6%)」であるが、「その他」からの通学者が65.7%と半数以上を占めている。
- その他としては、「羽曳野市」や「河内長野市」、「堺市」等の近隣市町村からの通学者が多い。

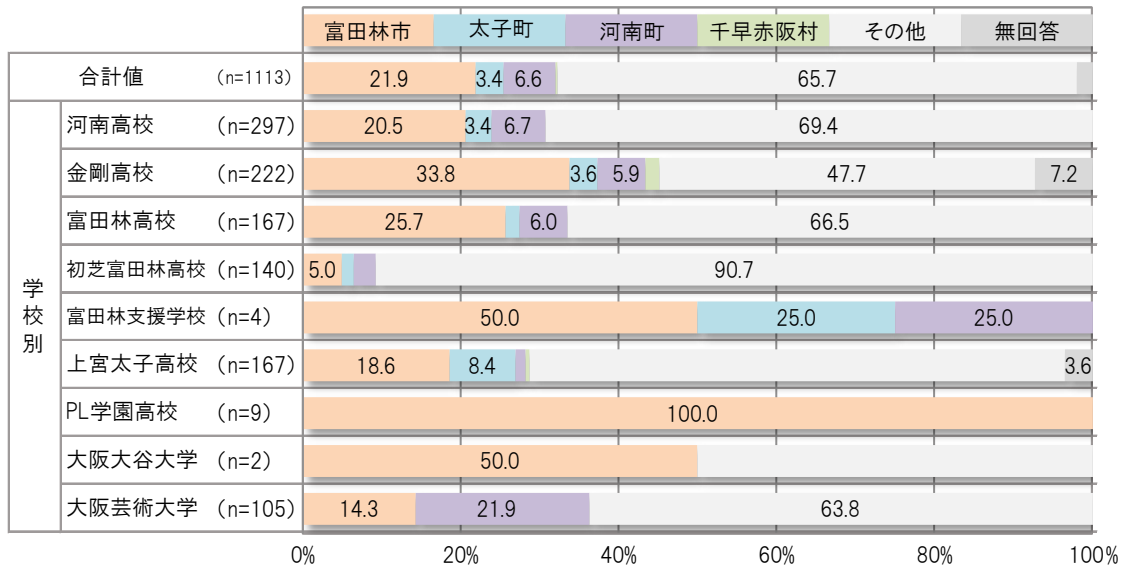


図 居住地

表 その他居住地

居住地	票数
羽曳野市	128
河内長野市	121
堺市	103
大阪狭山市	82
藤井寺市	78
松原市	60
大阪市	33
和泉市	25
柏原市	23
八尾市	13
その他(府内)	40
その他(府外)	22

5-3 登下校時の通学手段について

(1) 通学手段

1) 登校時

- 登校時の通学手段は、「自転車(56.1%)」が最も多く、次いで「鉄道(48.7%)」が挙げられる。鉄道・路線バス等の公共交通の利用は55.6%である。
- 登校手段については、「自分や家族が望む交通手段だから問題ない」と回答した人が90.6%、「やむを得ず利用している」が6.5%となっている。

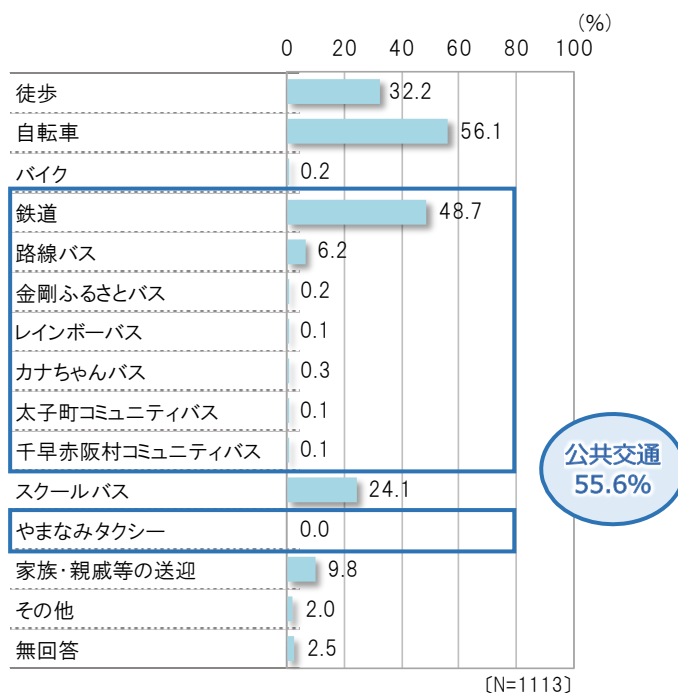


図 登校時の通学手段

※複数回答のため、合算値は100%を超える

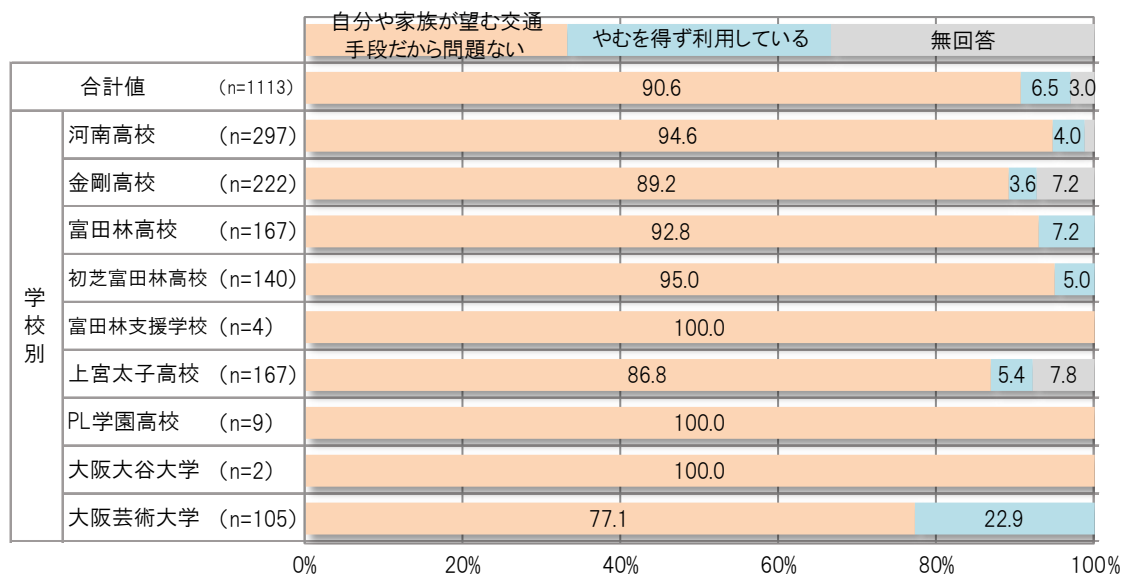


図 登校時の交通手段について

2)下校時

- 下校時の通学手段も、登校時と同様に「自転車(55.8%)」が最も多く、次いで「鉄道(48.6%)」となっており、鉄道・路線バス等の公共交通の利用は55.7%である。
- 下校手段については、「自分や家族が望む交通手段だから問題ない」と回答した人が90.2%、「やむを得ず利用している」が6.4%となっている。

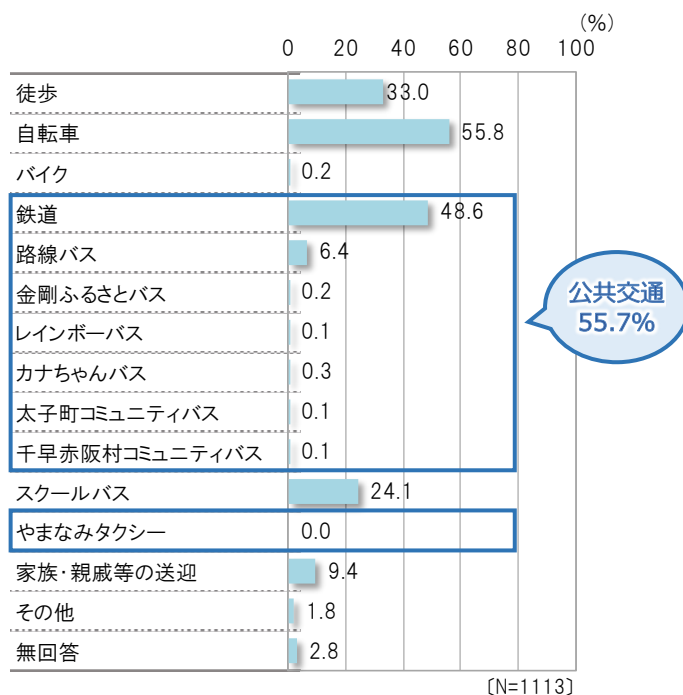


図 下校時の通学手段

※複数回答のため、合算値は100%を超える

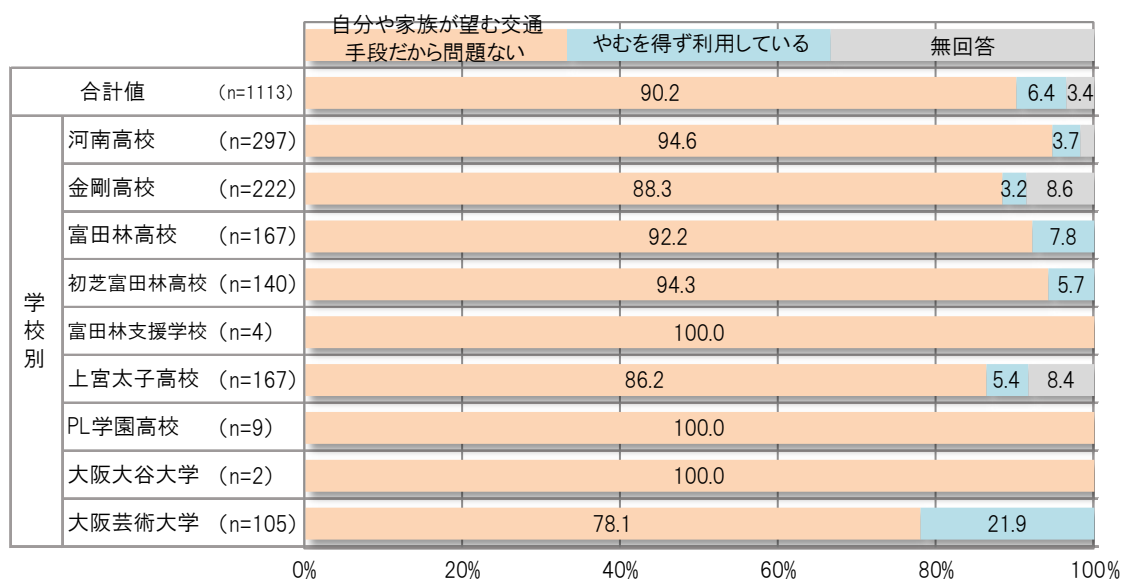


図 下校時の交通手段について

(2) 登下校時の自宅・学校からの出発・到着時間

1) 登校時

- 登校時の自宅からの出発時間は、「7 時台(55.4%)」に次いで、「8 時台(25.2%)」となっている。
- 登校時の学校への到着時間は、「8 時台(80.3%)」が最も多い。



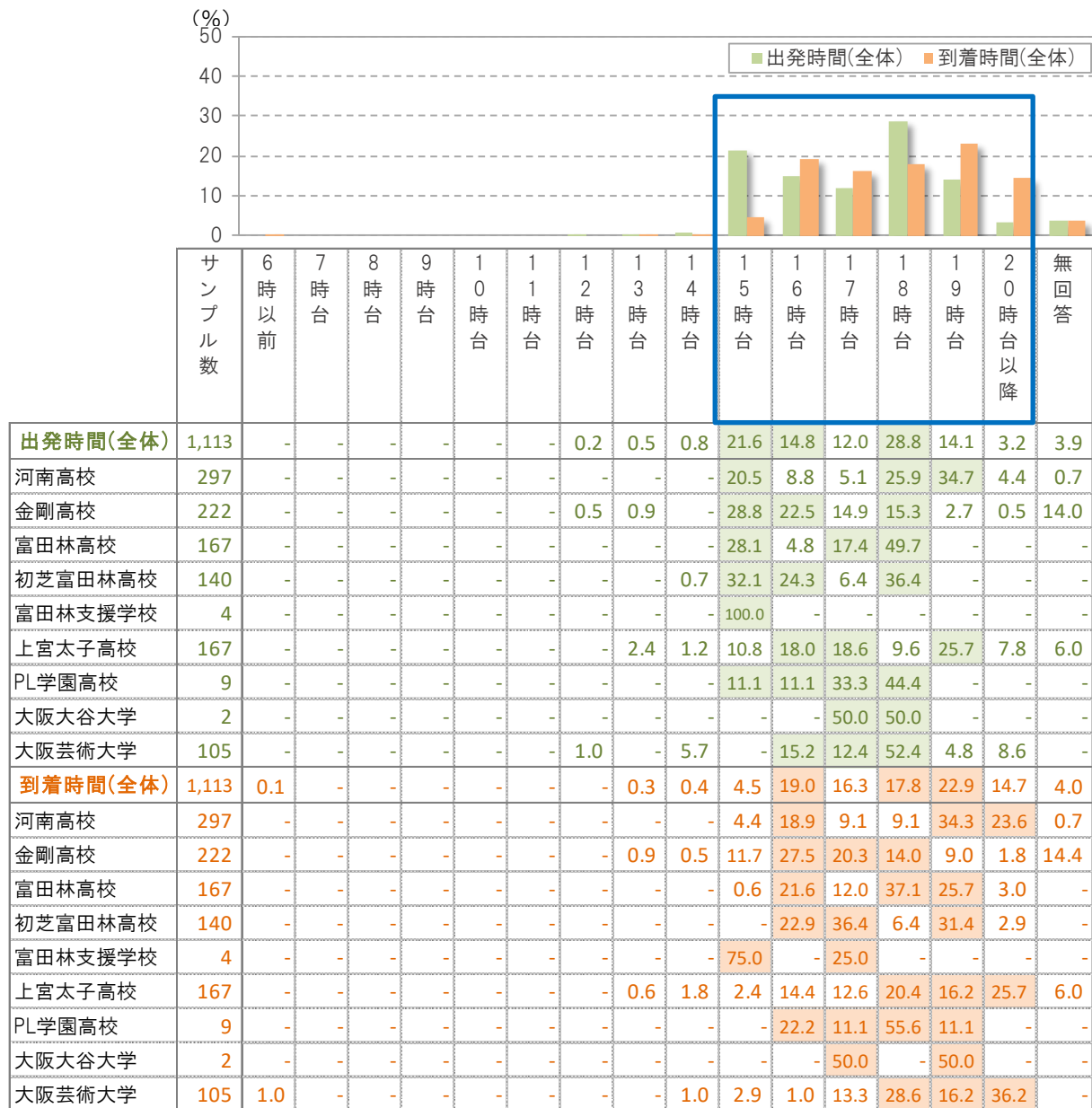
※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位:%)

図 登校時の出発・到着時間

2) 下校時

- 下校時の学校からの出発時間は、15～19 時台まで幅広く分布しており、「18 時台(28.8%)」に次いで、「15 時台(21.6%)」の出発が多い傾向にある。
- 下校時の自宅への到着時間においても、16～20 時台と幅広く、「19 時台(22.9%)」が最も多い。



※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位:%)

図 下校時の出発・到着時間

5-4 通学時における鉄道の利用状況

(1) 利用状況

1) 登校時

- 登校時の利用する鉄道駅は、近鉄線では「藤井寺駅」や「古市駅」、南海線では「河内長野駅」や「三日市町駅」の利用が多い。
- 駅の出発時間(電車の発車時間)は、「7 時台(71.1%)」が最も多い。

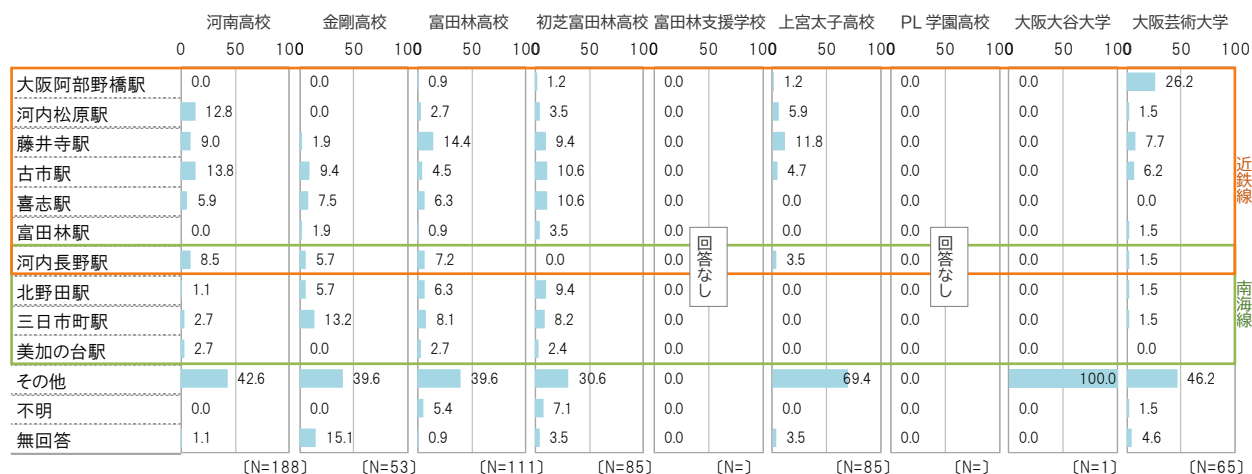
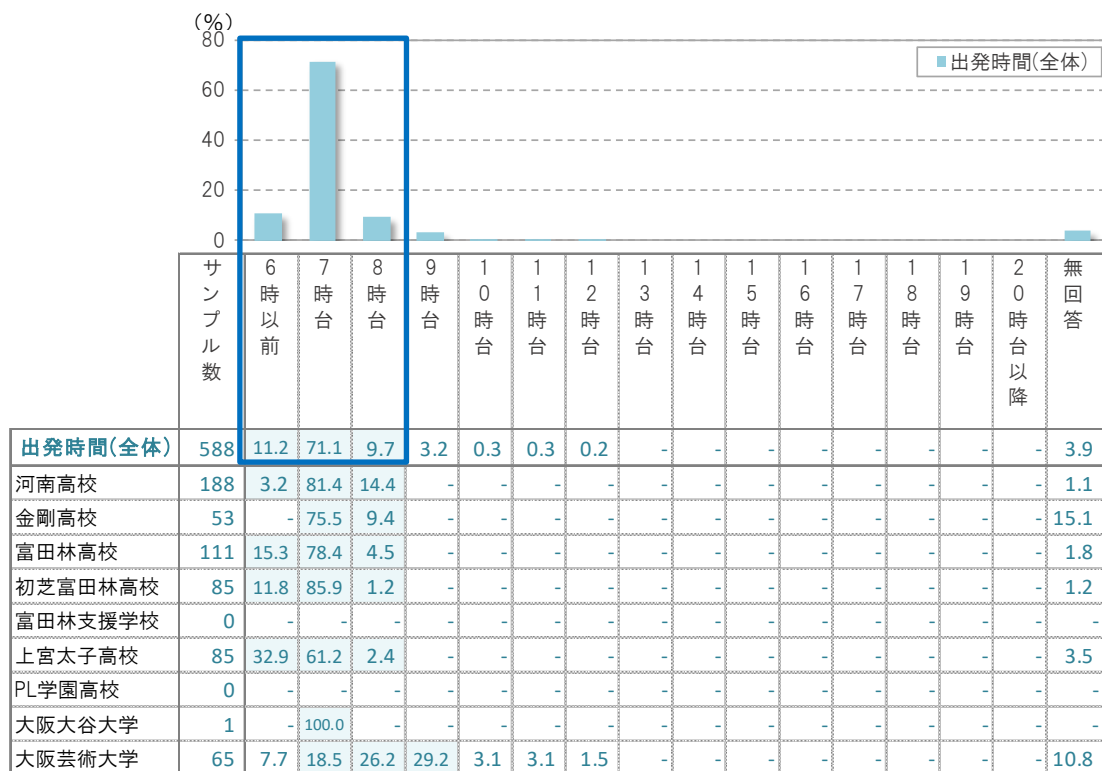


図 登校時の乗車駅



※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位: %)

図 駅の出発時間

2)下校時

- 下校時の利用する鉄道駅は、近鉄線では「富田林西口駅」や「喜志駅」、南海線では「金剛駅」の利用が多い。
- 駅の出発時間(電車の発車時間)は 15～20 時と幅広く、「18 時台(29.4%)」が最も多く、次いで「16 時台(18.7%)」、「19 時台(16.3%)」となっている。

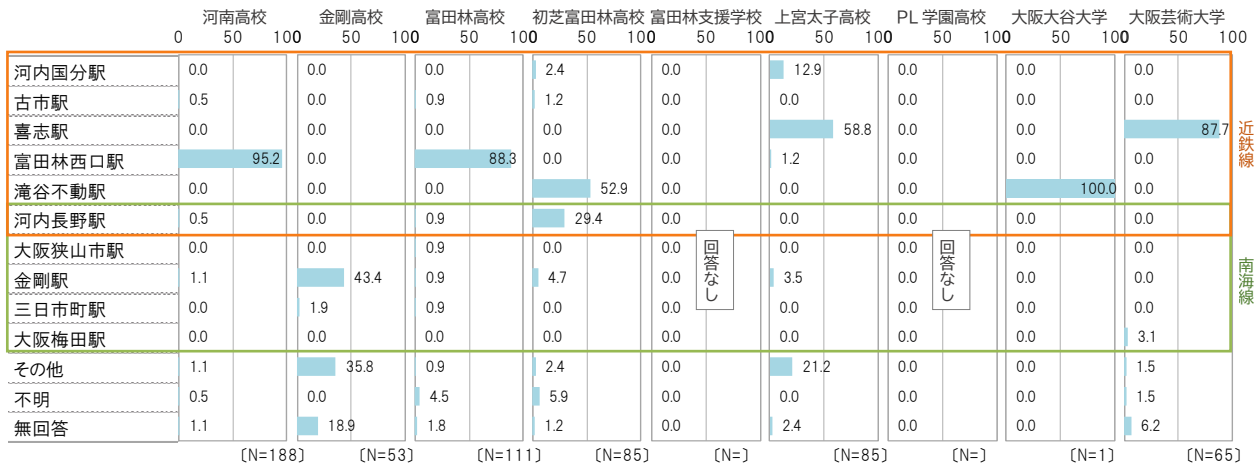
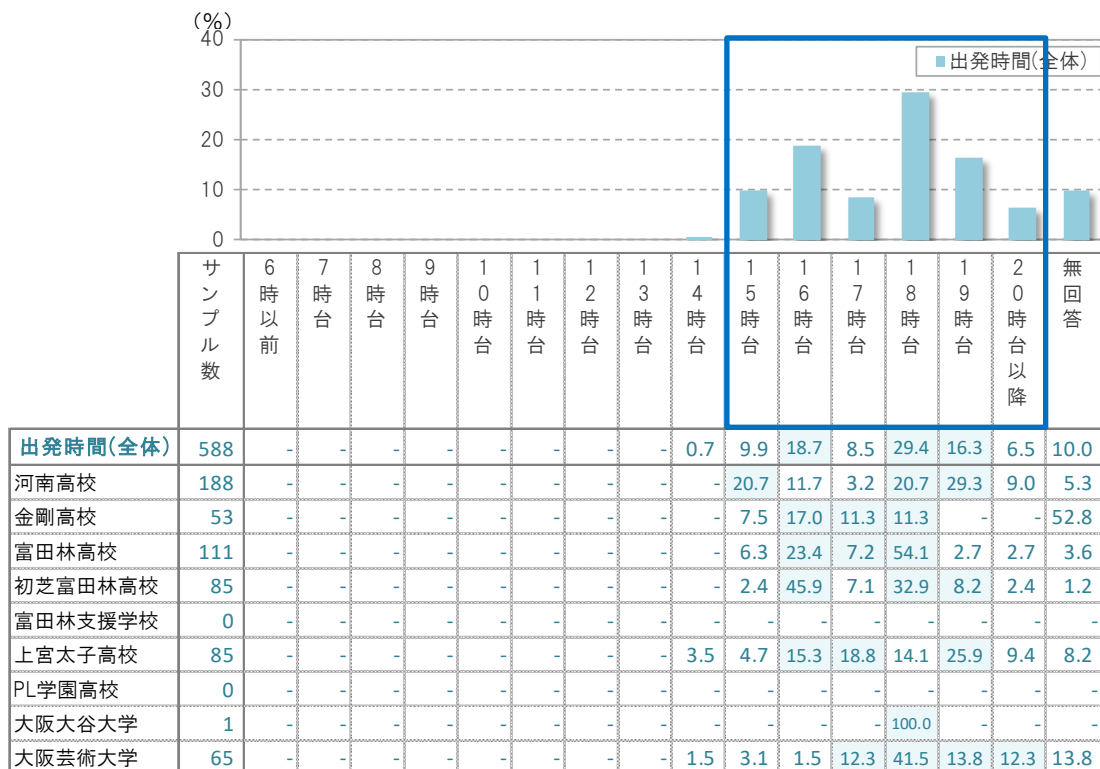


図 下校時の乗車駅



※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位: %)

図 駅の出発時間

(2) 鉄道利用についての満足度

- 鉄道の満足度は、全体で「満足度(32.7%)」、「普通(57.5%)」となっている。
- 一方で、大阪芸術大学の学生からは「満足(10.8%)」に対して「不満足(35.4%)」と、評価が低いことがうかがえる。

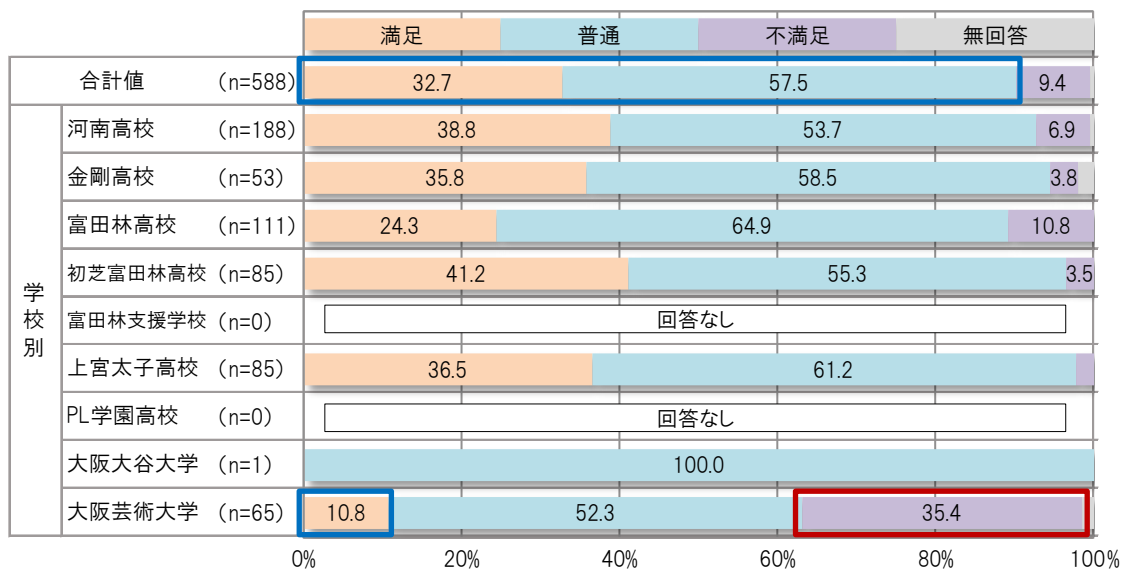


図 鉄道利用についての満足度

(3) 定期券・回数券の利用割合

- 鉄道利用者における定期券・回数券の利用割合は、91.8%が「定期券を利用」と回答。

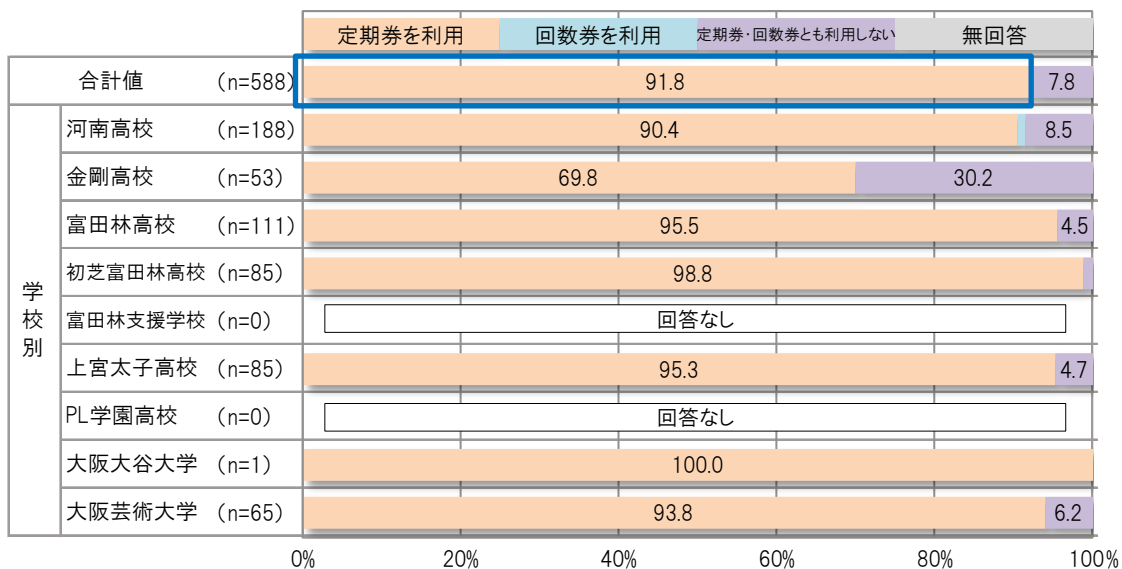


図 定期券・回数券の利用割合

(4) 駅・鉄道に改善を期待すること

学校名	改善を期待すること
■ 駅に関する内容	
富田林高校	富田林西口駅が単線であるのが不便なため、線路を増やしてほしい
富田林高校	富田林西口駅のトイレを綺麗にしてほしい
富田林高校	滝谷駅の改札を両方面に一個ずつつけてほしい
富田林高校	待合室を大きくしてほしい
初芝富田林高校	滝谷不動駅内の踏切が電車から降りるとすぐ遮断すること。
初芝富田林高校	改札をくぐらないとトイレを利用できないのが不便。朝はよくおなかはどうしても痛くなるので、改札をくぐらず利用できると助かる。
初芝富田林高校	駅のベンチを増やして綺麗にしてほしい
大阪芸術大学	喜志駅のホームのもう片方にもトイレを設置してほしい
大阪芸術大学	改札の外から次の電車の時刻を確認できる電光掲示板やモニター等を設置して欲しいです。
大阪芸術大学	駅の左端と右端にしか磁気定期券・切符を通せる改札が無いのが不便。磁気定期券を毎日使用しているが、ICカードの残高不足などで改札を抜けられなかった人によって磁気定期券で改札を通りたい人のタイムロスになるのはおかしいと日々感じている。ICカードを使用する人はIC専用改札を通ればいいのに、わざわざ磁気定期券でもICカードでも通れる改札を通ろうとして止められている人を見ると腹が立ちます。IC専用の改札があるのなら、磁気定期券・切符専用の改札があっても良いのではないのでしょうか。
河南高校	待合室のない駅に待合室を作してほしい
河南高校	富田林西口駅のホームが狭すぎて落ちそうになるので、広くしてほしい
河南高校	エスカレータをつけてほしい
上宮太子高校	トイレをキレイにしていきたいです。
上宮太子高校	アイスの自動販売機を設置してほしい
■ 鉄道に関する内容	
富田林高校	河南町に鉄道を通してください
富田林高校	富田林西口駅の便をもっと増やしてほしい
富田林高校	東西に鉄道を伸ばしてほしい
富田林高校	もうちょっと揺れなくしてほしい。転けそうで怖い。
初芝富田林高校	電車を出す頻度を多くしてほしい
初芝富田林高校	値段が高い
初芝富田林高校	河南町にも駅をつくってほしい
大阪芸術大学	近鉄の値段が高い
大阪芸術大学	阿倍野橋・古市方面から河内長野駅まで直通で乗れる列車の本数を増やしてほしいです。あるいは、富田林駅までの列車を一定本数河内長野駅まで乗れる仕様にしてほしいです。
大阪芸術大学	電車が止まった時になんで止まったかの原因やどのぐらいで運転を再開するのかの大まかな時間を伝えて欲しい。
大阪芸術大学	道明寺線の稼働をあげてほしい
大阪芸術大学	近鉄バスの時間と電車の時間が噛み合わない。
河南高校	15分に1本は少ないと思うので多くしてほしい
河南高校	イスの数を増やしてほしい、車両を増やしてほしい
河南高校	古市から河内長野行きの電車と、古市から富田林行きの電車があると思うのですが、富田林西口駅は河南高校生と富田林高校生が一気に降りるので、古市から河内長野行きが極端に混み、古市から富田林行きが極端に空いてます。そこで古市から富田林行きの電車を古市から富田林西口行きにしてほしいです。
河南高校	富田林駅でとまる時間が長い
河南高校	金剛から河南高校か富田林西口駅までのバスがほしいです。
上宮太子高校	中百舌鳥駅は利用客数が多いと思うので、区間急行や急行を停車させてほしいです。
上宮太子高校	スクールバス降りてから電車の待ち時間が少し長い

5-5 通学時におけるバスの利用状況

(1) バスの利用状況

- 利用路線は、「南海バス」や「近鉄バス」の路線バス利用や「スクールバス」の利用が多い。
- 利用時間は、登校時は6～9時台に集中しており、「7時台(43.1%)」の利用が最も多い。
- 下校時は、15～20時台が多く、「16時台(18.2%)」や「18時台(16.1%)」となっている。

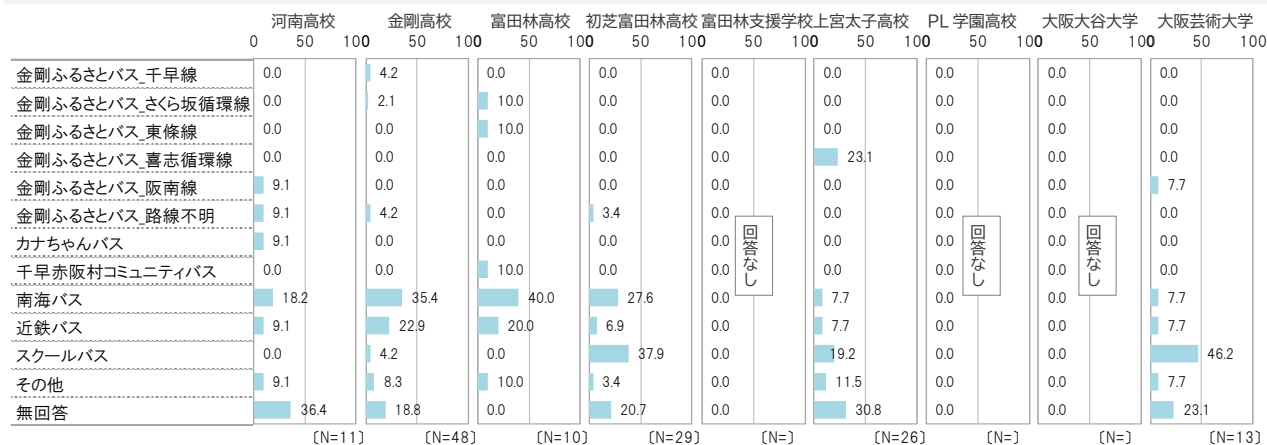


図 通学時に利用するバス路線



※ハッチング箇所は上位3位を示す(時間不明・無回答を除く)

(単位: %)

図 駅の出発時間(登校時・下校時)

(2) バス利用についての満足度

- バスの満足度は、全体で「満足(32.8%)」、「普通(45.3%)」となっている。
- 一方で、富田林高校及び大阪芸術大学の学生からは、「不満足」が40.0%及び53.8%と、評価が低いことがうかがえる。

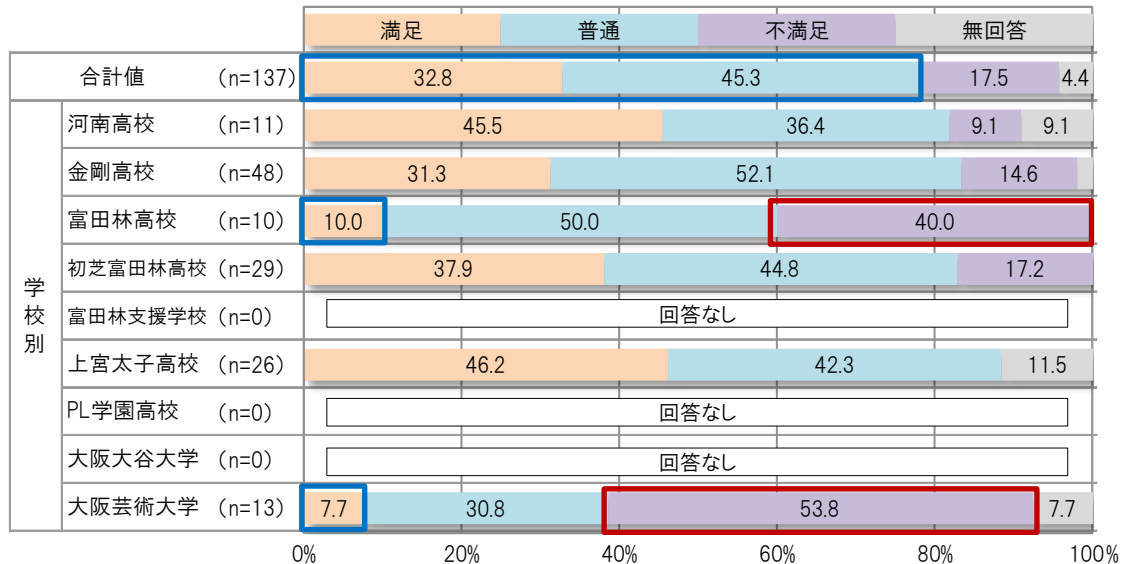


図 バス利用についての満足度

(3) 定期券・回数券の利用割合

- バス利用者における定期券・回数券の利用割合は、48.2%が「定期券を利用」と回答。
- 一方で、39.4%は「定期券・回数券とも利用しない」と回答しており、通学時の利用の低さがうかがえる。

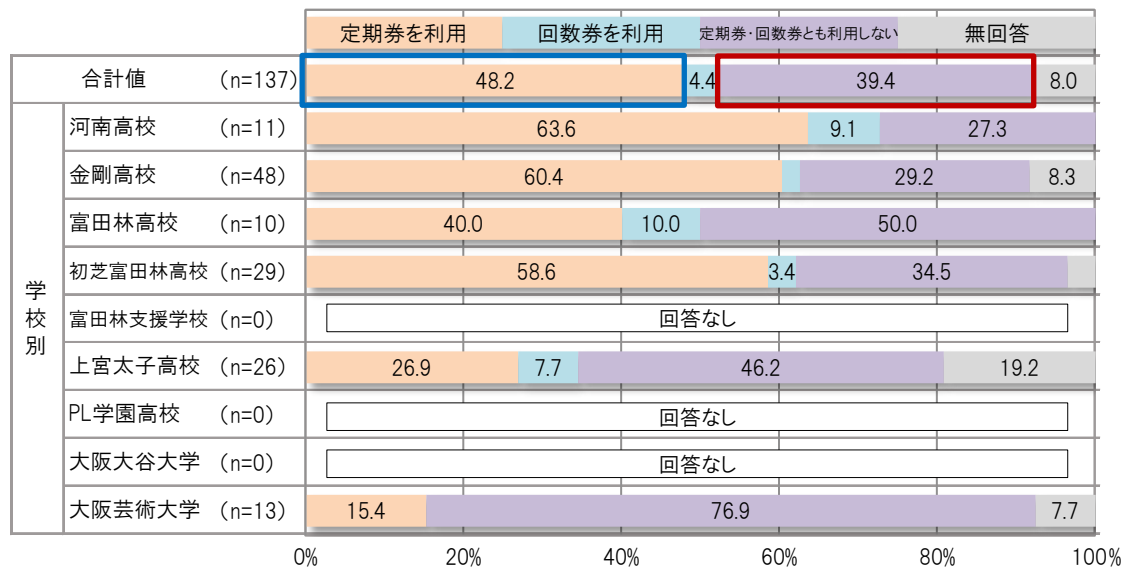


図 定期券・回数券の利用割合

5-6 公共交通を利用するための条件

- 公共交通を利用するための条件は、「運行本数の増便(66.8%)」が最も多く、ついで「通学定期券の割引率拡大や学生割引回数券などの導入(学生証の提示など)(11.4%)」と、利便性の向上に対する意見が挙げられている。
- 一方で、「他の交通手段を利用するため、条件にかかわらず利用することはない(16.3%)」と、公共交通を利用した移動への関心がない状況もうかがえる。

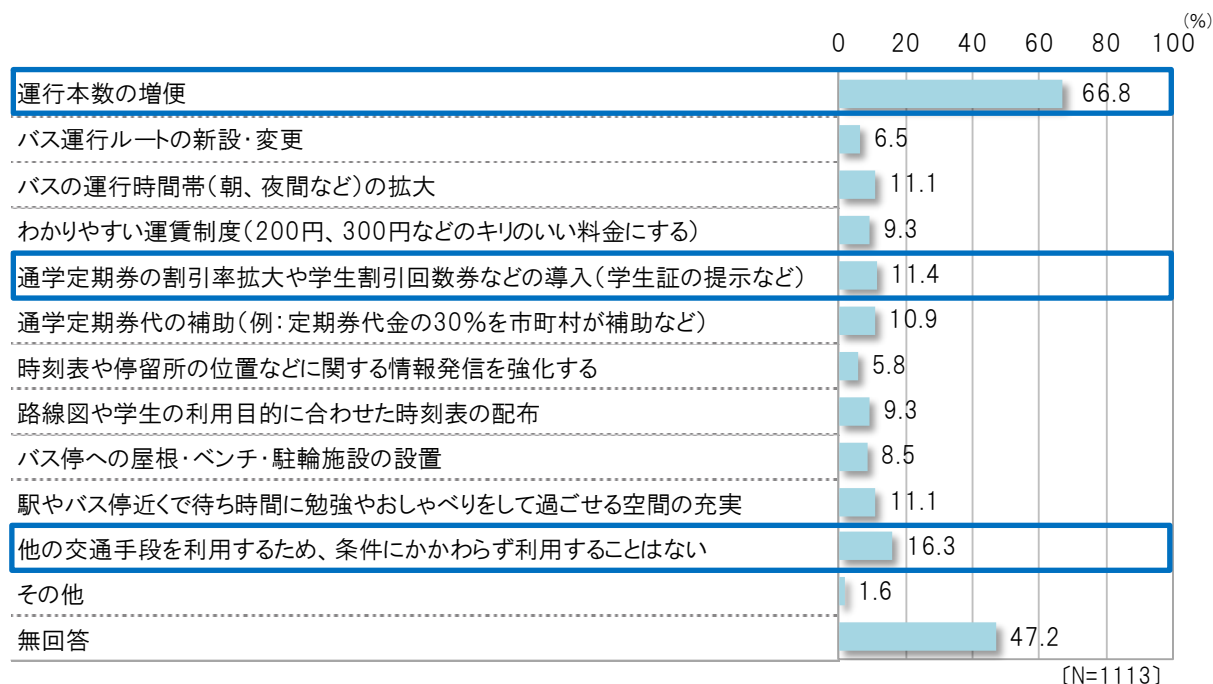


図 公共交通の利用条件

※複数回答のため、合算値は100%を超える

表 希望する運行時間(抜粋)

路線	希望運行時間
鉄道_近鉄長野線	・7時頃 ・8時頃 ・8時半頃 ・17時頃
鉄道_南海高野線	・8時頃
路線バス_南海バス	・6時頃 ・7時頃 ・8時頃 ・14時半頃
路線バス_近鉄バス	・7時頃 ・7時半頃 ・16時半頃
金剛ふるさとバス_喜志循環線	・20時頃
金剛ふるさとバス_さくら坂循環線	・8時頃
金剛ふるさとバス_千早線	・16時頃
富田林市レインボーバス	・6時半頃

表 希望する出発地・目的地(抜粋)

出発地	目的地
駅～学校	
金剛駅	学校_河南高校 学校_大阪大谷大学 学校_金剛高校前
喜志駅	学校_大阪芸術大学 学校_PL学園
北野田駅	学校_富田林高校
学校_初芝富田林高等学校	藤井寺駅
駅～駅	
金剛駅	富田林駅
喜志駅	古市駅
和泉府中駅	河内長野駅
富田林西口駅	布忍駅
大阪阿部野橋駅	喜志駅
狭山駅	富田林西口駅
駅～既存バス停	
富田林駅	藤沢台前
喜志駅	東山

5-7 公共交通（鉄道・バス）に関する意見

(1) 日常における公共交通の利用状況

1) 公共交通の利用頻度

- 公共交通の利用頻度は、「月1回以下(17.4%)」や「月2～3日以上(14.2%)」と全体的に利用が少ない。
- しかし、「週6～7日(14.4%)」や「週5日(9.0%)」と、通学利用など一定の需要がみられる。

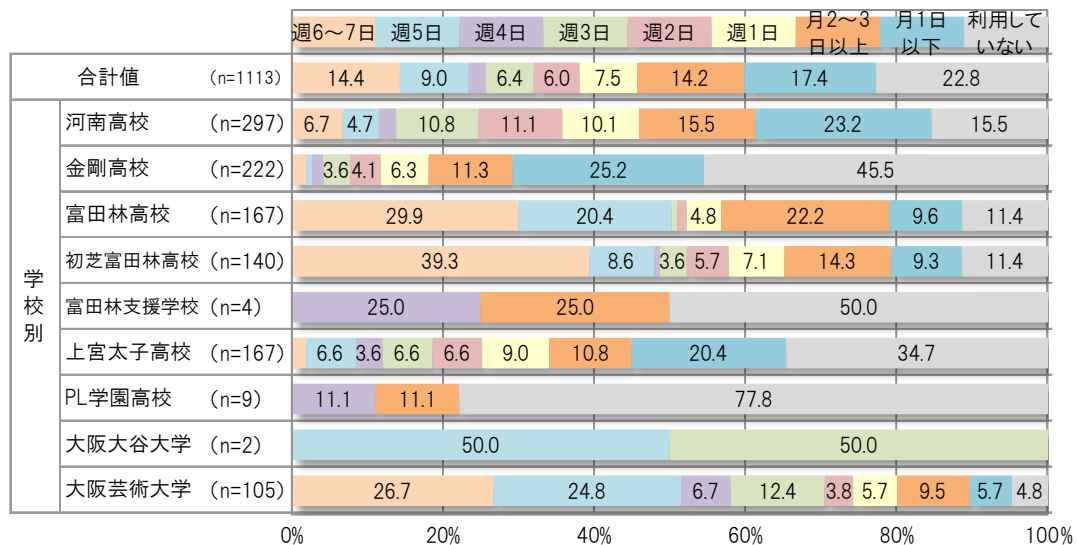


図 公共交通の利用頻度

2) 主な利用目的 ※上記で利用していると回答した人のみ

- 公共交通の主な利用目的は、「通学」、「遊び」とともに 33.2%と日常利用がうかがえる。

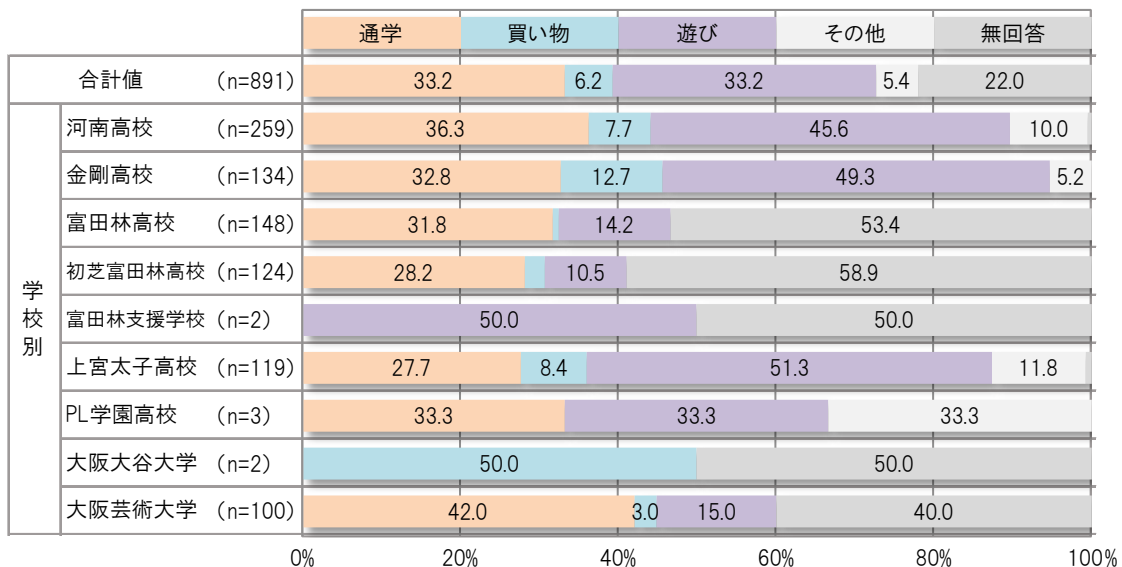


図 主な利用目的

(2) 公共交通の運行情報等についての認知状況

- 公共交通の運行状況等の認知状況について、自宅及び学校の最寄り駅・バス停についての認知は、7～8割が「知っている」と回答。
- 一方で、自宅から学校までの運行状況については、「知らない(22.4%)」となっている。

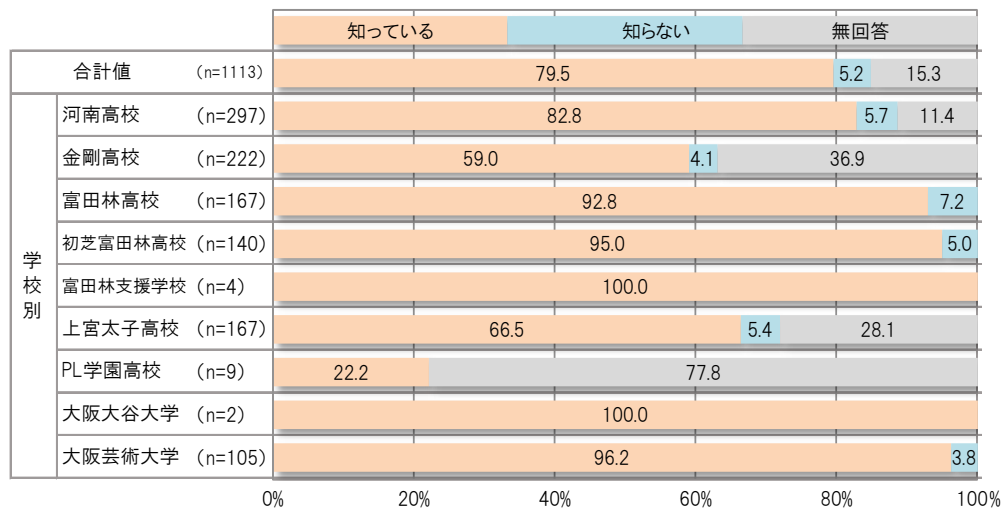


図 自宅の最寄りの駅・バス停の認知状況

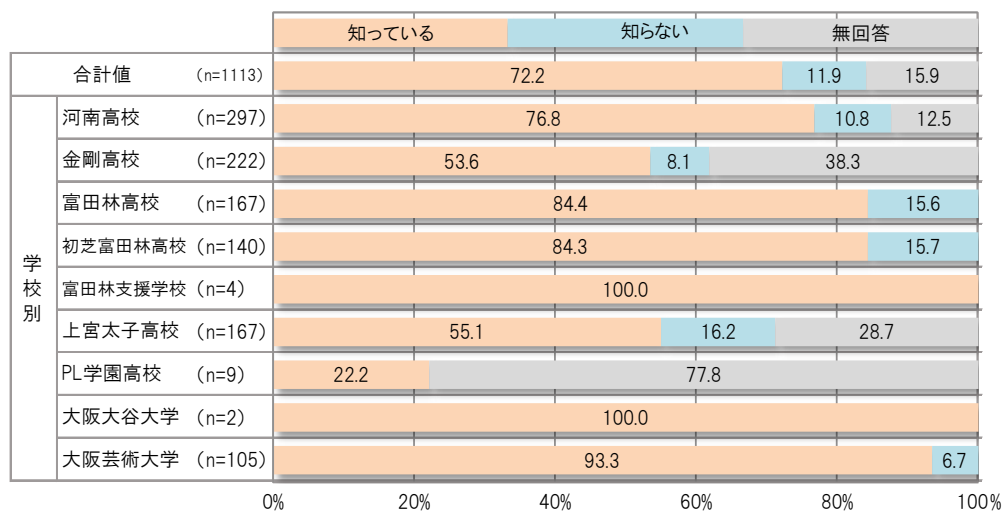


図 学校の最寄りの駅・バス停の認知状況

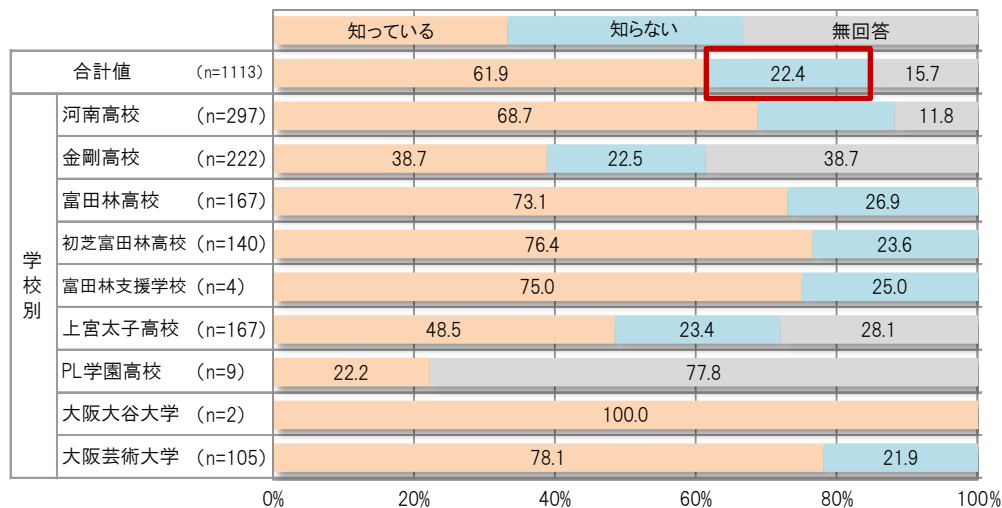


図 自宅から学校までの運行状況の認知状況

(3) その他公共交通に対する意見・要望

学校名	改善を期待すること
■ 運行内容に関する内容	
河南高校	わかりやすい運賃制度
■ 鉄道に関する内容	
富田林高校	できるならもう少し安くしてほしい。
初芝富田林高校	近鉄の本数が少ないうえ、河内長野での南海の接続が悪い
河南高校	車両を増やしてほしい。少しは分散すると思う。
河南高校	古市駅から喜志駅の間に駅を作してほしい
河南高校	河南町に駅が欲しい。
金剛高校	安くしてほしい
初芝富田林高校	値段が高い
初芝富田林高校	河南町にも駅をつくってほしい
■ バスに関する内容	
富田林高校	バスが時刻表通りの時間にきてほしい。
富田林高校	駅と駅を結ぶバスをもっと増やしてほしい。美加の台駅から三日市町駅までなど
初芝富田林高校	和泉市から河内長野市のように横の線路やバスがほしいです。大阪までのぼってから下にまた下がるみたいな感じになってしまうのでバスなどがあればいいなと思います。
富田林支援学校	もっと本数があればよい。夜も遅い時間になるとないから不便
大阪芸術大学	駅が遠すぎる。終バスを考えると、基本友達と遊べず、全て断ることになり、疎遠になった。本数も少なく、夜も早く、外出は基本的にできない。天王寺を23時に出て帰れるようにどうか夜も運行してほしい。また、時間によっては2時間に1本など、数も少なすぎる。
大阪芸術大学	バス停の場所がわかりにくいのでわかりやすい地図のようなものがあると嬉しい
大阪芸術大学	本数が少ない事が不満である。そして、一定料金であると助かる。
大阪芸術大学	近鉄バス阪南線の終バスの時間を延長してほしいです。 せめて22時台の運行を希望いたします。
大阪芸術大学	時間帯によってはICカードが使えないバスがあるので困ります。導入検討お願いしたいです。
河南高校	登下校時のバスを増やす
河南高校	バス運賃を安くしてほしい！
金剛高校	富田林駅→金剛高校までのバスを増やしてほしいです（特に雨の日）
■ その他の公共交通に関する内容	
大阪芸術大学	ハローサイクリング、LUUP等があれば若い人はバスがなくても困らない。特に芸大―喜志駅間。
大阪芸術大学	是非、大阪阿部野橋駅から喜志駅のノンストップのバスなどが増えたら嬉しいです。
富田林高校	家の近くにシャトルバスを通してほしい
■ 駅に関する内容	
上宮太子高校	トイレの場所を分かりやすくしていただきたいです。
大阪芸術大学	喜志駅の前のタバコ屋をどうにかしてほしい。前でタバコを吸ってる人が多く、通るたびに苦しい。
■ スクールバスに関する内容	
大阪芸術大学	大阪芸大のスクールバスの本数をオープンキャンパスの時と同じような本数にして欲しいです。
大阪芸術大学	梅田から学校、学校から梅田直通のスクールバスの発車時刻の間隔が空きすぎているので、増やしてほしいです。
大阪芸術大学	芸大バスの数を増やして欲しいです。
PL学園高校	喜志駅からPL学園までのバスを作ってください。